

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」

## 令和2年度実績・評価

<目次>

基本的な視点	施策体系	基本施策	ページ
1 子どものすこやかな成長を支える取り組みの充実, 子どもの安全・安心の確保	(1) 生きる力をはぐくむ教育の充実	① 幼児教育の充実	p3
		② 豊かな心の育成	p5
		③ すこやかな体の育成	p12
		④ 確かな学力の育成	p22
	(2) 子どもの可能性が広がる体験と活動の場, 遊びの環境の充実	① 社会体験, 自然体験など多様な体験・学習機会の充実	p25
		② 遊びの環境の充実	p28
		③ スポーツ・文化に親しむ環境づくり	p29
		④ 子ども・若者の居場所づくり, 活動の場の充実	p31
	(3) 子どもたちが安心して成長できる環境づくり	① 児童虐待防止対策の充実	p35
		② いじめ防止等対策の総合的推進	p43
		③ 安全・安心な環境の確保	p44
	(4) 子ども・若者の自立に向けた支援の充実	① 不登校・ひきこもりへの支援の充実	p49
		② 社会性の向上や就労等に向けた支援の充実	p51
③ 代替養育を必要とする子どもへの対応の充実		p52	
2 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実	(1) 子どもがすこやかに生まれ育つための保健・医療の充実	① 母子保健の充実	p54
		② 小児医療, 学校保健の充実	p62
	(2) 子育て負担軽減と家庭の子育て力向上のための取り組み	① 子育てに関する不安・負担の軽減	p63
		② 子育てに要する経済的負担の軽減	p67
		③ 子育てに関する情報提供・相談支援の充実	p72
	(3) 教育・保育基盤と幼児教育・保育サービス等の充実	① 教育・保育基盤の整備	p81
		② 多様な保育サービス等の充実	p83
		③ 保育の質の確保・向上	p85
		④ 幼児教育の充実(再掲)	p89
	(4) 個別のニーズに応じた子ども・子育て家庭への支援の充実	① 子どもの貧困対策の推進	p91
		② ひとり親家庭等への支援の充実	p91
		③ 障害のある子どもなどへの支援の充実	p94
	3 地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり	(1) 身近な地域の子育て支援機能の充実	① 多様な担い手による子育て支援ネットワークの強化
② 地域における児童虐待防止対策の充実 (児童虐待防止対策の充実の一部再掲)			p105
③ 子ども育ちと子育て家庭を支える人材の育成			p105
④ 身近な地域の子育て支援施設等の充実			p107
(2) 仕事と子育ての両立支援の促進		① 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けた家庭・企業等における取り組みの推進	p109
		② 女性の就労継続・再就職の支援促進	p110
		③ 男女がともに担う子育ての推進	p110
(3) 地域をあげて子ども・子育てを応援していく機運の醸成		① 子育てを応援していく全市的な機運の醸成	p111
		② 子育てを応援していく各種プロジェクトの展開	p111

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1.子どものすこやかな成長を支える取り組みの充実，子どもの安全・安心の確保							
(1) 生きる力をはぐくむ教育の充実							
1(1)①幼児教育の充実							
1(1)①	1	幼保小連携の推進	子どもたちが幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な適応を図れるよう，幼稚園幼児指導要録及び保育所児童保育要録，幼保連携型認定こども園園児指導要録などを活用し，一人ひとりの子どもの発達の姿を小学校へ伝えるほか，幼保小の連絡会や合同研修会の開催，共通様式による引き継ぎ（及び双方向での交流の強化）等を通じ，幼児教育と小学校教育の相互理解や緊密な連携に取り組むなど，学びの連続性の確保に努める	<b>■運営支援課</b> ○幼児教育研修において，小学校との接続についての内容を取り入れる等，幼保小の連携や幼児教育と小学校教育の相互理解に努めるため研修会を実施した。 <b>■学びの連携推進室</b> ○接続期カリキュラムの充実を図るため，幼保小それぞれの保育・教育について相互に理解を深めるための情報交換等を行う合同研修を予定していたが，新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のために中止とした。 ○新規の「幼保小連携モデル事業」についても，モデル校募集を延期している。	<b>■運営支援課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，例年実施されている幼保小合同研修会は中止となったが，個別に相互の取組の情報交換等を行うなど，方法を工夫しながら相互理解や連携に取り組む様子がみられた。 ○子ども，児童が直接接触し合うような交流は縮小，中止となっている。 <b>■学びの連携推進室</b> 【成果等】 ○新規の「幼保小連携モデル事業」が止まっている。一方，スタートカリキュラムの報告等により，「平成29・30年度幼保小モデル事業実践記録集」で紹介されたような，子ども・教師の交流，幼稚園への出前授業，相互の授業参観を行うなど，交流・相互理解が進んでいることが伺えた。	<b>■運営支援課</b> ○幼保小の連絡会での共通様式により引き継ぎを行います。 ○幼稚園幼児指導要録及び保育所児童保育要録，幼保連携型認定こども園園児指導要録などを活用し，一人ひとりの子どもの発達の姿を小学校へ伝えていきます。 <b>■学びの連携推進室</b> ○区毎に研修等，大規模な場が設定ができない状況ですが，小学校毎の幼保小連絡会等で子どもの引き継ぎに加え，相互の取組について情報交換をするよう働きかけ，接続期カリキュラムの充実を図っていきます。	運営支援課， 学びの連携推進室
1(1)①	2	幼稚園教員研修支援	子どもの教育・保育及び保護者に対し適切な支援が行われるよう，幼稚園教諭の研修を支援することで，教員一人ひとりの資質の向上を図る	○4月に研修の共催負担金を支出した。	▲ 【成果等】 ○新任教員研修会はWEBにより実施したが，夏休み期間中に予定していた研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	○引き続き幼稚園教員の資質向上を図るため，研修の実施を支援してまいります。	認定給付課
1(1)①	3	保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業	幼稚園教諭と保育士資格の両方の免許・資格を有する保育教諭を確保するため，幼保連携型認定こども園に勤務する保育士が，幼稚園教諭免許状を取得するために要する経費等に対して助成を行う	○助成件数：2件（2名） [R元年度2件（2名）]	○	○引き続き対象施設への周知を図り，積極的な制度の活用を促していきます。	運営支援課
1(1)①	4	認定こども園整備補助	質の高い幼児教育と保育サービスを一体的に提供する認定こども園の整備・普及を推進するため，認定こども園への移行を予定している幼稚園に対し，相談支援を行うとともに施設改修及び備品購入に要する経費の一部を助成する	○認定こども園への移行件数（令和3年度当初） 幼稚園からの移行：4件（幼保連携型2，幼稚園型2） 保育所からの移行：9件（幼保連携型7，保育所型2） ○令和2年度施設整備等補助金額：215,923千円	○	○引き続き認定こども園への意向を希望する施設が円滑に移行できるよう，相談支援等を行っていきます。	環境整備課
1(1)①	5	私立幼児教育施設運営費等補助	幼児教育の充実のため，私立の幼児教育施設（私立幼稚園）の施設整備費や運営費の一部を助成する	○実施園数 ・施設整備費（改修）：3園 ・運営費：58園 ○補助金交付額 ・施設整備費（改修）：3,775,000円 ・運営費：25,111,000円	○	○仙台市内の幼稚園等に対して助成を行うことにより，今後も本市における幼児教育の振興と更なる充実を図ってまいります。	環境整備課， 認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(1)①	6	幼稚園預かり保育事業	保育ニーズの多様化に対応するため、幼稚園の教育時間終了後等も幼稚園内で園児を預かる「預かり保育」を実施する私立幼稚園に対し、必要経費の一部を助成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施園数:110園(従来制度幼稚園:59園, 新制度幼稚園:15園, 認定こども園:31園 広域利用:5園)</li> <li>・預かり保育推進事業実施園数:76園</li> <li>・一時預かり事業実施園数:29園</li> <li>・一時預かり事業(広域利用):5園</li> <li>○預かり児童人数</li> <li>・預かり保育推進事業実施園延べ人数:493,073人</li> <li>・一時預かり事業実施園延べ人数:41,579人</li> <li>・一時預かり事業(広域利用):2,625人</li> <li>○補助金交付額</li> <li>・預かり保育推進事業実施園交付額:133,347,631円</li> <li>・一時預かり事業実施園交付額:41,509,196円</li> <li>・一時預かり事業(広域利用):1,369,235円</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○預かり保育を実施する幼稚園に対して、経費の一部について助成を行うことにより、様々な保護者ニーズに対応するとともに、実施園における財政的な負担を軽減を図った。</li> </ul>	○多様化する預かり保育へのニーズに対応するため、今後も私立幼稚園等への補助を継続し、幼稚園における預かり保育の推進に努めてまいります。	環境整備課, 認定給付課
	7	絵本を通した心豊かな子育て支援事業	育児教室や乳幼児健康診査を実施している保健福祉センターなどに、乳幼児の保護者向けブックリストを配架するとともに、乳幼児向けおはなし会や乳幼児の保護者向け行事を実施し、乳幼児期から親や子どもが読書の楽しさや面白さを発見する機会を提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児教室等が行われる各区保健福祉センターや、乳幼児と保護者が訪れる機会のある子育て支援センターにブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の配布を依頼した。</li> <li>○乳幼児向けおはなし会の実施:117回, 1,398名参加</li> <li>○乳幼児と保護者向け行事の実施:15回, 196名参加</li> </ul>	▲	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児保護者向けブックリストを継続して作成し、子育て支援センターなど関係機関へ配布を依頼した。</li> <li>○コロナ禍により6月までのおはなし会等の行事を全館で中止していたが、7月以降、定員を少人数とするなど感染症対策を取りながら再開した。妊娠期の親を対象とした「マタニティおはなし会」は令和2年度の実施を見送った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児と保護者向け講座「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」を、感染症対策を取りながら全館で実施する予定です。</li> <li>○おはなし会等行事については、定員を少人数にするなど感染症対策を取りながら徐々に再開しています。おはなし会等へのボランティア参加については、意向を踏まえながら協力を仰いでいきます。</li> </ul>	市民図書館

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)②豊かな心の育成							
	1(1)②	8	防火防災訓練・防火防災教育の充実	<p>若年層へ防火防災意識を啓発し、災害による被害の軽減を図るもので、幼稚園、小学校等における消防・防災訓練の実施及び地震体験車や防災講話講師の派遣を行うなど、防火防災教育への支援を実施する</p> <p>■減災推進課 ○地震体験車「ぐらら」派遣 【学校等】（前年度同時期） ・実施回数：3回（3回） ・体験延人数：500人（180人） 【地域の防災訓練】（前年度同時期） ・実施回数：3回（23回） ・体験延人数：230人（2,692人） 【催事】（前年度同時期） ・実施回数：2回（9回） ・体験延人数：688人（1,780人）</p> <p>○防災訓練 実施回数：1回 →シェイクアウト訓練（6/12開催） 参加人数：26,518人（幼稚園・保育所・学校等） 参加機関：133機関（幼稚園・保育所・学校等）</p>	<p>▲</p> <p>■減災推進課 【成果等】 ○地震体験車「ぐらら」派遣 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校や地域の防災訓練が中止及び規模縮小となり、前年度と比較し派遣要請が減少している。</p> <p>○防災訓練 【成果等】 ・6月12日の「市民防災の日」に実施した仙台市シェイクアウト訓練では、幼稚園・保育所や小学校等に対して訓練実施依頼と訓練啓発用チラシを配布し、訓練参加を促した。また、例年各区等が主催し実施している各地区総合防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止を決定している。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ・シェイクアウト訓練は、訓練開始時間を前年の9時から9時45分に変更したことにより、これまで参加が難しかった幼稚園や保育所が参加しやすい状況となり参加者の増加につながった。 ・一方、小・中学校等については、新型コロナウイルス感染症の影響により各学校の入学や始業開始時期が遅れたことや、分散登校の実施などにより訓練に参加した学校数が減少したことから、参加者数も減少した。</p>	<p>■減災推進課 ○地震体験車「ぐらら」派遣 ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた暫定的な運用について関係部局へ通知し、感染症対策を図ったうえで事業を継続します。</p> <p>○防災訓練 ・訓練啓発用リーフレットの作成・配布や、合同校長会などの機会を捉えた本市主催の防災訓練の周知啓発を行うとともに、令和2年度中止となった各地区総合防災訓練は、各区等と連携し、実現可能な範囲で児童・生徒の本訓練への参加を促します。</p>	減災推進課、 予防課
	1(1)②	8					

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(1)②	8	防火防災訓練・防火防災教育の充実	若年層へ防火防災意識を啓発し、災害による被害の軽減を図るもので、幼稚園、小学校等における消防・防災訓練の実施及び地震体験車や防災講話講師の派遣を行うなど、防火防災教育への支援を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予防課</li> <li>○ 防火防災訓練への支援</li> <li>・ 学校職員への指導：668団体【295団体】</li> <li>・ 消防訓練等への職員の派遣：17団体【67団体】</li> <li>・ 幼・少年消防クラブへの指導：24団体（14回1,302人）【68団体(41回3,071人)】 ※【 】内は、R元年度(前年度)実績数。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲</li> <li>■ 予防課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園・小学校等から消防訓練の立会い依頼が減少しているものの、立入検査実施時に学校職員の意識の高揚や支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予防課</li> <li>○ 防火防災教育への支援</li> <li>・ 若年層の防火防災意識の醸成は重要であるため、社会科の授業の一環として訪れる庁舎見学時や消防訓練時において引き続き支援を図っていきます。</li> </ul>	減災推進課、予防課	
	9	性暴力等の根絶に向けた取り組み	子どもを性暴力の被害から守るため、子ども及び保護者向けのリーフレットを配布し、相談窓口の周知や被害の早期発見に向けた啓発を行う また、中学生や高校生に対し、せんだい男女共同参画財団がデートDV防止のための出前講座を実施するなど、性暴力の被害・加害防止に向けた啓発を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 性暴力防止啓発チラシ（子供用）を市内小学校に配布した。また、デートDV防止啓発リーフレットを仙台市内の中学校に配布するとともに、依頼に応じてデートDV防止出前講座を実施した。</li> <li>・ 子供用チラシ「大切にしよう。自分のコト。」：約12,000部配布【R元年度：20,000部作成・約12,000部配布】</li> <li>・ 「HAPPYなお付き合いをするために～デートDVを知ろう」：約10,000部配布【R元年度：20,000部作成・約10,000部配布】</li> <li>・ デートDV防止出前講座：8回【R元年度：10回】</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○ 広報啓発物の配布等は予定通り実施できた。</li> <li>○ 出前講座については、概ね例年並みの回数を実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デートDV防止啓発リーフレットを仙台市内の高校、大学等に配布するとともに、依頼に応じてデートDV防止出前講座を実施します。</li> <li>○ 効果的な啓発となるよう、資料の内容や配布先、配布方法を検討しながら、今後も継続して実施します。</li> </ul>	男女共同参画課
	10	消費者教育・学習の推進	子どもが自立した消費者として主体的に判断し、責任をもって行動できる能力を育むために、ライフステージに応じた消費者教育を実践するための教材や情報等の提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消費者教育出前講座の実施：7回【R元年度30回】</li> <li>○ 教員対象の研修会の実施：3回【R元年度4回】</li> <li>○ 教員向け消費者教育情報誌の配布：10,000部【R元年度10,000部】（市内小・中・高・特別支援学校に配布）</li> <li>○ 消費者教育教材の作成・配布</li> <li>中学生向け10,200部作成【R元年度10,200部】（市内中学3年生に配布）</li> <li>小学生向け11,000部作製【R元年度10,500部】（市内小学5年生に配布）</li> <li>幼児向け絵本：10,000部【R元年度10,000部】作成（市内保育所・幼稚園の3歳児に配布）</li> <li>○ 家庭向けリーフレットの作成・配布：10,500部【R元年度10,200部】作成（小学5年生と保護者に配布）</li> <li>○ 高校生向けリーフレットの作成・配布：11,500部【R元年度11,500部】作成（市内高校3年生に配布）</li> <li>○ 消費者教育ウェブサイト「伊達学園」による情報提供</li> <li>○ ウェブサイト「伊達学園」の改定</li> <li>○ 「せんだい消費者教育支援バンク」の更新・配布（市内小・中・高等学校に配布）</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○ 消費者教育出前講座は、夏休み前までの時期に予定されていたものはすべて中止となったが、年度後半には選挙管理委員会と共同で講座を実施することができた。</li> <li>○ 各年代ごとの消費者教育教材を作成・配布し、発達段階に応じた消費者教育の推進を行っている。教材の作成・配布はおおむね例年通りに順調に進行している。</li> <li>○ 家庭向けリーフレット配布を通じて保護者・児童と一緒に消費者教育を学ぶ機会を提供している。</li> <li>○ 児童や生徒の発達段階に応じた学習コンテンツで構成されている消費者教育ウェブ教材「伊達学園」は、学校だけでなく家庭でも利用することができるため、サイトの周知や活用の推進を行っている。学校に導入されているタブレット端末に広く対応できるよう仕様変更し、新学習指導要領に合わせて内容の改定を行った。</li> <li>【事業に対する客観的意見・評価】</li> <li>○ 講座の開催は難しい状況が続いているが、消費者教育教材の配布やウェブによる情報提供等の取り組みにより、啓発及び学習支援は一定程度できていると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講座の機会は減っていますが、消費者教育教材の配布やウェブによる情報提供等の取り組みによる子どもたちに対する啓発及び学習支援を継続して行います。</li> <li>○ 子どもたちが自立した消費者となり、「消費者市民社会」の一員となるための能力を育むために、引き続き、学校や家庭などに対して働きかけ、幼児期からの各ライフステージに応じた消費者教育を推進します。</li> </ul>	消費生活センター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)②	11	思春期保健の推進	若年妊娠・望まない妊娠等の防止や性感染症の予防等について、教育委員会と連携を図りながら、小中学校、高等学校にて児童生徒と保護者を対象とした講習会を実施するなど、思春期からの心と体の健康教育の充実に向けた取組を進める	<b>■健康安全課</b> ○3施設（小学校1, 高等学校1, 児童自立支援施設1）で健康教育実施。  <b>■子供保健福祉課</b> ○中学校12校から申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により学校側の予定が合わず10校に実施。884人が受講した。	▲  <b>■健康安全課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、教育機関に出向いての健康教育や啓発の実施が難しくなっている。 ○啓発方法について、新たな方法等模索が必要である。  <b>■子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○令和2年度は、学校数を増やして実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により申込み数は例年通りであった。	<b>■感染症対策室</b> ○学校等と連携を図り、啓発方法についても相談しながら、思春期からの心と体の健康教育の充実に向け、取り組みを進めます。  <b>■子供保健福祉課</b> ○教育局や助産師会と連携をして、健康教育を継続していきます。	感染症対策室, 子供保健福祉課, 各区管理課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	11			<b>■青葉区</b> ○区内小中学校を対象に保健対策のための懇談会を開催。 【小学校・中学校10学校11名出席, 児童相談所2名】	○  <b>■青葉区</b> 【成果等】 ○子ども家庭応援センターの役割と取組や、幼児健診における子どもの状況について、コロナ禍の母子保健業務の状況について等、当課の各担当者より情報提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により生じている健康問題をテーマに、地域ごとに分かれ、グループワークを行い、お互いの状況確認と情報共有が実施できた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○新型コロナウイルス感染症に関して共通した問題等を多職種、他機関、他の学校と情報交換が出来、参考になったとの意見が上がった。 ○参加人数は前年度と同程度であった。	<b>■青葉区</b> ○小中学校養護教諭との懇談会の開催により、健康課題や対策について情報交換を図り、課題解決のための検討や連携支援につなげていきたいと考えています。	感染症対策室, 子供保健福祉課, 各区管理課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	11			<b>■宮城総合支所</b> ○子供保健福祉課の県助産師会委託の思春期健康教育へ同行。 ・中学校 1校〔令和2年度：中学校1校, 参加者93名〕 ○管内小中学校・高等学校養護教諭、産科医療機関の助産師との連絡会の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った〔令和元年度：参加者19機関21名〕 ○令和2年11～12月 教育機関18校の養護教諭へのヒアリングを実施 ○学校保健委員会等への出席（令和2年度：2校） ○地区まつりを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたことから、リーフレットの配布は随時実施	▲  <b>■宮城総合支所</b> 【成果等】 ○健康教育は1校で実施した。 ○連絡会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施は見送り、教育機関18機関の養護教諭を対象にヒアリングを実施した。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○健康教育は、アンケート結果より例年、自尊感情の醸成が図られたと考えられる意見が寄せられている。 ○連絡会議は、アンケート結果より例年、健康課題を共有すること、多職種で話し合うことが有意義である等、評価が高い。	<b>■宮城総合支所</b> ○今後も教育機関との連携により、思春期健康教育を実施していきます。 ○新型コロナウイルス感染症の影響下においても、各教育機関、産科医療機関とは個別に連携を図っていきます。	感染症対策室, 子供保健福祉課, 各区管理課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)②	11	思春期保健の推進	若年妊娠・望まない妊娠等の防止や性感染症の予防等について、教育委員会と連携を図りながら、小中学校、高等学校にて児童生徒と保護者を対象とした講習会を実施するなど、思春期からの心と体の健康教育の充実に向けた取組を進める	<b>■宮城野区</b> ○子供保健福祉課による思春期健康教育助産師会委託事業への同行 ・中学校1校 ・参加者：135名 ○区内高校を対象とした性感染症と妊娠出産等についての講習会を開催 ・1校 ・参加者 46名 ○区内小学校を対象とした妊娠出産等についての講習会を開催 ・小学校1校 ・参加者：44名	○ <b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○講話の企画・実施は助産師会の講師が行い、同行した保健師は、保健福祉センターの紹介と母子保健事業についての説明を行った。 ○高校生を対象とした健康教育は、新型コロナウイルス感染症の予防のため、オンライン授業となった。チャットでの生徒とのやりとりを交え理解を得ることができた。	<b>■宮城野区</b> ○若者の性感染症の増加傾向や、若年妊娠や望まない妊娠、虐待事例の増加という現状があり、思春期健康教育はますます重要になっていることから、継続して実施してまいります。	感染症対策室、 子供保健福祉課、 各区管理課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■若林区</b> ○小中高校生を対象とした思春期健康教育および防煙教育 ○小中高を対象とした学校保健懇談会 ・各校へ希望聴取のためのアンケートを実施（全29校） ・懇談会開催は中止とした。 ○子供保健福祉課の助産師会委託による思春期健康教育へ同行し、家庭健康課の紹介を行った。小学校5校・中学校2校	▲ <b>■若林区</b> 【成果等】 ○思春期健康教育および防煙教育について、アンケートより希望のあった学校への調整・決定を行った。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○アンケート結果では、新型コロナウイルス感染症に関連して、学校内で苦慮している事案や児童生徒らの健康課題について声が寄せられている。	<b>■若林区</b> ○学校保健懇談会の開催に向けて、感染対策を徹底の上、内容の検討を図っています。 ○思春期健康教育および防煙教育においては、地区担当保健師の同行を行い、学校保健との連携の強化を図っていきます。	感染症対策室、 子供保健福祉課、 各区管理課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■太白区</b> ○子供保健福祉課の助産師会委託の思春期教育に同行した。2校、参加者229名 [R元年度 3校 参加者：263名] ○重点的な取り組みとして、1中学校に対し、内容を協議した上で各学年で思春期教育を実施した。1校、各学年1回（うち1回は上記助産師会委託）、参加者148名。 ○児童自立支援施設の児童を対象とした思春期教育を実施した。1校に対し2回、参加者延べ23名。 [R元年度 1回 12名] [R元年度 小学校の児童保護者を対象とした思春期健康教育1校212名] ○1学区内のネットワーク会議研修会を行った。1回、参加者17名	▲ <b>■太白区</b> 【成果等】 ○参加した児童生徒からは、「自分の将来の行動について考えさせられた」など、思春期の子ども達が自身の問題として捉えることができたと思われる感想が見られた。一方で、少数ながら「泊りに誘われたら行く」など、正しい学びに結びつかないケースもあり、思春期の子ども達へ正しい知識やコミュニケーションスキルを伝えていくことの必要性を再確認した。 ○重点的な取り組みとして行った1中学校については、民生委員等地域の方の関わりも進めるべきところであったが、感染拡大防止の観点から見送った。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○実施予定中学校より、小学校から連続性のある教育をするとより効果が高いのではと意見があった。	<b>■太白区</b> ○各学校や各学年でどのような思春期課題を抱えているか、思春期教育の現状や取り組みを共有し連携を図りながら、より丁寧に打ち合わせを行い、効果の高い教育を実施してまいります。 ○重点的な取り組みである1学区への教育については、民生委員等地域の方に協力を頂きながら、子供達が地域の大人に見守られている実感を持てるように行ってまいります。 ○ネットワーク会議についても、令和3年度重点的な取組を行う1学区で引き続き行ってまいります。	感染症対策室、 子供保健福祉課、 各区管理課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)②	11	思春期保健の推進	若年妊娠・望まない妊娠等の防止や性感染症の予防等について、教育委員会と連携を図りながら、小中学校、高等学校にて児童生徒と保護者を対象とした講習会を実施するなど、思春期からの心と体の健康教育の充実に向けた取組を進める	<p>■秋保総合支所 ○秋保中学校3年生（28名）を対象に「心と体と未来を大切にするために～助産師からのメッセージ～」をテーマに思春期健康教育を実施した。</p>	○ <p>■秋保総合支所 【成果等】 ○自分や相手の心と体の健康に責任を持つ行動をしていく重要性を助産師の立場から生徒に伝えるとともに、保健師からは悩みを抱えた時の対処行動についても伝えることができ、生徒も真剣に受講していた。今後も継続して、思春期の時期に即した教育を実施していく必要がある。</p>	<p>■秋保総合支所 ○対象となる学校が思春期保健に関してどのような課題をもっているのか把握し、課題に応じた健康教育を推進していきます。</p>	感染症対策室、 子供保健福祉課、 各区管理課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
	11			<p>■泉区 ○宮城県助産師会委託により中学校2校において実施。区の担当保健師が同行し、保健福祉センターや保健師の仕事など紹介した。 ・住吉台中学校：2年生52名参加 ・八乙女中学校：3年生178名参加</p>	○ <p>■泉区 【成果等】 ○生徒は、助産師の講義を真剣に聞き質問にも答える姿勢があった。自分の意思で心と体を守っていくことが重要である。また悩みを抱え込まないため地域に相談できる大人がいることを周知することも健康教育の課題と思う。</p>	<p>■泉区 ○助産師会委託の事業ですが、地域の生徒や保護者の状況を把握できる機会になることから、地区担当保健師も参加していきます。</p>	感染症対策室、 子供保健福祉課、 各区管理課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
1(1)②	12	幼児健康診査等に併せて行う心のケア対策	子どもの心身面の不安やストレス反応について、幼児健康診査の際に問診票による聞き取り調査を行い、必要に応じて児童精神科医・臨床心理士による専門相談につなげる また、各区役所に「子どものこころの相談室」を設置し、18歳未満の子どもを対象に、児童精神科医・臨床心理士による専門相談を行う	<p>■子供保健福祉課 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から一時休止していた幼児健康診査を6月中旬から再開し、あわせて問診票による聞き取りも再開した。問診票による聞き取り：25,422人【R元年度:23,474人】 ○子どものこころの相談室は個別相談のため、4月から継続して実施した。 児童精神科医等による専門相談件数：109件【R元年度:109件】</p>	▲ <p>■子供保健福祉課 【成果等】 ○個別相談については、一定のニーズがあるものと認識しており、十分な感染対策を行い、実施することができた。</p>	<p>■子供保健福祉課 ○引き続き、幼児健康診査における問診票による聞き取りと子どものこころ相談室の設置による個別相談を継続していきます。</p>	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
1(1)②	13	乳幼児とふれあう機会の充実	小学生や中学生、高校生に乳幼児とふれあう機会を提供し、命の大切さや家庭の意義の理解へつなげる	○体験学習やボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、見送りや未実施もしくは必要最小限に留められており、受け入れはほぼなかった。	▲ <p>【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から職場体験やボランティアの受け入れ人数を適切に設定することを周知し、実施している。</p>	○社会の中での保育所の役割を伝えながら、乳幼児や子育ての理解が深まるよう、感染予防に努めながら体験学習やボランティアの受け入れを行っていきます。	運営支援課
1(1)②	14	保健教育の充実	家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の指導と子どもの自己健康管理能力を高めるため、健康教育研修会の実施や授業実践への支援を行い、学校における保健教育の推進、充実を図る	○例年8月に行っている健康教育研修会は中止した。	▲ <p>【成果等】 ○健康教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を見送ることとした。</p>	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会開催を中止しましたが、令和3年度開催に向け、内容や開催方法の検討を図っていきます。	健康教育課

## 「仙台市すこやか子育てプラン2020」令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)②	15	人権教育の推進	自分を大切にし、他人を尊重する態度を育成する教育活動を推進し、子どもたちの人権尊重や男女平等の意識の定着を図る また、人権教育の実践者としての資質向上を図るため、教職員向けの研修会を開催する	<b>■教育センター</b> ○第1回人権教育研修(国際理解研修と共催) 外国人に対する偏見や差別の現状を理解し、偏見や差別意識をもつことなく、共に生きていこうとする態度を育てる。 9月10日(木) 参加人数 0人 ○第2回人権教育研修 性的マイノリティ(LGBT)に対する理解を深め、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりについて学ぶ。 10月20日(火) 参加人数 4人 ○第3回人権教育研修(情報モラルSNS研修と共催) LINE株式会社インストラクターを講師に、情報モラル教育、人権教育に役立つワークショップを行う。 11月17日(火) 参加人数 1人  <b>■教育指導課</b> ○教職員を対象に「人権教育研修」を実施し、人権教育の推進の仕方や人権教育資料「みとめあう心」の活用方法について理解啓発を図っている。	▲  <b>■教育センター</b> <b>【成果等】</b> ○予定していた第1・2・3回人権教育研修を実施した。  <b>【事業に対する客観的意見・評価】</b> ○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修申込みが少ない状況となった。令和3年度においては、人権教育の重要性とともに、研修についての周知を図っていく。  <b>■教育指導課</b> <b>【成果等】</b> ○教育課程ヒアリングや訪問等で道徳科や人権教育の年間指導計画に「みとめあう心」の活用を位置付け、授業で活用するよう各校に指導した。	<b>■教育センター</b> ○下記の研修を実施する予定です。 ・第1回人権教育研修(国際理解研修と共催) ・第2回人権教育研修 ・第3回人権教育研修(情報モラルSNS研修と共催) ○コロナ禍においては、更に道徳教育や人権教育の推進を重要として位置づけ、感染症対策に留意しながら研修を実施していきます。全体として、受講者の増加のための周知を図っていくとともに、各校の人権教育担当教諭や養護教諭等の悉皆研修に盛り込むことも検討していきます。  <b>■教育指導課</b> ○「みとめあう心」を小学5年生と中学1年生分印刷し、3月に各学校に配送する予定です。 ○「みとめあう心」を活用した授業に積極的に取り組むよう各学校への周知を図っていきます。	教育センター、 教育指導課
1(1)②	16	道徳教育の推進	自己の生き方や社会のあり方を考え、何事にも主体的に取り組む姿勢など児童生徒の道徳性を育むため、道徳教育の要である道徳科の授業の充実を図る	○道徳科の授業において、児童生徒が主体的に道徳性を養うための指導、多様な考え方を生かすための言語活動、問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導及び評価を行った。	○     ○	○学習指導要領及びいじめに係る諸施策の主旨を踏まえ、命と心を守り育む道徳教育を推進し、生命尊重の精神や公正、公平な態度を育むため「考え、議論する道徳」に基づく授業の質の向上、指導の充実を図ってまいります。	教育指導課
1(1)②	17	命を大切にする教育の推進	児童生徒が生涯にわたって「心の危機」に対処するための土台となるよう、家庭や地域と連携しながら命を大切にする教育の推進を図る	○市立学校園で命を大切にする教育の推進役を担う教員を対象に「命を大切にする教育研修」を実施し、各校の実態に合わせた命を大切にする教育の推進を図った。 ○命を大切にする教育の理解啓発及び授業実践に活用できるよう、「仙台版 命と絆プログラム」を各校に配付した。	○     ○	○命を大切にする教育の年間指導計画の作成状況と授業実践の状況を確認するとともに、「仙台版 命と絆プログラム」の検証と改訂について複数年度計画で行っていく予定です。	教育指導課
1(1)②	18	学校情報化推進事業	新たな時代を生きる子どもたちの情報活用能力を育むため、小中学校すべての普通教室や特別教室において、コンピュータや教育用デジタル教材、インターネット等を活用した学習ができるよう、校内ネットワークやコンピュータ等の整備充実を図るとともに、情報化社会の「光(利便性)」と「影(問題点)」を理解し、社会の中で安全に生きる力を身に付けられるよう、情報モラルに関する教育を推進する	○GIGAスクール構想の実現に向け、各学校の通信環境整備、端末配備を令和2年度内に完了した。 ○コンピューター室の端末更新校(35校)に対し、ソフトウェア活用研修やICT支援訪問を実施した。[R元年度:42校] ○情報モラル啓発リーフレットを作成した。	○     ○	○ICT環境整備については、整備した端末が安全かつ安定的に活用できるよう、適宜状況を把握し、必要な改修を継続していくとともに、活用推進に向け、教員への支援を継続していきます。 ○情報モラル教育の推進については、端末配備等の環境整備を踏まえ、引き続きリーフレット等による啓発を行うとともに、児童生徒の学習の場面において、情報モラル教育の充実を図っていきます。	教育指導課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
	1(1)② 19	児童生徒の心のケア推進事業	児童生徒が地域、学校、家庭で精神的に安定した生活を送り、すこやかに成長できるよう、心の問題の未然防止、早期発見、解決を目指した支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スクールカウンセラー配置事業（小学校119校、中学校64校、高校4校、中等教育学校1校、特別支援学校1校）</li> <li>○緊急スクールカウンセラー配置事業（被災校や生徒指導困難校17校に配置）</li> <li>○さわやか相談員等配置事業（90校に配置）</li> <li>○学校生活支援巡回相談員派遣事業（63校に派遣）</li> <li>○心のケア支援チーム派遣（8校に派遣）</li> <li>○震災に伴う精神科医師派遣（支援対象校7校）</li> <li>○「心と体の健康調査」の実施（支援対象校7校）</li> <li>○スクールソーシャルワーカーの派遣（85校に派遣）</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心の問題の未然防止、早期発見、解決を目指すし、専門家の助言をいただきながら支援を行っている。</li> </ul>	○震災の影響に加えコロナ禍での対応も必要になっているため、児童生徒の現状を踏まえ、専門家等と連携を図りながら心のケアを推進していきます。	教育相談課
	1(1)② 20	子ども読書活動推進	「仙台市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもがいつでも、自由かつ意欲的に読書に親しむことのできる環境を作るため、学校と家庭、地域、図書館など関係機関の連携・協力のもと、家読（うちどく）をはじめとするさまざまな取り組みを推進する	○学校図書館運営モデル校として、小学校7校、中学校2校、特別支援学校1校を認定。モデル校は学校図書館運営に関し、特色ある取り組みを実施。	○	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館運営モデル校認定校については、感染症拡大防止に配慮した学校図書館運営の検討や、学校図書館を利用する児童を増やすための取り組み、「家読（うちどく）」の推進活動を行い、子どもの読書に対する興味関心を喚起するような取り組みを進めた。</li> <li>○令和元年度の学校図書館運営モデル校の取組事例集を作成。事例集を通じて、令和元年度の実施内容や結果、新たな課題などを他校と共有し、学校図書館のさらなる効果的活用や子どもの読書活動推進を図った。</li> </ul>	○今後も子どもの読書環境の更なる充実のために、仙台市子ども読書活動推進計画（第三次計画）に基づいて事業を展開し、関係機関の連携・強化による推進体制の整備、及びこれまでの取り組みの検証を行っていく予定です。	生涯学習課
	1(1)② 21	図書館における子ども読書活動推進事業	学校との連携を強化し、図書館資料の貸出や、小中学生を対象としたブックトークの実施などを通じて児童生徒の読書活動を支援する また、泉図書館2階の「子供図書室」を中心に、子ども読書に関わる人・情報・サービスのネットワークの拠点としての事業を展開する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校への貸出： ・朝読書用パッケージ貸出 79校・85回・10,200冊</li> <li>・テーマ別パッケージ貸出 18校（小17・中1）・31回（小29・中2）・1,152冊</li> <li>・授業用図書貸出・ブックトーク貸出 159校（小148・中11）369回（小356・中13）・15,377冊（小14,814・中563）</li> <li>○市内特別支援学校・学級専用資料貸出 21校（小19・中2）・51回（小49・中2），貸出冊数 1,874冊（小1,809・中65）</li> <li>○高等学校向け学校貸出サービス 利用校 3校・3回 貸出冊数：79冊</li> <li>○配送サービス利用件数：1,384件（図書館→学校648・学校→図書館736）</li> <li>○図書館職員によるブックトークの実施：118校・125回（小学校117・中学校8）</li> <li>○ブックトークボランティアによるブックトークの実施：20校（団体）・40回（小学校14校34回・中学校3校3回・その他団体3回）</li> <li>○小学校及び中学校・高等学校1年生向け図書館利用案内の作成・配布送付部数総部数：33,363部</li> <li>○おはなし会の実施：459回，4,415名参加</li> <li>○市内の保育所、幼稚園、児童館などの職員や地域のボランティアへの支援 ・「子ども読書支援パック」の貸出：343件</li> <li>・研修・講座の実施：7件，225名参加</li> <li>○有効活用図書の提供：（小学校）21校2,213冊（保育所）19所（園）1,169冊</li> </ul>	▲	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍のため、年度初めの小・中・高等学校への学校連携事業の説明会や学校図書館関係者向けの研修会などが中止になったり、周知・広報活動が例年のようにできなかったりしたが、特別支援専用貸出などは貸出冊数が前年度よりも増加した。</li> <li>○図書館職員による小学4年生へのブックトークは学校の意向を聞いて実施することにしたが、多くの学校が希望し、感染症への対策を行いながら実施した。実施できない小学校へは図書の貸出を行った。</li> <li>○コロナ禍によって会場の確保が難しく、ブックトークボランティアの研修会や定例会、勉強会の機会を設けることが大変難しい状況だった。</li> <li>○コロナ禍のため、当初計画していた3件の講座の実施を見合わせた。9月の読み聞かせボランティア基礎講座から、定員を少人数とするなど感染防止策を取りながら再開した。</li> <li>○「子ども読書支援パック」のうち、利用の少ない「紙芝居パック」をより利用しやすい冊数に組み替えて貸出したところ、貸出回数が前年度より増加した。</li> </ul> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年度当初、休校中の預かり児童への図書貸出を実施したところ、学校から好評をいただいた。教育センターから各学校あてに発出された通知の中で仙台市図書館学校連携事業の活用について触れられているため、秋以降の申込みが入ってきた。</li> <li>○学校での行事の多くが中止になっている中、ブックトーク訪問は貴重な機会だという声をいただいている。</li> </ul>	○学校貸出については、引き続き、学校からの要望に沿った選書と提供に努めます。	市民図書館

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③すこやかな体の育成							
1(1)③	22	子どものころからの生活習慣病予防	小学校等と連携し、小学校での授業や地域での健康教育を実施することで、子どものころから生活習慣病を予防するための望ましい生活習慣を身に付けられるよう周知・啓発を行う	○授業等で使用できる啓発媒体の作成に取り組んだ。	▲ 【成果等】 ○媒体作成には、学校との連携が必要だが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進んでいない。	○引き続き啓発媒体の作成に取り組みます。周知・啓発については各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課で実施していきます。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
1(1)③	23	思春期保健の推進		⇒ 整理番号011 参照			感染症対策室, 子供保健福祉課, 各区管理課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
1(1)③	24	3歳児カリエスフリープロジェクト	むし歯のない3歳児を増加させることを目指し、乳歯萌出期である8～9か月児の乳児健診等において、むし歯予防の重要性を啓発し、かかりつけ歯科医院での定期予防管理を受ける習慣の定着を推進する 併せて低年齢児から歯の健康づくりを支援する歯科医療機関の整備を図る	<b>■健康政策課</b> ○「8～9か月児の乳児健診」における保護者への啓発用に「でんたるノート」と「協力歯科医療機関一覧」を13000部作成し、乳児健診登録医療機関へ配布した。 <b>■子供保健福祉課</b> ○「8～9か月児の乳児健診」における保護者への啓発用に「お子さんの健やかな成長のために」を11,000部作成し、乳児健診登録医療機関へ配布した。	▲ <b>■健康政策課</b> 【成果等】 ○啓発媒体は予定通り作成し、乳児健診登録医療機関における保健指導等で活用されているが、新型コロナウイルス感染症予防のため、歯科医院の受診を見合わせる者が増えているのではないかと危惧している。 <b>■子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○啓発媒体は予定通り作成し、乳児健診登録医療機関へ送付している。乳児健診受診時に、歯科保健の重要性について小児科にて啓発を行っているが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、乳幼児の歯科医院への受診控えが懸念される。	<b>■健康政策課</b> ○コロナ禍における生活習慣や歯科保健行動の状況を把握し、むし歯の発症のリスク低減を図るための情報発信や取り組み支援を進めています。 <b>■子供保健福祉課</b> ○カリエスフリープロジェクトから、新しく事業化したフッ化物歯面塗布助成事業へ移行し、令和3年4月26日から事業を開始しました。今後は、フッ化物歯面塗布助成事業を通じて歯科保健に対する意識の啓発や、対象者への制度周知に努めてまいります。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
1(1)③	24			<b>■青葉区</b> ○あおば健康づくり講座にて、子育て中の保護者を対象に「歯とお口の健康」を啓発（1回2名） ○離乳食教室教室にてむし歯予防を啓発（8回59組）〔R元年度：11回186組〕個別相談の対応は1回3名 ○育児相談会「まめっこ」にて、むし歯予防について相談対応（4回8名）〔R元年度：1回1名〕	▲ <b>■青葉区</b> 【成果等】 ○3～4か月児育児教室は中止のため、この事業のなかでは乳児期における歯科保健の啓発ができなかった。 ○離乳食教室は8月から、育児相談会「まめっこ」は7月から人数を制限した上で再開し、むし歯予防を啓発している。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、内容を変更して実施した。	<b>■青葉区</b> ○離乳食教室等の関連する事業の中で、むし歯予防とかかりつけ歯科医推奨等の啓発・相談を実施していきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	24	3歳児カリエ スフリープロ ジェクト	むし歯のない3歳児を増加させることを目指し、 乳歯萌出期である8～9か月児の乳児健診等 において、むし歯予防の重要性を啓発し、かか りつけ歯科医院での定期予防管理を受ける習 慣の定着を推進する 併せて低年齢児から歯の健康づくりを支援する 歯科医療機関の整備を図る	<b>■宮城総合支所</b> ○1歳児歯科保健教室（歯ッピー教室）奇数月 年5回 合計39人 5月中止（7・9・11・1・3月開催） ○歯科保健推進事業 ・（所外）歯ッピー教室：管内子育て支援センター（2か所）に計 3回実施 参加者親子21組43人 ・歯科健康教育：管内児童館と連携し教室開催（1か所） 1回 参加親子8組17人 ・でんたろノート啓発チラシ送付（児童館・保育所等28施設） ○離乳食教室 奇数月 年4回（5月・3月中止，7月再開4 組来所 9月10組・11月1組来所，1月個別相談にて3組対 応） ○歯科健診事後指導 ・1歳6か月健診 45件（文書45） 令和3.2月受診4月事後6件，6月再開後受診8月以降事後 対象より39件 ・2歳6か月歯科健診 19件（電話2件・文書17件） 6月再開と12月再開集団から電話1・文書17件，8月以降1 月20日までの委託個別より電話1件（個別からの事後はほぼ全 数3歳児健診チェック） ・3歳児健診 2件（電話2件） 集団からの事後0件，8月以降1月20日までの委託個別より電 話2件	<b>■宮城総合支所</b> <b>【成果等】</b> ○1歳児歯科保健教室（歯ッピー教室） 中止1回 開催回については定員を半数に減じ，内容を変 更する等の感染拡大防止の策を講じて実施した。 ○歯科保健推進事業 ・（所外）歯ッピー教室：実施時期を変更して7月1回，8 月1回，1月1回，募集人数の調整や内容の変更を図りつ つ，子育て支援センター2か所に3回実施した。 ・歯科健康教育：開催中止のほか開催時期や内容，募集 定員を変更して実施した。 ・でんたろノート啓発チラシ送付：三密回避のため，掲示用 のチラシのみとし，ティッシュの配布を中止した。	<b>■宮城総合支所</b> ○1歳児歯科保健教室（歯ッピー教室） ・子供未来局主管の「フッ化物歯面塗布助成事業」の事 業開始に合わせ，歯科健診とフッ化物歯面塗布体験を 終了し，「歯ッピーはみがき教室」として継続し，「歯と 口の健康づくり」を契機とした多職種連携の保健指導・健 康教育および健康相談・育児支援の場とします。 ○歯科保健推進事業 ○離乳食教室 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえた柔軟 な対応をします。 ○歯科健診事後指導 ・委託個別受診から事後指導の対象者となった（2歳6か 月後3歳児健診チェック）対象者について，遺漏なくいな いにフォローします。 ・コロナ禍における生活習慣や歯科保健行動の変化を踏 まえた上で有効な事後指導の展開を図ります。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福 祉課
				<b>■宮城野区</b> ○すくすく育児相談での歯科講話 ・岩切すくすく育児相談 1回3件 ・高砂すくすく育児相談 1回4件 ○4か月育児教室対象者への歯科啓発チラシ送付 1,696部 ○離乳食教室での歯科啓発チラシ配布 6回74部  <b>[R元年度実績]</b> ○すくすく育児相談での歯科講話 ・岩切すくすく育児相談 2回23人 ・高砂すくすく育児相談 2回32件 ○4か月育児教室での歯科啓発チラシ配付 1,334部 ○離乳食教室での歯科啓発チラシ配布 254部	<b>■宮城野区</b> <b>【成果等】</b> ○すくすく育児相談での歯科講話は，新型コロナウ イルス感染症拡大防止のため中止とし，個別相談 に対応した。 ○3～4か月児育児教室が中止となったため，対象 者へ歯科啓発チラシを郵送した。 ○離乳食教室9月から再開，歯科啓発チラシを配 付。  <b>【事業に対する客観的意見・評価】</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，歯 科講話や教室が延期や中止となったが，形式を変 えて情報提供することができた。	<b>■宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変 化を考慮し，むし歯になりにくい生活習慣の定着を支 援するとともに，乳歯萌出期からの歯と口の健康づく り推進のための啓発等，継続して取り組んでいきま す。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福 祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(1)③	24	3歳児カリエスフリープロジェクト	むし歯のない3歳児を増加させることを目指し、乳歯萌出期である8～9か月児の乳児健診等において、むし歯予防の重要性を啓発し、かかりつけ歯科医院での定期予防管理を受ける習慣の定着を推進する 併せて低年齢児から歯の健康づくりを支援する 歯科医療機関の整備を図る	<b>■若林区</b> ○子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業 ・管内5児童館と連携し、教室の開催を予定していたが中止した。 ・パネル掲示（7児童館） ・児童館だよりへの啓発文書掲載（10月～3月）（5児童館） ○離乳食教室 ・4月～9月まで中止（10月から再開 6回44名） ○歯科健診事後指導（1歳6か月健診，2歳6か月歯科健診，3歳児健診） ・1歳6か月健診 90件（文書90） ・2歳6か月歯科健診 70件（文書69，電話1） ・3歳児健診 124件（3歳児健診時指導124名）	○	<b>■若林区</b> <b>【成果等】</b> ○0歳児の親子を対象に実施したことで、子育てに不安や疑問を持ち始める早い時期に支援できた。 ○児童館職員にむし歯予防に対し積極的な取り組みにつながった。 ○早い時期から食生活も含めた歯科保健指導を実施することで幼児のむし歯予防につながっている。	<b>■若林区</b> ○子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業は、平成30年度より3年間実施し、令和2年度で終了予定です。歯科保健・食育推進事業として地域に介入をしましたが、児童館職員自ら地域の子育て支援を中心とした動きが活発になってきています。歯科保健の取り組みとしては、支援できる場を多く持ち、子育て支援センターなどで今後も連携し実施していく予定です。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
	24			<b>■太白区</b> ○3～4か月育児教室にて資料送付 1,864人 [R元年度：54回 1,714人] ○家庭健康課で作成した啓発用DVD（映像）を上映 ・幼児健診 78回（内訳：1歳6か月健診40回，2歳6か月健診16回，3歳児健診22回） ・BCG接種会場 18回	▲	<b>■太白区</b> <b>【成果等】</b> ○3～4か月育児教室は休止となり集団指導がなくなりましたが、BCG接種会場で新規に作成した啓発用DVDを上映することで乳児期の歯科保健の啓発を補填することができた。	<b>■太白区</b> ○3～4か月育児教室の休止中は資料送付を継続し、再開した場合は集団指導を実施して啓発していきます。 ○離乳食教室（9月に再開）や、児童館などにおける健康教育など機会を捉えて、むし歯予防とかかりつけの歯科の重要性を啓発していきます。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
	24			<b>■泉区</b> ○「1歳の歯みがき教室」を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施に至らなかった。	▲	<b>■泉区</b> <b>【成果等】</b> ○対象児が1歳と低年齢であり、感染症対策を優先し休止とした。	<b>■泉区</b> ○令和3年4月「仙台市フッ化物歯面塗布助成事業」が開始されたことにより、低年齢のうちからかかりつけ歯科医を持つことの推進が図られることから、本事業の役割は終えたものとし、終了とします。 ○新規事業となる「仙台市フッ化物歯面塗布助成事業」の普及のため、市民に向けた啓発を行います。 ○歯の生え始めの早い時期からのむし歯予防を推進するため、地域の児童館や支援センターでの健康教育を充実させます。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	25	子どもの歯と口の健康づくり推進	乳幼児期のむし歯予防を推進するため、乳幼児健康診査や地域における健康教育を通じて、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、幼稚園・保育所等を対象としたフッ化物洗口導入支援事業等を通じて、年齢に応じたフッ化物応用法の啓発を行う また、むし歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面塗布の初回利用を公費助成する	<b>■健康政策課</b> ○「8～9か月児の乳児健診」における保護者への啓発用に「でんたるノート」と「協力歯科医療機関一覧」を13,000部作成し、乳児健診登録医療機関へ配布した。  <b>■子供保健福祉課</b> ○「8～9か月児の乳児健診」における保護者への啓発用に「お子さんの健やかな成長のために」を11,000部作成し、乳児健診登録医療機関へ配布した。	<b>▲</b> <b>■健康政策課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼児歯科健康診査の一部を個別受診対応とした。また幼稚園等においては、臨時休園や登園自粛を促す対応もあったため、タイムリーなむし歯予防の情報発信ができなかったのではないかと危惧している。  <b>■子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○フッ化物歯面塗布助成事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により事業開始が遅れていたが、令和3年4月26日からの事業開始に向けて、関係機関等と調整し準備を整えることができた。	<b>■健康政策課</b> ○コロナ禍における生活習慣の変化が、子どもの歯と口の健康にどのように影響したのか評価したうえで、関係団体等との連携を図り、必要な啓発や情報発信のあり方を検討します。  <b>■子供保健福祉課</b> ○フッ化物歯面塗布助成制度の利用により保健指導を受けることで、歯科保健に対する意識の向上を図るとともに、対象者への啓発、広報を行います。また、「☆せんだい☆でんたるノートF」を活用し、継続的な歯と口の健康づくりにつなげていきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	25			<b>■青葉区</b> ○フッ化物洗口実施施設等に対し、電話にて状況把握及び継続支援を実施（33施設） ○新規のフッ化物洗口導入施設に対し、訪問にて職員研修を実施（1施設10名） ○歯科保健啓発媒体を小規模保育施設などへの送付（93か所） 保育ママ9か所、小規模保育施設31か所、事業所内保育施設7か所、認可外保育園10か所、児童館20か所、児童発達支援センター3か所、企業主導型保育施設13か所	<b>▲</b> <b>■青葉区</b> 【成果等】 ○フッ化物洗口実施調査は10月から開始し、延べ36回訪問した。	<b>■青葉区</b> ○フッ化物洗口実施施設等に対して、継続して支援してまいります。フッ化物洗口未実施に対しては、低年齢からの歯と口の健康づくりについて啓発をしていきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	25	子どもの歯と口の健康づくり推進	乳幼児期のむし歯予防を推進するため、乳幼児健康診査や地域における健康教育を通じて、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、幼稚園・保育所等を対象としたフッ化物洗口導入支援事業等を通じて、年齢に応じたフッ化物応用法の啓発を行う また、むし歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面塗布の初回利用を公費助成する	<b>■宮城総合支所</b> ○フッ化物洗口導入支援事業 ・電話・訪問等による状況把握と情報交換 3施設 ・保護者説明用リーフレット送付 2施設 ・保護者説明会 1施設 ・打ち合わせ等（訪問）20件（未実施施設6・コロナ禍相談1・薬剤管理12・民間委託後新規支援1） ○認可保育園・幼稚園・小規模保育施設及び児童館等 33施設 ・フッ化物の資料（リーフレット等）提供、ポスター等の掲示、でんたのノート啓発チラシの配付 ○小規模保育施設 15施設 ・ポスター掲示、啓発媒体送付 ○歯と口の健康週間 ・保育所・幼稚園・認定こども園・小規模保育園・児童館に対し、啓発用ポスターや資料を送付 計41施設	<b>▲</b> <b>■宮城総合支所</b> 【成果等】 ○フッ化物洗口導入支援事業 ・コロナ禍における洗口実施について実施施設からの質問相談への対応（受動的対応） ・嘱託歯科医による歯科健診に併せて保護者に配布するリーフレットの提供（希望施設のみ） ＊集約結果報告時の洗口実施状況調査を紙面確認とし、洗口見学を中止した。 ＊令和2年度新規開園施設への洗口導入支援が未実施のままコロナ禍となり歯科健診実施時期・集約結果報告時期ともずれ込む 1施設 ○保育所・幼稚園歯科健康診査集約事業 認可保育園・認定こども園・幼稚園18施設 ・歯科健診日の延期による集約スケジュールの変更→データ提出締め切り10月末までに延長（10月末15施設提出済）→11月末17施設提出済み ・最終提出施設3/25の1施設は集約結果報告データに反映できず参考値として施設に報告 ○幼児歯科健康診査 ・1歳6か月：6月再開後歯科集団指導なしで継続実施 → 歯の汚れの多い児が増加している傾向があり、歯のみがき方やフッ化物の利用についての質問も増えている ・2歳6か月：6月再開後1回実施・8月～1月個別・12月～集団再開 ・3歳：7月再開後歯科集団指導なしで2回実施・8月～1月個別 →（8～11月の集団健診受診時に歯科健診受診券を配付）かかりつけ歯科医が登録医療機関になっていないケースが多数見受けられる ・コロナ禍において ①不規則な生活習慣やおやつのはずれ（甘味摂取の増加等）が散見される ②かかりつけ歯科医での定期健診や予防処置の中断及び受診控えも少なくない	<b>■宮城総合支所</b> ＊コロナ禍において事業の不足感が出ない対応および新型コロナウイルス感染症対策を優先した対応が必要となっています。 ＊新しい生活様式を踏まえて実施していきます。 ○フッ化物洗口導入支援事業 ・安全に継続して実施するため十分かつ正確な情報提供が必要となっています。 ・集約結果報告に併せての実施状況調査の方法について検討が必要です。 ○保育所・幼稚園歯科健康診査集約事業 ・訪問による報告還元が推奨されますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては郵送による還元等、感染症対策を優先させる必要があります。 ○幼児歯科健康診査 ・1歳6か月：歯科集団指導が実施できない状況での健康教育・保健指導について、効果的な方法で提供していきます。 ・2歳6か月：個別受診期間中の健診結果について、必要な歯科事後指導がもれなく実施されるよう注意します。 ・3歳：再開後は歯科集団指導が実施できない状況での健康教育・保健指導について、効果的な方法で提供していきます。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
	25			<b>■宮城野区</b> ○フッ化物洗口導入支援 45施設（うち新規申込3施設） ・訪問等の支援28回 ・職員説明会 4回34人 ○歯と口の健康週間での啓発 ・保育所・幼稚園訪問時等に啓発物配布 4施設68個 ・区内児童館等へ啓発ポスター配布 20施設 ○歯科健康教育媒体の貸出 4施設	<b>○</b> <b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○フッ化物洗口を希望する幼稚園・保育所等3施設に対して、職員研修や技術的支援および物品の提供を行った。 ○施設全体で歯と口の健康づくりの取り組みの機会をつくるため、6月の歯と口の健康週間にあわせて幼稚園・保育所等訪問時に啓発物を配布した。 ○歯科健康教育用の媒体のリストを作成し、保育所等に貸し出しを行い施設での取り組みを支援した。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○フッ化物洗口を実施する施設の割合は、令和元年度61施設中43施設（70.5%）から62施設中45施設（72.6%）となった。	<b>■宮城野区</b> ○幼稚園・保育所等へのフッ化物洗口導入支援事業等を通じて、情報交換をしながらむし歯になりにくい生活習慣の確立と歯と口の健康づくりの実践を継続して支援していきます。	健康政策課， 子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	25	子どもの歯と口の健康づくり推進	乳幼児期のむし歯予防を推進するため、乳幼児健康診査や地域における健康教育を通じて、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、幼稚園・保育所等を対象としたフッ化物洗口導入支援事業等を通じて、年齢に応じたフッ化物応用法の啓発を行う また、むし歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面塗布の初回利用を公費助成する	<b>■若林区</b> ○フッ化物洗口導入支援事業 25施設 ・洗口実施調査 24施設(1施設洗口休止中) ・事業説明等 2施設 ○認可保育園・幼稚園 46施設 ・歯科健診事後指導文書作成送付 ○小規模保育施設 15施設 ・ポスター掲示 ・啓発媒体送付	▲ <b>■若林区</b> 【成果等】 ○フッ化物洗口導入支援事業 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも洗口状況を確認し、指導した。 ○認可保育園・幼稚園 新型コロナウイルス感染症のため、施設への訪問を控えている。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○具体的な啓発媒体や資料を作成、提供することで歯科保健活動に積極的に取り組んでもらっている。	<b>■若林区</b> ○継続して支援していきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	25			<b>■太白区</b> ○フッ化物洗口事業 ・薬剤管理・洗口状況確認のため訪問 28回 [R元年度：27回] ・職員等対象研修会 1回 [R元年度：3回] ○歯と口の健康週間ポスター送付 68施設 [R元年度：68施設] ○歯科保健媒体の貸出 10件 [R元年度：4件] ○家庭健康課で作成した啓発用DVD（映像）を上映 ・幼児健診 78回（内訳：1歳6か月健診40回，2歳6か月健診16回，3歳児健診22回） ・BCG接種会場 18回 ○健康教育 ・乳幼児 2回 [R元年度：8回]	▲ <b>■太白区</b> 【成果等】 ○フッ化物洗口導入事業はほぼ予定通りに事業を実施している。また、新型コロナウイルス感染症対策のため幼児健診の集団指導がなくなるなどの状況があるが、代わりにDVDを新たに作成し上映することで啓発できている。	<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症対策のため幼児健診の集団指導がなくなるなどの歯科保健に関する情報を発信する機械や相談の機会が少なくなっているため、DVDの活用など今後も手法や内容を検討していきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	25			<b>■泉区</b> ○フッ化物洗口導入支援事業として「職員説明会」を1回実施した。また、洗口薬剤の管理状況の確認を2回行った。 ○歯と口の健康週間にちなみ、保育所・幼稚園・認定こども園・小規模保育園・児童館に対し、啓発用ポスターや資料を送付した（計99施設）。	▲ <b>■泉区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策により、保育所・幼稚園・認定こども園で例年行われている歯科健診が遅れており、それに伴い「保育所・幼稚園・認定こども園歯科健診結果」を活用して実施している子どもの歯と口の健康推進にも遅れが出てくるのが予想される。 ○「新しい生活様式」を意識し、訪問ではなく郵送という形をとって啓発資料を配布した。今後、啓発が一方向的にならないよう、工夫が必要と感じている。	<b>■泉区</b> ○感染症対策を講じた上で、洗口薬剤の管理状況の確認や洗口の状況の確認をします。 ○保育所幼稚園等歯科健診結果を活用し、各施設における歯科保健活動の取り組みを支援します。 ○歯と口の健康週間にちなみ、保育所・幼稚園・認定こども園・小規模保育園・児童館に対し、啓発用ポスターや資料を送付します（計99施設）。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(1)③	26	幼児の肥満対策	子どもの肥満予防と肥満解消のために、乳幼児健康診査等において、食生活・身体活動などについての保健指導・個別相談を実施する また、肥満の乳幼児について、栄養相談を実施し、肥満解消に向けた支援を行う	<b>■健康政策課</b> ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課実績のとおり  <b>■子供保健福祉課</b> ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課実績のとおり	○  ○	<b>■健康政策課</b> 【成果等】 ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課にて実施  <b>■子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課にて実施	<b>■健康政策課</b> ○新しい生活様式による食生活の変化も考慮しながら、個々の状況に応じた食生活支援を行います。また、仙台市の肥満傾向にある幼児の割合や、その食事と生活状況を把握し、肥満予防のための食生活の啓発に努めます。  <b>■子供保健福祉課</b> ○子どもの肥満予防と肥満解消のため、乳幼児健康診査の場を活用し、各区・総合支所において今後も継続して取り組んでいきます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■青葉区</b> ○幼児健診は感染拡大防止のため、当日の栄養相談は対象を絞って実施し、後日電話でも対応。 【令和2年度 栄養相談数 1歳6か月児健康診査：123件、2歳6か月児歯科健康診査：15件、3歳児健康診査：58件】（令和元年度 栄養相談数 1歳6か月児健康診査：130件、2歳6か月児歯科健康診査：130件、3歳児健康診査：51件） ○幼児健康診査受診者に対し、青葉区独自に作成した資料（肥満の予防を含めた内容）を配布。	○	<b>■青葉区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集団指導が中止となっていることから、肥満の予防を含めた内容の資料を配布し啓発している。	○感染症対策に留意しつつ、必要な方に指導・支援ができるよう、家庭健康課全体で取り組みます。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■宮城総合支所</b> ○幼児健診時の栄養相談、（感染拡大防止の為、待ち時間がある場合は後日電話等にて対応） 1歳6か月77件、2歳6か月16件、3歳53件 ○幼児期のおやつについてのパネルの展示	○	<b>■宮城総合支所</b> 【成果等】 ○幼児健診時肥満だった者へは出来る限り栄養相談を行っている。健診時の滞在時間等もふまえ、健診時の相談が難しい場合は後日電話での相談としている。	<b>■宮城総合支所</b> ○個別の栄養相談について継続するほか、3歳児健康診査時肥満度15%以上だった児に対し、栄養相談の有無に関わらず、子どもの肥満に関するリーフレットを配布します。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■宮城野区</b> ○健診が再開する12月まで2歳6か月児歯科健診対象者に資料を送付。 ○幼児健診における個別の栄養相談等において肥満の予防や解消について指導している。 幼児健診時の食生活相談 ・1歳6か月：281件（R元年度308件） ・3歳：104件（R元年度56件）	○	<b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○2歳6か月児歯科健診は個別健診に変更して実施した。 ○1歳6か月児 3歳児健診は6月中旬まで中止した。 ○肥満を呈している児が増えたこと、肥満対策に力を入れたことから3歳の健診時の相談件数が前年度の1.8倍に増えた。	<b>■宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活の変化を考慮し、個々に応じた食生活支援の充実に努め、幼児期における肥満の割合の減少を目指します。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	26	幼児の肥満対策	子どもの肥満予防と肥満解消のために、乳幼児健康診査等において、食生活・身体活動などについての保健指導・個別相談を実施する また、肥満の乳幼児について、栄養相談を実施し、肥満解消に向けた支援を行う	<b>■若林区</b> ○幼児健診時の食生活相談 1歳6か月188件、2歳6か月29件、3歳93件	○ <b>■若林区</b> 【成果等】 ○肥満へのハイリスクアプローチとして幼児健診時肥満だった者へ、啓発リーフレットの配布と、できる限りその場で栄養相談を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として滞在時間を考慮したり保護者の希望等でその場でできない場合でも、後日電話フォローをする等取り組むことができた。	<b>■若林区</b> ○今後も継続して支援していく予定です。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月2週目中止。6月3週目～再開。 ○幼児健診時の待ち時間を活用し、生活リズムや食事のバランスについてのビデオを上映。 ・ビデオ上映回数：78回 ○幼児健診における個別の栄養相談等において肥満の予防や解消について指導した。 幼児健診時の食生活相談 ・1歳6か月：222件〔R元年度 186件〕 ・2歳6か月：105件〔R元年度 135件〕 ・3歳：127件〔R元年度 102件〕	○ <b>■太白区</b> 【成果等】 ○幼児健診の待ち時間に健康的な食生活、適切な食習慣についての啓発ができた。 ○幼児健診の栄養相談では、生活リズム、食習慣等も踏まえ、個々に応じた支援を行い、食生活改善への意識づけの機会となっている。	<b>■太白区</b> ○幼児健診の栄養相談においては、個々の状況に応じた支援を行い、食生活改善への意識付けの機会となっています。 ○今後も、個々の状況に応じた食生活支援の充実に努め、幼児期における肥満の割合の減少を目指します。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■秋保総合支所</b> ○幼児健診受診者74名に保健指導、啓発実施 肥満者なし	○ <b>■秋保総合支所</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集団指導が実施できないため、資料配布・掲示を行った。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○待ち時間に掲示を見ている保護者もあり、現状における啓発方法としては適切であると考え。	<b>■秋保総合支所</b> ○今後も継続して指導、啓発を行います。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	26			<b>■泉区</b> ○幼児健診における個別の栄養相談等において、肥満の予防や解消について指導した。 幼児健診時の食生活相談 ・1歳6か月 181件 2歳6か月 29件 3歳 126件 ○幼児期のおやつのポイントについてパネルを作成し、健診会場に展示した。	▲ <b>■泉区</b> 【成果等】 ○2歳6か月健診時の集団指導でもおやつのポイントなどの啓発を実施していたところだが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっている。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、幼児健診の実施方法が変更されたことから、一部の肥満児の経過観察が困難になっている。	<b>■泉区</b> ○幼児健診の栄養相談においては、個々の状況に応じた支援を行い、幼児期における肥満の割合の減少を目指します。肥満に該当した方全員に、啓発資料を郵送できるよう検討をしています。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(1)③	27	保育所における食育推進事業	毎日の給食や野菜栽培・調理体験等の食育活動を積み重ね、子どもたちが食に興味や関心を持ち、食べることを楽しむ気持ちを育む また、保育所等に開設された子育て支援センター・支援室において、地域の子育て家庭に対し、離乳食講座や食事相談等を実施し、食育を推進するとともに、実施箇所の充実を図る	○各保育所での食育活動 入所児童：5,917回 172,321名 [R元年度：6,586回 182,075名] 地域親子：500回 5,671名 [R元年度：580回 4,306名] ○朝食を毎日、バランスよく食べる働きかけ 724回 33,093名 [R元年度：795回 47,415名] ○食事相談 29箇所 [R元年度：48箇所] ○離乳食講座 24箇所 [R元年度：59箇所] ○食事講座 95回 802名 [R元年度：281回 2,314名]	○ 【成果等】 ○保育所入所児童への食育活動は、児童が食への興味・関心を高めて基本的な食習慣を身に付ける効果があった。入所家庭に対しては、給食便りを活用して朝食を毎日食べることやバランスよく食べることなど、朝食内容についての働きかけが多く実施された。 ○保育所内に開設された子育て支援センター・支援室での地域向けの食事講座や食事相談を継続して実施し、利用者の支援を行うことができた。また、一般の保育所でも地域に向けての離乳食講座などの充実を図りながら実施してきた。	○今後も食べることに興味を持つような活動を子どもや家庭に向けて継続的に働きかけていきます。 ○地域の子育て家庭への食に関する支援として、利用者へ合わせた講座や相談事業を継続して実施していきます。	運営支援課	
	28	子どもの体力向上	子どもの体力・運動能力向上を図るため、市内の体育館等で行っている未就学児向けの事業等により、未就学児段階から運動に親しむ機会を提供する	○各区体育館やプールなどにおいて、幼児が参加できるプログラムや教室を実施 ・延べ1,765回開催【R元年度：2,408回】 ・延べ33,721人【R元年度：69,345人】	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策を行う中で可能な範囲でスポーツ教室などを実施できるよう進めている。年度始めの2か月間は施設を完全に休館とした影響で、通年の教室は参加者数が増えなかった。また、教室の開催にあたっては、参加人数を制限している。	○新型コロナウイルス感染症対策を十分に図りつつ、安心して市民がスポーツに取り組めるよう、各指定管理者と情報交換しながら、運動に親しむ機会の提供に努めていきます。	スポーツ振興課	
	29	保健教育の充実		⇒ 整理番号014 参照				健康教育課
	30	学校における食育推進事業	子どものすこやかな心と体を育て、健康的な生活習慣を身に付けるため、子どもを取り巻く関係機関・団体と連携し、食育などの実体験や実践活動を通じた学習の推進を図る また、食物アレルギーを有する児童生徒が、安心して給食を食べられるように、給食センターの整備や各学校での調理用具などの整備を行うとともに、学校職員の食物アレルギーに対する知識と理解を深めるための研修の充実を図る	○健康実態調査（小学生・中学生・高校生を対象）を実施。 ○各校における食に関する指導が推進するよう「食に関する指導推進研修会」を実施。 講師：文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 調査官 ○『健やかな体の育成プラン2017』（平成29年～33年）を実施。 ○保護者・市民・教職員対象の健康教育研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実施を見送ることとした。[R元年度：食習慣の講演98名参加]	▲ 【成果等】 ○食に関する指導推進研修会は、感染症対策を行いながら開催する方向ですすめている。 ○健康教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を見送ることとした。	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の研修会開催を中止しましたが、コロナ禍の中にあっても、食育の充実に向けた取組みは求められており、令和3年度開催に向け、内容の検討を図っていきます。	健康教育課	

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)③	31	児童生徒の ための体力・ 運動能力向 上推進事業	児童生徒が自己の体力の現状を把握し、運動に親しませる手だてを講じることによって、健康の保持増進と体力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症の拡大により、「子供の体力・運動能力向上のための指導者講習会」を実施することができなかったが、体力テストの実施方法、正しい計測方法等を書面にて周知した。</li> <li>○体力・運動能力調査は、各校の実情に応じて、取り組める範囲で実施。</li> <li>○アスリート活用事業（ハードル走教室、体操教室、バレーボール教室）を感染症対策を行って10月～12月に実施。</li> <li>○「児童生徒の体力向上や運動の日常化に向けた取組と分析」を実施した。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の拡大により、「パワーアップ仙台っ子ジュニア育成プログラム」という教師を対象とした運動遊びの研修会を実施しなかった。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の拡大により、小学校と地域が連携したスポーツイベントを実施しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施を見送った研修会や事業があった。</li> <li>○今後は、感染症対策を講じた研修の在り方を検討し、可能な範囲でアスリート活用事業や教師を対象とした運動遊びの研修会等を実施していく。</li> <li>○「パワーアップ仙台っ子通信」の発行</li> <li>○コロナ禍の中でもできる授業や運動遊びを紹介し、各学校の実情に応じて実践できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の研修会開催や事業を中止しましたが、コロナ禍の中にあっても、健康の保持増進と体力の向上に向けた取組みは求められており、令和3年度開催に向け、内容及び可能な実施方法の検討を図っていきます。</li> <li>○令和2年度に実施した「児童生徒の体力向上や運動の日常化に向けた取組と分析」について、校種別報告書を作成します。</li> </ul>	健康教育課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)④確かな学力の育成							
	1(1)④ 32	幼保小連携の推進		⇒ 整理番号001 参照			運営支援課, 学びの連携推進室
	1(1)④ 33	外国につながる子ども支援事業	外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの学習支援について、「外国につながる子どもサポートせんだい」「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」「外国人児童と家族のための小学校入学準備講座」等を行い、学校や地域、市民団体が協働して支援するための環境づくりを行う	言葉、文化、習慣等の違いにより困難を抱えている外国につながる子どもを支援するために、関係機関・団体等と連携して下記の事業を実施した。 ○「外国につながる子どもサポートせんだい」相談：46件、コーディネーター派遣：8件、教材貸出：5件、コーディネーターミーティング及び研修会の開催（オンライン）：10名参加、その他：コロナ禍による4～5月の学校休校期間中の学習のために「家庭学習の教材集」を作成しホームページに掲載、市教委を通じ市立小中学校に周知した。 ○「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」新型コロナウイルス感染症の影響により、ガイダンスは中止。代わりに、進路ガイドブックと説明動画をネット上で公開、個別相談対応を行った。 ○「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」夏休み中の外国につながる小中学生を対象に、宮城教育大学と協働し日本語を中心とする学習支援を行った。新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催とした。 日時：令和2年8月5日（水）、7日（金）の2日間、参加者：小中学生11名、支援協力者：12名 ○「日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室」外国につながる小中学生を対象に、宮城教育大学と協働しオンラインによる学習支援を行った。 第1回：令和2年11月10日（水）～令和3年1月12日（火）実施（全8回）、参加者：19名、支援協力者：48名 第2回：令和3年3月1日（月）～3月30日（火）実施（月・火・木全14回）、参加者：19名、支援協力者：28名 ○「外国人児童と家族のための小学校入学準備講座」新型コロナウイルス感染症の影響により、講座は中止。小学校入学を控えた子どもを持つ保護者等を対象に、小学校生活や準備物、子どもの学習に関する情報を多言語資料としてまとめ、ホームページに掲載した。また教育局、子供未来局を通じ、市内の小学校、保育園、幼稚園にチラシを配布し周知した。 期間：令和3年2月～3月、言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語 ○「外国につながる子ども支援ガイドブックの増刷」内容：「外国につながる児童生徒の受入れと指導の手引き」18頁（日本語）、「日本の小学校」14頁日本語併記（英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語）	【成果等】 ○「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」 ○「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」 ○「外国人児童と家族のための小学校入学準備講座」では、児童・生徒の安心・安全を最大限に考慮し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際に人が集まったの開催はしなかったが、代替となる事業をオンラインやホームページ上の情報提供等で実施した。 ○「外国につながる子どもサポートせんだい」の実施により、児童生徒等・保護者・学校現場への支援体制が、相談対応やコーディネーターの派遣により強化された。 ○「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス」や「外国人児童と家族のための小学校入学準備講座」の実施により、児童生徒の就学に関して必要な情報提供を行うと同時に個々の家族からの相談対応や通訳派遣を行うことができた。 ○「日本語を母語としない子どものための夏休み教室及びオンライン教室」の実施により、児童生徒に対して日本語学習および教科学習の支援を行うことができた。 ○市民団体等の関係機関・団体と協働して事業を実施することにより、外国につながる子どもへの支援を行う関係主体との連携を強化することができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」では、アンケート結果より、参加した子どもたちがとても喜んでいて、開催期間をもっと伸ばして欲しい、また開催されたら参加する、といった声が寄せられた。 ○「外国人児童と家族のための小学校入学準備講座」では、教育局、子供未来局を通じての市内小中学校、保育園、幼稚園への周知により、小学校入学説明会や幼稚園・保育園入園説明会への通訳派遣の依頼増加につながった。	○コロナ禍においても、外国につながる子どもに、必要な支援をどのように実施していくか、オンラインを中心に様々な方法を検討します。 ○教育委員会、教育センター等の関係機関との連携を深め、外国につながる子どもの支援体制を整えるとともに、日本語指導や教科指導など行う支援人材の発掘・育成に取り組んでいきます。	交流企画課
	1(1)④ 34	少人数学習推進事業	小中学校において、児童生徒一人ひとりの個性に合わせた、きめ細かな指導を行うため、非常勤講師の配置や加配教員の活用等により、少人数学習を推進する	○小学校1,2,3年（41校）に市費非常勤講師41人を配置した。[R元年度：44校 44名] 中学校1年（23校）に市費非常勤講師23人を配置した。【令和元年度：23校23人】	【成果等】 ○少人数指導が必要な学校に、非常勤講師を配置することができている。	○今後も、各校の状況の正確な把握に努め、非常勤講師配置校を適切に選定のうえ、継続して実施していきます。令和3年度は市費非常勤講師 小学校43人、中学校23人の配置を予定しております。 ○国の加配定数の活用等により、小学校3年で市独自に35人以下学級を実施しております。	教職員課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	1(1)④ 35	学校情報化 推進事業		⇒ 整理番号018 参照			教育指導課
	1(1)④ 36	外国語教育 の推進	A L T 教育アドバイザーを講師とした英語教育講座を開設し、ALT等教員の指導力向上につなげ、外国語での言語活動を通して、子どもたちに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む	○新型コロナウイルス感染症に鑑み、9月までは研修等を実施することができなかった。	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた研修もあったが、感染症対策を講じながら研修を実施し、実際の授業の様子を収めた動画をを用いるなどして指導力向上につなげることができた。	○新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、研修を実施していきます。	教育指導課
	1(1)④ 37	仙台自分づくり教育推進事業	児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むため、仙台版キャリア教育を推進する	○職場体験活動 コロナ禍や体験活動が制限される中、仙台自分づくり教育は一層重要性を増しその在り方が問われています。経済界や有識者等の意見をいただきながら職場体験活動の在り方について検討しています。 ※例年は市内全ての中学校（65校）で実施しているが、令和2年度はコロナ禍を踏まえ、多くの学校が職場体験活動を中止 ○自分づくり夢教室 校外での活動が制限される中、校内での実施可能な夢教室が果たす役割は大きいこと捉え、その指導法の工夫を図ってまいります。 ○「たくましく生きる力」育成プログラム たくましく生きる実践の充実に向け、参考資料を作成し内容の充実を図ることで多くの教員がよりよい授業に取り組めるよう支援していきます。 ○仙台子ども体験プラザ 体験学習の代替プログラムを提供し、各学校で児童生徒の社会的自立に向け活用できるようにしていきます。	▲  【成果等】 ○職場体験活動 仙台自分づくり教育アワードの表彰だけでなく全ての事業所に教育長からのメッセージを発信したことは、感謝を伝えるとともに今後の協力体制の継続を図る取組となった。 ○自分づくり夢教室 コロナ禍により校外での体験活動が制限される中、夢教室へのニーズが高まり95校で実施した。 ○「たくましく生きる力育成プログラム」 例年の授業研修会の実施はできなかったが、コロナ禍によりいかなる状況でもたくましく生きる力を育むための実践については検討していることには意義があり、学校現場に示唆を与えるものと期待できる。 ○仙台子ども体験プラザ 代替プログラムとなっても、生徒の進路選択や将来設計に役立つように活用が図られている。	○職場体験活動 実体験を通して、自己肯定感や自己有用感を高め、将来の夢や目標を持つことで、学ぶ意欲につながるよう、事業所との連携によって、活動を充実させていくことが望まれます。そのため、経済界や有識者等の意見をいただきながら職場体験活動の在り方について検討しています。 ○仙台自分づくり教育アワード 仙台自分づくり教育の目的・意義を広く市民と共有し、連携・協働体制づくりにつなげます。 ○自分づくり夢教室 児童が自分の将来に対して夢や目標を持つことができるよう、講師の方と一層の連携を図ります。 ○「たくましく生きる力」育成プログラム たくましく生きる実践の充実に向け、プラン集を改訂し内容の充実を図ることで多くの教員がよりよい授業に取り組めるよう支援していきます。 ○仙台子ども体験プラザ 新しい学校生活の様式に基づいて、児童生徒が体験活動を行うことができるよう活動内容の見直しと改善を図り、各学校で児童生徒の社会的自立に向け活用できるようにしていきます。	学びの連携推進室
	1(1)④ 38	小1生活・学習サポーター事業	新入学児童が安心して集団生活を営み、落ち着いた取り組み環境をつくるため、小学校1年生のクラスに「小1生活・学習サポーター」を配置し、担任が生活指導、学習指導、給食指導などを実施する上での補助的な役割を果たす	○小学校入学期（1年生6～9月）の学級担任の指導を補助する本サポーターは、105校で約1,200名が活動した。（新型コロナウイルス感染症のため、事業の中止や実施期間の短縮、サポーター辞退などの学校もあった）	○  【成果等】 ○コロナ禍の中、サポーターの活動の制限があったが、感染症対策をしっかりとっていただき、サポートいただいた。令和2年度も複数の大人の目で見守る事ができ、担任も安心して全体指導を行うことができています。  ○  【事業に対する客観的意見・評価】 ○学校支援地域本部が、サポーターのコーディネートをしている学校では、サポーターの活動についても、情報交換やアドバイス等、活動の充実や新たな学校支援ボランティア活動の充実につながっている。	○コロナ禍の中、感染予防に努めながら、各校の児童の実態に応じた指導補助が行われています。確実に学校の助けとなっており、学校が必要としている事業になっています。 ○入学期だけでなく、その後の学校行事などでもサポーターが協力するなど、本事業をきっかけとして学校支援ボランティアとして活動に参加するケースも増えています。地域・保護者の学校理解や、学校と地域との連携を進める取組としていきます。	学びの連携推進室

## 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(1)④	39	院内学級学習環境整備	病気療養児の教育がより適切に行われるよう、教育環境の整備に努め、一人ひとりの子どもの病気の状態に合わせ、主治医の認める範囲で適正な教育課程を編成し、実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4つの病院に6校（小学校3校,中学校3校）の院内学級を設置し、入院している児童生徒の状態に応じた教育を実践した。</li> <li>○例年実施している院内学級合同の校外学習は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施しなかった。</li> </ul>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各院内学級において、病院との連携を図りながら、児童生徒一人一人に応じた教育を実践したことにより、病気療養のために入院中であっても、対象児童生徒に適切な教育を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○院内学級の設置により、病気療養のために入院している児童生徒に対しても、適切な教育を保證するよう努めます。</li> <li>○学校と病院との連絡会や学校と教育委員会との連絡協議会を行うなど、相互の連携をさらに深めながら、事業を継続していきます。</li> </ul>	特別支援教育課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1.子どものすこやかな成長を支える取り組みの充実, 子どもの安全・安心の確保							
(2) 子どもの可能性が広がる体験と活動の場, 遊びの環境の充実							
1(2)①社会体験, 自然体験など多様な体験・学習機会の充実							
1(2)①	40	どこでもパスポート事業	仙台市及び周辺の市町村の小中学生を対象として, 公立の社会教育施設等を相互に無料で開放することにより, 子どもたちの学びの機会の創出を図る	○約19,200冊配布 ○利用者数は約34,500人(延べ人数)	○  【成果等】 ○年度当初に小学校1年生を対象に配布している。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に閉館した施設があり, 令和元年度と比較し利用者数は落ち込んでいる。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○そうした中においても, 社会教育施設等で学習・体験活動を促し, 小中学生の社会教育推進の一助となるものと認識している。	○引き続き本制度の周知を図りながら, 小中学生の社会教育推進の一助となるよう, 事業を推進していきます。	政策調整課
1(2)①	41	夏のボランティア体験学習会(仙台市ボランティアセンター事業)	中学生以上を対象とし, 学校, 地域の連携と社会福祉施設やNPO等の受け入れ協力を得て, 夏休み期間中の3~5日間で活動体験を行い, 体験を通してボランティア・市民活動への理解と参加のきっかけづくりを行うとともに, 子どもが自ら学び, 行動する力, 他人を思いやる豊かな心を育む	○新型コロナウイルス感染症が拡大したため, 夏のボランティア体験学習会は中止した(4月20日に中止の連絡)。 ○ボランティア活動希望者については, 夏のボランティア体験学習会の冊子を参考に個別にコーディネートすることを学校や受入れ施設等に周知した。 ○夏休み中のボランティア活動について, 学校や個人から7件の相談を受け, 受け入れをしている野外活動団体に5名のボランティア体験を調整した。	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症が拡大したため, 4月20日に中止の連絡を行った。中止の連絡を早期に行ったことで混乱は起きなかった。ボランティア体験活動希望者については, 夏のボランティア体験学習会の冊子を参考に個別にコーディネートすることを学校や受入れ施設等に周知した。 ○夏休み中のボランティア活動について, 学校や個人から7件の相談を受け, 受け入れをしている野外活動団体に5名のボランティア体験を調整した。体験希望先として児童施設や高齢者施設があげられたものの, 施設自体が受け入れを中止しており, 7名中2名の調整が出来なかった。	○令和3年度の開催に向けて, 2月にボランティア受け入れ団体を対象に情報交換会を実施, コロナ禍においてもボランティア活動を推進していくために, 活動の形や受け入れ方についての情報収集の場としました。 ○新型コロナウイルス感染症対策をとりながら, ボランティアを受け入れる体制づくりをしていただき, 可能な施設や団体等で, 体験を進めています。	社会課
1(2)①	42	乳幼児とふれあう機会の充実		⇒ 整理番号013 参照			運営支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(2)①	43	環境教育・学習推進事業	幼児や小中学生を対象に環境に関する出前授業やせんだい環境学習館でのサロン講座等を通して、環境問題への理解と関心を高め、環境に配慮できる人づくりを進めることにより、持続可能な社会を築いていくことを目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○せんだい環境学習館（たまきさんサロン）の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン講座 13回 [24回]</li> <li>・子どもへの環境学習の場の提供</li> </ul> </li> <li>○その他の環境教育・学習推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもエコクラブ：8クラブ [8クラブ]</li> <li>・環境出前講座ネットワーク：38件 [63件]</li> <li>・杜々かんきょうレスキュー隊事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習プログラム数：26 [26]</li> <li>環境学習プログラム体験：25件 [84件]</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○環境ウェブサイト「たまきさん」での環境学習に関する情報の発信</li> <li>・環境学習動画：7本</li> </ul> <p>※〔〕内はR元年度実績</p>	▲	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症により、せんだい環境学習館（たまきさんサロン）は令和2年3月5日から臨時休館していたが、令和2年6月より再開し、サロン講座も7月末より再開した。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症により、出前講座ネットワーク、杜々かんきょうレスキュー隊事業とも募集を停止していたが、出前講座ネットワークは令和2年7月21日より、杜々かんきょうレスキュー隊事業は令和2年8月1日より募集を再開した。</li> <li>○既存の環境学習プログラムをベースに環境学習動画を作成・配信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「せんだい環境学習館」の運営においては、感染症対策のため講座参加人数の制限や、密を避けた内容に配慮しながら、引き続き環境教育・学習の拠点施設として取り組みを進めていきます。</li> <li>○環境団体等による環境学習プログラムは、子どもたちにとって貴重な体験活動の機会になっているため、今後も感染症対策を実施の上学校等へ情報提供を行い、環境教育・学習の場の提供を続けていきます。</li> <li>○今後も環境学習に関し、ブログの更新や環境学習動画の配信等により効果的な情報発信を行っていきます。</li> </ul>	環境共生課
	44	仙台市学童農園事業	仙台市内の児童生徒等に農業の体験の場を設けるために、児童生徒が年間を通して栽培作業を実施する農地を管理する農業者に対して入園料を支払う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学童農園実施数実績（入園料支払い覚書締結数）62農園（55校） 〈令和2年度内訳〉 小学校29、中学校1、幼稚園16、保育園9</li> <li>・畑作33農園（小学校13、中学校0、幼稚園13、保育園7）</li> <li>・稲作29農園（小学校23、中学校1、幼稚園3、保育園2）</li> </ul> <p>※うち7小学校で畑作、稲作の両方を実施</p> <p>〔R元年度学童農園実施 78農園〕</p>	▲	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度は前年度調査では77農園の実施希望であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施を中止したところが一定数あった。事業を実施したところも、予定していた行程の内容を一部変更したりしながら取り組んだところが多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本事業は屋外での活動が中心であり、一定の感染症対策の下で実施は可能と考えています。令和3年度の事業実施は66農園を予定しています。今後とも児童生徒の農業体験を支援する本事業を継続していきます。</li> </ul>	農政企画課
	45	子どもの自然体験学習事業	子どもたちの郷土の緑に対する理解や関心を深めるため、小中学生対象の自然体験学習を市有林、公園などで企画・実施し、植栽、間伐などの作業体験やゲーム等を通し、森とふれあう機会を創出することにより、森林等の豊かな自然環境等を活用した自然体験など、多様な体験活動機会の積極的な提供を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○柞江小学校および幸町南小学校において下記のとおり実施した。</li> <li>・柞江小学校：令和2年11月27日 5年生児童27名および教諭2名</li> <li>・幸町南小学校：令和3年2月19日 5年生児童46名および教諭2名</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施後、とても有意義な内容だった旨の連絡などを両校の児童や先生からいただいたことから、計画通りの成果を挙げる事ができたと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校等との協議や調整のうえ、令和3年11月から令和4年1月までの間に実施する予定です。</li> </ul>	百年の杜推進課
1(2)①	46	杜の都のエコ・スクール活動	職員及び児童生徒一人ひとりが環境問題について理解し、環境への負荷が少なく地球環境にやさしい学校生活について、主体的に考え実践することができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒が、主体的に環境保全に取り組む意識や態度を育てることをねらいとして、「杜の都のエコ・スクール活動」に全市立小・中学校、中等教育学校で取り組んだ。</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「杜の都のエコ・スクール活動」については、新型コロナウイルス感染症拡大による全市立小・中学校臨時休業のため、学校再開後の6月から実施した。</li> <li>○各学校が地域との関わりを大切にしなが環境に関する様々な取組を行い、児童生徒が環境保全に向けて主体的に活動しようとする意識を高められるように努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や地域の実態を踏まえた環境保全につながる取組を実施していきます。また、様々な取組を多くの人と共有したり、学校間で共有したりしながら、環境に関わる課題や持続可能な社会について理解を深め、主体的に考え、行動する資質・能力の育成に努めます。</li> <li>○各学校の取組を活動報告書としてまとめ、仙台市教育委員会ホームページに掲載し、市民に各学校の取組を紹介していきます。</li> </ul>	教育指導課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(2)①	47	仙台自分づくり教育推進事業		⇒ 整理番号037 参照			学びの連携推進室
1(2)①	48	子ども読書活動推進		⇒ 整理番号020 参照			生涯学習課
1(2)①	49	土曜日の教育支援体制等構築事業	学校区単位で、地域の多様な経験や技能を持つ人材・団体の協力を得て、土曜日等に地域の子どもを対象とした学習支援や体験活動等の教育活動を企画・実施する	○3校区で事業実施〔R元年度:4校区〕 ・年間利用者数:331人【R元年度:2,116人】	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年度当初は全ての活動を休止したが、学校の再開に併せて、感染症対策を講じながら、全4校中3校で徐々に活動を再開することができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○参加者数は感染拡大の影響により減少したが、コーディネーターを中心に様々な世代のボランティアスタッフが関わりながら、地域の特色を生かした活動を継続して展開することができた。	○活動場所での新型コロナウイルス感染症対策の徹底や、三密回避の観点から活動内容の検討を行うなど、事業運営の取り組みをサポートしていきます。 ○事業実施校区でより取り組みやすい枠組みを提供できるよう、工夫を重ねていく予定です。	生涯学習課
1(2)①	50	学校図書室等開放事業	核家族や共働き家庭の増加等によって必要性が高まっている子どもの居場所づくりの一環として、市立小学校の図書室等を週末に開放し読書の機会を提供するとともに、子どもの居場所を拡大し、地域の生涯学習の場としての活用を図る	○22校で事業実施〔令和元年度:20校〕 ・年間利用者数:4,475人【令和元年度:8,923人】	○  【成果等】 ○利用者数は感染拡大の影響により減少したが、新たに2校が新規開設校となり、地域住民に向けた読書の機会を提供や事業を通して子どもの居場所づくり・地域の生涯学習の場として、学校施設の有意義な活用を図ることができた。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年度当初は全ての活動を休止したが、学校の再開に併せ感染防止策を取りながら徐々に活動を再開することができた。 ○図書室を開放するだけでなく、各校で工夫を凝らした読み聞かせの実施や季節の行事の開催等を行った。	○活動場所での新型コロナウイルス感染症対策の徹底や、三密回避の観点から活動内容の検討など、事業運営の取り組みをサポートしていきます。 ○管理指導員向けの研修会を開き、情報共有や事業手法の学習を通して、管理指導員のスキルアップを図っていく予定です。	生涯学習課
1(2)①	51	図書館における子ども読書活動推進事業		⇒ 整理番号021 参照			市民図書館
1(2)①	52	青少年健全育成事業	青少年がさまざまな体験を通じて学ぶ力を身に付けることによって、心身のすこやかな成長を培い、仲間づくりや親子・異世代の交流を図ることをねらいとする事業を実施する	○各市民センターにおいて、青少年の健全育成のための体験・交流等の機会を提供する各種講座を開催。	○  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ、青少年の健全育成のための体験・交流等の機会を提供することができた。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつつ、今後も、各市民センターにおいて継続して事業を実施します。	生涯学習支援センター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	1(2)①	53	ジュニアリーダー育成支援 市民センターを拠点としてボランティア活動をしている中学生・高校生のジュニアリーダーを育成し、活動等の支援を行う	○ジュニアリーダー活動状況 登録者数 382人(令和3.3.31現在) ○ジュニアリーダー各種研修会 上級研修会 19人受講 中級研修会 31人受講 初級研修会 141人受講 実践研修会 中止	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、年度前半はサークル活動の中断が続いたほか、地域の各種活動も大幅に縮小されたことにより、要請を受けての活動機会が減少した。また、一部研修については中止を余儀なくされた。 ○上級及び中級研修会は、コロナ禍でも実践できるゲームや子ども会行事の進行方法など、協力を要請される現場で必要となるスキルの習得・向上、さらに、具体的な場面を考えながら行動する力の育成につながった。	○サークルの行事や打合せなどをオンラインで実施するなど、様々な工夫により新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつつ、研修や自主活動等を継続していきます。	生涯学習支援センター
1(2)②遊びの環境の充実							
	1(2)②	54	子どもの遊びの環境に関する調査・研究 子どもの遊び場に関する具体的なニーズや都市公園をはじめとした本市の都市資源の状況と活用策など、本市における子どもの遊びの環境の充実に向けた調査・研究を行う	○本市における子どもの遊びの環境に関する調査・研究として、子育て家庭へのアンケート、子育て支援団体・高校生などへのグループインタビュー、市内の遊びの環境の概念図への整理等を行い、令和3年3月に報告書ととりまとめた。	○ 【成果等】 ○本市における遊びの環境に関する調査・研究を行い、その実態等を予定通り令和2年度内に報告書としてとりまとめた。	○令和2年度の調査・研究を踏まえ、都市公園等において遊び場に関する実証実験などを行います。	子供未来局総務課 (子育て応援プロジェクト推進担当)
	1(2)②	55	児童館事業の充実 健全な遊びを通して子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした施設として、児童クラブの開設や自由来館児童の受入のほか、地域に根差した子育て支援施設として、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークル等の育成等により、子育て家庭への支援の充実を図る 児童館運営委員会等を通じて、児童館の運営や活動状況等について地域住民や地域の関係団体への周知を推進し、地域関係者との連携・協力関係を築く	○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年5月までは、放課後児童健全育成事業に限定して事業を実施した。令和2年6月からは、放課後児童健全育成事業に加え平日の午前に限り乳幼児親子向けの事業を実施した。令和2年10月からは、土曜日に関し小中高生を対象とした自由来館を再開した。 令和3年3月26日からは、宮城県・仙台市緊急事態宣言発出に伴い、年度当初同様、放課後児童健全育成事業に限定して事業を実施した。 児童館利用者数 1,666,162人/年【R元年度：2,428,181人】	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、児童クラブの開設や、乳幼児親子の受入れを通して、子育て家庭への支援の充実を図っている。	○新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら現在の取り組みを進めつつ、感染拡大の状況も見極めながら、限定的に行っている乳幼児親子向けの事業や小学生以上の自由来館の受入れの実施についても検討を行っていきます。	児童クラブ事業推進課
	1(2)②	56	協働によるプレーパークの運営 子どもが自分の責任で自由に遊ぶことを通じて、自らの創造性や主体性を向上させる場を専門性を持った団体等との協働により運営する	○海岸公園冒険広場においては、令和2年度末時点で73件の団体利用も含め、推定16万4千人の来園者があり、市民に親しまれている。 ○西公園においては新型コロナウイルス感染症の影響による休校中を除き、毎週活動を続け、子どもが自由に遊べる環境を提供した。	○ 【事業に対する客観的意見・評価】 ○海岸公園冒険広場及び西公園等の市内複数の公園において、様々な団体と協働でプレーパーク等の自らの創造性や主体性を向上させるあそび場を提供している。新型コロナウイルス感染症に伴い、屋外のあそび場の需要が高まる中、感染症対策を取りながら、できる活動を工夫して行った。	○海岸公園冒険広場及び西公園等を中心に、様々な団体と協働によるプレーパーク等の自らの創造性や主体性を向上させるあそび場の提供や、地域と連携した企画等の充実に取り組んでまいります。	建設局公園課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	1(2)②	57	都市公園整備事業 「仙台市みどりの基本計画」に基づき、公園や緑地の計画的な整備により、子どもの身近な遊び場や市民の憩いの場を創出し、都市環境や生活環境の向上を目指す	○令和2年度整備公園数 ・都市公園数:1,815箇所【1,805箇所】 ・市民1人あたり公園面積:15.51㎡(進捗率91.2%) 【15.54㎡ (進捗率91.4%)】 ※【】内は令和2年4月1日現在	△ 【成果等】 ○「仙台市みどりの基本計画」にある目標（市民一人あたりの都市公園面積17㎡）は達成できなかったが、令和2年度4月以降新たに11公園を整備した（1公園廃止）。	○引き続き、新規公園整備のほか、関係機関との調整を進め未公告公園の一部を開園するなど、公園整備事業を進め、子どもの身近な遊び場や市民の憩いの場の創出に努めます。	建設局公園課
1(2)③スポーツ・文化に親しむ環境づくり							
	1(2)③	58	マイタウンスポーツ活動推進 子どもから高齢者まで、年齢を問わずスポーツにふれることができるよう、地域スポーツ活動の活性化に向けた支援に取り組む	○マイタウンスポーツデー（スポーツの日イベント）の実施 延べ参加者数 7,162人【R元年度:16,692人】 ○地域スポーツイベント助成 9件交付【R元年度:40件】	▲ 【成果等】 ○マイタウンスポーツデーでのスポーツ施設の無料開放では、人数制限やイベントの自粛もあり、参加者は限定的となった。	○施設の無料開放や各種イベントなど浸透してきておりますが、イベントによっては、参加者が減少もしくは横ばいといった施設もあるため、より多くの方に参加いただけるよう関係者と協議を進めていきます。 ○ニュースポーツが学区民体育振興会のイベントを通して徐々に普及してきており、今後も普及・推進のために助成を継続していきます。	スポーツ振興課
	1(2)③	59	仙台ジュニアオーケストラの運営 小学5年生から高校2年生までの児童生徒が団員として所属するジュニアオーケストラにおいて、春と秋に実施する演奏会開催を中心とした活動を行い、本市における音楽文化の振興に寄与するとともに、音楽活動を通じ、青少年の健全育成を図る	○仙台ジュニアオーケストラメンバーによる室内楽演奏会 ・開催日：令和2年10月25日（日） ・会場：仙台銀行ホールイズミティ21	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、オーケストラ編成ではなく、室内楽形式、収容率50%として開催した。	○新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、10月の定期演奏会、3月のスプリングコンサート開催に向けて準備を進めていきます。	文化振興課
	1(2)③	60	仙台フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート 未就学児童及びその家族のためのコンサートや、小学5年生と中学1年生を対象としたオーケストラ鑑賞会を実施し、子どもがオーケストラにふれあえる機会を提供する	○オーケストラと遊んじゃおう（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・令和2年4月5日（日） ○青少年のためのオーケストラ鑑賞会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・令和2年6月30日（火）～7月3日（金） ・令和2年8月26日（水）～8月28日（金） ○学校訪問ミニコンサート ・令和2年11月17日（火）～11月20日（金） ・令和2年11月24日（火）～11月27日（金） 鑑賞校：市立小学校16校 鑑賞人数：1,235人	▲ 【成果等】 ○「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」の代替事業として、仙台フィルハーモニー管弦楽団数名が学校へ訪問し、小学第5年生を対象とした「学校訪問ミニコンサート」を開催した。	○令和2年度に引きつづき、「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことから、代替事業の「学校訪問ミニコンサート」開催に向けて準備を進めていきます。	文化振興課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(2)③	61	仙台クラシックフェスティバル開催	クラシック音楽の名曲を低料金・短時間で提供し、クラシック音楽の聴衆の拡大と音楽文化の振興を図るとともに、「楽都仙台」を国内外にアピールする 0歳以上または3歳以上が入場可能な公演を多く開催し、多くの子どもたちがクラシック音楽にふれる機会の提供に努める	○令和2年度の仙台クラシックフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止とした。 ○「クラシックエール仙台～音楽はきっと、チカラをくれる。～」 ・開催期間：令和2年10月3日（土）～10月4日（日） ・会場：日立システムズホール仙台（青年文化センター） ・公演数：有料公演15公演（うち9公演が3歳以上入場可） ・延べ来場者数：約3,430名	▲  【成果等】 ○仙台クラシックフェスティバルに替わり、新しい生活様式に対応したクラシック音楽イベント「クラシックエール仙台～音楽はきっと、チカラをくれる。～」を開催した。	○新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、令和3年度の仙台クラシックフェスティバル開催に向けて準備を進めています。	文化振興課
	62	仙台文学館における展示・講座等の実施	子どもが文学に親しみ、さらに理解を深めることができるように、仙台文学館に絵本や児童書を自由に読める「絵本の部屋」を常設する また、夏休み期間には、企画展示室で「こども文学館えほんのひろば」の展示を実施し、児童書の展示や読み聞かせ等の多彩な事業を行う	○新型コロナウイルス感染症の影響による休館に伴い「絵本の部屋」を4月11日から閉室し、7月21日から情報コーナーに冊数を限って絵本や児童書を設置している ○「こども文学館えほんのひろば」を中止 ○「夏企画 背守り 小パネル展」 ・開催期間：令和2年7月18日（土）～8月30日（日） ・観覧者数：391人 ○「夏企画 疫病退散！みんなで作ろう妖怪絵巻」 ・開催期間：令和2年8月8日（土）～8月30日（日） ・応募作品数：157点 ・観覧者数：2,701人	▲  【成果等】 ○閉室中の「絵本の部屋」の代わりに情報コーナーに設置した絵本・児童書の利用が概ね順調であった。 ○「こども文学館えほんのひろば」の中止後、新型コロナウイルス感染症対策を講じた親子で楽しめる夏企画を開催し、好評を得た。  【事業に対する客観的意見・評価】 新たな夏企画について、市民から企画を評価するハガキや電話をいただき、新聞・テレビでも紹介された。	○子どもが文学に親しみことができるよう、「絵本の部屋」の利用方法について検討を進めながら、事業について随時内容の見直しを行ってまいります。	文化振興課
	63	校庭・体育館の自由活動開放事業	地域における児童生徒のスポーツ振興や、家族や共働き家庭の増加等によって必要性が高まっている子どもの居場所づくりの一環として、土曜日の午前中に、児童及び生徒の自由な活動の場としての利用に供するため、市立小中学校、特別支援学校のうち、希望校にて、校庭及び体育館を開放する	○小学校8校で実施【R元年度：小学校34校】 開放回数：54回【R元年度：405回】 利用者数：延1,500人【R元年度：延7,759人】 ※ 委託契約実績は30校であったが、感染拡大防止のため、8校の実績となった。	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年度当初より全ての活動を休止していた。再開について、8月にアンケートを実施。アンケート結果から再開を希望する声があることから、9月初旬より再開可能とした。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○開放回数、参加者数は感染拡大の影響により減少したが、地域における児童・生徒のスポーツ振興や子どもの居場所づくりという目的に対し、一定の成果をあげることができた。	○自由活動開放の実施については、各小学校の判断となります。事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症防止策を十分講じてもらうように、管理指導員や学校への啓発を図っていきます。 ○市立小・中学校、特別支援学校の希望校において実施していますが、開放回数や利用者数が減少傾向にあることから、事業の趣旨等について、各校の理解・協力を得られるよう努めています。	生涯学習課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(2)④子ども・若者の居場所づくり, 活動の場の充実							
1(2)④	64	中高生の居場所づくり・自主活動支援事業	児童館において, 中高生がより参加しやすい行事の企画や施設の利用促進に努めるほか, のびすく泉中央4階プラザ等において, 放課後や学校休業日における家庭や学校以外の居場所の提供を行うとともに, 自主活動を通じて, コミュニケーション能力や人的ネットワーク等, 主体的な社会参加のために必要な資質を養う場を提供する	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 臨時休館した期間(令和2年4月1日から5月31日及び令和3年3月26日から3月31日)があったほか, 開館時には, 人数制限を設けたため, 例年よりも利用者数減となった。</p> <p>○利用者数(中高生): 5,590名 [R元年度: 17,369名]</p> <p>■ 子供未来局児童クラブ事業推進課</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 令和2年9月末まで中高生を対象とした自由来館を休止した。10月からは, 土曜日に限り小中高生を対象とした自由来館を再開した。</p> <p>令和3年3月26日からは, 宮城県・仙台市緊急事態宣言発出に伴い, 年度当初同様, 放課後児童健全育成事業に限定して事業を実施した。</p>	<p>▲</p> <p>■ 子供未来局総務課</p> <p>【成果等】</p> <p>○利用者自らがイベントや事業の運営に携わる等, 主体的な活動を通じて, 自主性, 協調性等を学ぶことができる場を提供することができた。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○臨時休館後, 開館を再開した際には, 来館した中高生から開館を待ち望んでいた声もいただいております。また, 利用者アンケートでは, 利用を通じて「新しい人との出会いを通じて視野が広がった」「人と話すことが楽しくなった」等の声をいただきました。</p> <p>■ 子供未来局児童クラブ事業推進課</p> <p>【成果等】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策を図るため, 限定的な受け入れとなった。</p> <p>○主体的な活動や多世代との交流を通して, 学校とは異なる社会的な役割を経験し, 新たな自分発見や地域の一員としての社会参加を図るきっかけとなった。</p>	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○今後も中高生の居場所としての役割を果たすとともに, 主体的な社会参加のために必要な資質を養う場としての役割を果たしていきます。</p> <p>■ 子供未来局児童クラブ事業推進課</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら, 中高生の児童館の利用促進とともに自主的な活動を支援する取組み等を継続して行い, 取組みを通して社会参加に必要な資質を養う場を提供していきます。</p>	子供未来局総務課, 児童クラブ事業推進課
1(2)④	65	子どもの居場所づくり支援事業	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会と連携し, 子ども食堂への経費助成を行うほか, 運営団体相互のネットワーク化等に取り組むことで, 地域における子どもの居場所づくりを推進する	<p>○助成団体</p> <p>・子ども食堂助成金 37団体</p> <p>・子ども食堂新型コロナウイルス感染症対策助成金 11団体</p>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により, 従来の会食形式での開催が難しくなった団体もあったが, 配食・宅食および感染防止のために必要となる経費の助成を追加で行うことで, 子どもに対する見守りの継続を図ることができた。</p>	<p>○引き続き, 配食や宅食も対象として子ども食堂助成金の交付決定・受付を行ってまいります。</p>	子供家庭支援課
1(2)④	66	児童館特別支援コーディネーター養成事業	児童一人ひとりの特性を踏まえ, 丁寧な支援や, 保護者・関係機関等との協力・連携を適切に行うための研修を実施し, 児童館内でキーパーソンとなる人材の育成を図る	<p>○研修を5日間14講座実施し, 26名が修了した。</p>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <p>○約3/4の児童館の職員が児童館特別支援コーディネーター養成研修を修了し, コーディネーターとしてスキルアップが図られた。</p>	<p>○児童館特別支援コーディネーターの全児童館への配置を目指し, 感染症対策を講じながら計画的に養成研修を実施します。</p>	児童クラブ事業推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(2)④	67	放課後児童支援員等の人材確保・処遇改善	新卒者に加え、保育士等の資格を持ちながら育児等の事情により勤務していない潜在的な有資格者の採用につなげるため、市主催の合同就職説明会の活用等を通じて求人支援を行うなど、人材確保に資する取り組みを推進する放課後児童支援員の確保・定着、キャリアアップを促進するため、経験年数や研修受講状況に応じて処遇改善を図る	<p>○メール配信サービスによる児童館職員の求人情報の発信（1回）と、特別支援教育指導補助員等への求人情報の周知を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により合同企業説明会の参加を見送った。</p> <p>○各管理運営団体（12団体）が放課後児童支援員に対し実施した処遇改善の実績に応じて下記を上限に経費を補助。</p> <p>①経験年数が5年未満：129,000円/人・年 ②経験年数5年以上：258,000円/人・年 ③経験年数10年以上・館長職員388,000円/人・年（②・③は・本市主催の研修を受講していること）</p> <p>【R元年度： ①：128,000円/人・年 ②：256,000円/人・年 ③：384,000円/人・年】</p>	○	<p>【成果等】</p> <p>○電子メールの配信や、特別支援教育指導補助員への児童館職員の募集を行うことで、潜在的な有資格者への児童館職員募集の情報提供ができた。</p>	<p>○メール配信サービスによる児童館職員の求人情報の発信と、特別支援教育指導補助員等への求人情報の周知を行います。</p> <p>○引き続き、各管理運営団体が放課後児童支援員に対し実施した処遇改善の実績に応じた経費の補助を行います。</p>	児童クラブ事業推進課
	68	児童館地域子育て支援事業	乳幼児親子の交流の場の提供や交流の促進、親子を対象とした行事の企画・開催、子育て相談の実施、幼児クラブの開設、子育てサークル等の育成など、地域の子育て家庭の支援について、事業の充実を図る	<p>○令和2年4月から児童館10館に「児童館地域子育て支援室」として、乳幼児親子が過ごせる専用の部屋を整備し、子育てに関する相談を受け付ける専用職員を新たに配置した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童クラブ受け入れ時間帯の3密状態を避ける目的で、令和2年5月までは乳幼児親子の受け入れを休止していたが、小学校の再開に伴い令和2年6月から平日午前に限り受け入れを再開した。また、令和2年10月からは、子育て支援室がある10館において土曜日の受け入れも再開した。</p> <p>乳幼児親子利用者数 210,680人【令和元年度：432,621人】</p>	▲	<p>【成果等】</p> <p>○児童クラブ受け入れ時間帯の3密状態を避けるために受け入れを休止することになった期間もがあったが、時間帯や受け入れ人数をを限定的した受け入れを実施するなど、コロナ禍においても感染拡大防止に努めながら、出来る限り乳幼児親子等の子育て支援を行うことが出来た。</p>	○感染拡大の状況を見極めながら、受け入れ時間帯の拡大や行事の開催等について検討を行い、事業の充実を図ります。	児童クラブ事業推進課
	69	放課後児童健全育成事業の推進	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後等の遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図る児童クラブが行う育成支援については、利用者や地域住民、地域の関係団体の理解を深めるため、運営委員会や保護者説明会等を通じて、取り組み内容等の周知を推進するまた、児童館児童クラブ事業については、ニーズに対応するため、平日は、引き続き19時15分まで延長して実施する	<p>○公設民営分については、207箇所において放課後児童クラブを実施し、13,185人の受け入れを行った（令和2年5月1日時点）。【R元年度：200箇所・12,422人】</p> <p>○放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者33団体に対して補助金を交付した。【R元年度：29団体】</p>	○	<p>【成果等】</p> <p>○公設民営分については、対前年同月比で763人増の児童を受け入れることができた。（5月1日時点）</p>	○引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を講じながら、放課後等の居場所が必要な児童を確実に受け入れ、安全安心な遊びや生活の場を提供していきます。	児童クラブ事業推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(2)④	70	放課後子ども総合プラン推進事業	国の「新・放課後子ども総合プラン」に沿い、放課後等の子どもたちの安全な居場所の確保・充実を図るため、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を推進する 実施にあたっては、教育委員会との緊密な連携のもと、双方の事業者が互いの活動プログラムの情報共有や他方の事業への参加・協力、共同行事の企画・運営等に連携して取り組む また、活動場所として小学校教室等の積極的活用にも努めるなど、教育委員会との定期的な情報交換等を行いながら取り組む 上記方針のもと、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を一体的に実施している既存の4か所について引き続き事業の充実を図るとともに、その他の箇所についても両事業の連携を推進する	○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、仙台市放課後子ども総合プラン運営委員会の開催回数を縮小し、1回実施した。【R元年度：3回】	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年より開催回数は少ないが、コロナ禍というこれまでにない状況の中で各々の取組みを情報共有することができた。	○新型コロナウイルス感染症予防に考慮し、コロナ禍における状況についての情報共有を継続し、感染症予防を踏まえた連携の方法や事業の取組みについて検討します。 ○新たな本市実施方針を踏まえ、現在抱えている課題をもとに審議テーマを定め、現地調査や事業者ヒアリング等を通じて好事例を探ります。 ○好事例について他の事業者にも共有することで、本市全体の事業充実を図ります。	児童クラブ事業推進課
	71	児童館事業の充実		⇒ 整理番号055 参照			児童クラブ事業推進課
	72	児童館整備事業	児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業と、乳幼児親子の交流の場としての子育て支援活動の地域拠点となる児童館を、小学校区単位を基本として整備を進める また、開設から相当期間を経過した児童館については計画的に大規模改修工事を行い、施設環境改善を図る	○児童館3館について改築設計を進めた。また、令和2年度に新たに3館の大規模改修工事に着手し、環境改善を図った【R元年度3館】。	○  【成果等】 ○改築工事を進めるとともに計画的に大規模改修工事を行い、環境改善を図れている。	○引き続き、仙台市公共施設総合マネジメントプランに基づき、計画的に大規模改修工事を行い、施設環境改善を図ります。	児童クラブ事業推進課
1(2)④	73	児童館等要支援児受け入れ事業	放課後児童健全育成事業の実施にあたり、障害等により支援を必要とする児童（要支援児）に適切に対応するため、職員体制の充実とスキルアップ、巡回指導の強化など事業の充実を図り、要支援児に対してより細かな配慮を行える体制づくりを進め、すべての利用児童の健全育成を促進する	○有識者による児童館の巡回指導を54館55回【R元年度：51館55回】実施した。 ○支援検討会議において、支援の必要度が高いと判断された児童について、有識者からの助言を得た。 ○児童館職員を対象とした研修については、実施を見合わせた。	▲  【成果等】 ○巡回指導等を通じ、児童館職員の要支援児に関する知識や具体的な対応方法等の習得につながった。 ○児童館職員を対象とした研修については、実施を見合わせた。	○要支援児数が多い児童館を中心に巡回指導を実施し、要支援児の適切な児童クラブ利用につなげます。 ○研修について、感染症対策という観点から実施の方法等を見直したうえで、児童館における要支援児への対応・支援に資する研修等を実施します。	児童クラブ事業推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(2)④	74	困難を抱えた青少年の居場所づくり	様々な困難を抱える青少年へ対応できる居場所の拡充強化と、支援内容の充実を図る	○居場所の拡充に向けて、他都市の状況と比較したり、居場所のニーズについて把握したりしながら、市内にいる不登校・ひきこもり傾向の青少年をより多く支援するための方策を検討した。 ○市内NPOと連携し、市民提案型協働事業「ふれ広サテライト」事業を行ったことで、潜在的にひきこもり傾向にある青少年を多く発掘し、ふれあい広場本体に加え、サテライト3か所を設けて、支援に繋げることができた。また、居場所以外にも、アウトリーチや就学・就労支援の充実が、困難を抱える青少年の社会的自立に必要な支援内容であると認識できたため相談員による訪問を継続してきた。	○【成果等】 ○NPOと合同の受理会議を月一回のペースで行うことで、支援が必要な青少年を見立て、より多くの支援策を練りながら、また、学齢児については学校と情報共有をしながら、本人に対し将来も切れ目なく支援していくための方策を練った。  ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○市民提案型協働事業の審議員からは、「ふれ広サテライト事業」の市事業化を求める声が多く挙がっている。	○居場所事業の更なる周知を図るために、各関係機関に向けてリーフレットを配布するなど広報・啓発を図っていきます。 ○受理会議や月一回の定例会を実施する中で、実態に応じた支援や合同研修会などスキルアップにつながる取組を実施します。	子供相談支援センター
	75	学校図書室等開放事業		⇒ 整理番号050 参照			生涯学習課
	76	校庭・体育館の自由活動開放事業		⇒ 整理番号063 参照			生涯学習課
	77	放課後子ども教室推進事業	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるため、学校等を活用して、安全・安心な子どもたちの居場所（活動拠点）を設け、地域の大人を指導員として配置し、放課後や週末におけるスポーツや文化活動などのさまざまな体験活動や地域住民との交流活動を支援する事業の推進にあたっては、実施の意向のある小学校区を調査、把握のうえ、計画的な整備に向けて地域の関係者等との調整を行う	○小学校25校で実施〔R元年度:小学校27校〕 ・年間利用者数:28,528人【R元年度:59,940人】	▲【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年度当初は全ての活動を休止していた。6月以降、学校の再開に併せ再開可能とし、全27教室中25教室で実施することができた。 ○参加延べ人数は感染拡大の影響で減少したが、継続した子どもの居場所づくりに寄与した。 ○感染防止策を講じながら学校、地域の連携を促進し、子どもの安全な居場所の確保を図るとともに、コーディネーター等はじめ地域の方々との交流の機会を提供することができた。  ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○本事業の活動を通して、地域で子どもたちの教育を支援する環境づくりを継続して行うことができた。	○各教室での活動にあたり、活動場所での新型コロナウイルス感染症対策の徹底や、三密回避の観点から活動内容の検討を進めながら、子どもの安全な居場所確保の支援に努めています。 ○コーディネーター向けの交流会を開き、情報共有等を通して、コーディネーター間のネットワーク作りを図っていく予定です。 ○児童の預かりを目的とする放課後児童クラブ整備が進む中、放課後子ども教室の役割は変化していません。住民による連携・協働事業である放課後子ども教室は、地域の受け入れ体制の熟度が必要であるため、施設整備のように純増を計画できるものではなく、今後は「地域学校協働活動」に内包して活動の充実を図っていく予定です。	生涯学習課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1.子どものすこやかな成長を支える取り組みの充実, 子どもの安全・安心の確保								
(3) 子どもたちが安心して成長できる環境づくり								
1(3)①児童虐待防止対策の充実								
1(3)①	78	性暴力等の根絶に向けた取り組み		⇒ 整理番号009 参照			男女共同参画課	
1(3)①	79	仙台市配偶者暴力相談支援センター事業	「女性への暴力相談電話」, 各区保健福祉センター「子供家庭総合相談」及びエル・ソーラ仙台「女性相談」において, 配偶者等からの暴力の相談に応じ, 問題の解決に役立つ情報提供や助言を行う 緊急時には, 安全確保の相談に応じ, 保護命令制度について, 情報提供や利用支援を行う また, その後の生活について, 各種行政サービスや福祉制度の利用支援, 就業や自立に向けた支援を行う	<b>■男女共同参画課</b> ○仙台市配偶者暴力相談支援センター事業の実施・DV等相談(来所・電話・その他): 2,903件【R元年度: 2,025件】 ・心理カウンセリング: 延べ22件【R元年度: 延べ24件】 ○DV被害の防止啓発事業の実施 ・デートDV防止啓発リーフレット配布: 30,000部作成・約29,000部配布【R元年度: 20,000部作成・約34,000部配布】 ・DV防止啓発リーフレット配布: 5,000部作成・約4,700部配布【R元年度: 作成なし・約6,400部配布】 ○市職員を対象に「DV被害者の情報の保護に関する研修」を実施: 1回, 計72課・81名参加【R元年度: 2回, 計57課・73名参加】  <b>■子供家庭支援課</b> 外部機関へ提出する来所相談証明を発行。県婦人相談所からの照会事項等の取りまとめを実施。	○	<b>■男女共同参画課</b> <b>【成果等】</b> ○相談対応は, 新型コロナウイルス感染症の影響により件数が大幅に増加したが, 予定通り実施できた。 ○啓発事業は予定通り実施できた。  <b>【事業に関する客観的意見・評価】</b> ○情報保護研修のアンケートでは「DVの現状や情報保護の重要性を学ぶことができた」「研修内容を業務にも生かしたい」などの意見が寄せられた。  <b>■子供家庭支援課</b> <b>【成果等】</b> ○特別定額給付金の支給に伴うDV被害者向けの特例措置手続きに伴い, 相談件数が増えた。配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書の発行総数は10件以上前年度を上回った。	<b>■男女共同参画課</b> ○引き続き, 関係機関との連携を図りながら, 被害者に寄り添った支援及び啓発に努めます。  <b>■子供家庭支援課</b> ○引き続き, 関係機関との連携を図りながら, 被害者に寄り添った支援に努めます。	男女共同参画課, 子供家庭支援課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
1(3)①	80	子ども家庭応援センター	各区役所及び宮城総合支所に, 子ども・子育て支援に関わる部署間の連携により, 児童福祉法に基づく子ども家庭総合支援拠点, 母子保健法に基づく子育て世代包括支援センター等の機能を併せ持つ「子ども家庭応援センター」体制を構築し, 子ども・子育てに関する相談支援の充実を図る	<b>■子供家庭支援課</b> ○令和2年4月より, 各区役所・宮城総合支所において「子ども家庭応援センター」体制を開始した。	○	<b>■子供家庭支援課</b> <b>【成果等】</b> ○各区・宮城総合支所において人員体制の拡充が行われるなど, 相談支援の充実が図られた。	<b>■子供家庭支援課</b> ○引き続き, 関係部署が連携して家庭及び児童の支援に取り組みます。	子供未来局総務課, 子供家庭支援課, 子供保健福祉課, 認定給付課, 各区家庭健康課, 各区保育給付課, 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(3)①	81	子供家庭総合相談事業	家庭における児童養育に関し、種々複雑な問題が発生している状況に対応するため、各区保健福祉センター等に子供家庭総合相談窓口を設置し、保健・福祉サービスの総合的な相談及び関係機関等との連携調整等を行う	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>○ 子供家庭総合相談(家庭児童・婦人・ひとり親家庭に係る相談):6,789件[R元年度6,471件]</p>	○	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ ベテラン相談員を講師に迎えての家庭相談員新任者研修を実施し、相談スキルの伝達に努めることができた。</p> <p>○ 子供家庭総合相談に携わる家庭相談員の資質向上と情報交換・事例研究の推進を目的に、2か月に一度の割合で家庭相談員業務連絡会を開催している。</p>	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>○ 引き続き、家庭に寄り添った相談支援に努めます。</p>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	82	児童虐待防止推進員	児童と日常的に接する施設(児童館、幼稚園、保育所等)に、専門知識と対応スキルを身につけた職員を配置するとともに、児童虐待の早期発見と適切な相談先へ紹介等ができるように、職員のスキルアップ研修を実施する	<p>○ 12/14,12/21に実施</p> <p>【令和2年度:1回目受講者数:39人,2回目受講者数:54人,受講施設数:93施設】</p> <p>・本研修の令和2年度末の保育所・児童館・幼稚園・認定こども園の未受講施設は22施設であり、受講率は95.2%【令和元年度91.7%】となっている。</p> <p>(受講率) = (受講施設数) / (対象施設数) = 394/414</p> <p>H29年度より小規模・事業所内、H30年度より認可外・企業主導型保育、令和元年度より認可外保育(居宅訪問型)にも受講を認めており、これらを含めた受講率は79.7%【73.5%】(受講率) = (受講施設数) / (対象施設数) 571/716 【510/694】</p>	○	<p>【成果等】</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、例年どおり無事に開催することができ、児童虐待防止推進員が各施設に配置される環境づくりに寄与することができた。</p>	○ 引き続き準備し、例年通りの開催を目指してまいります。	子供家庭支援課
	83	要保護児童対策地域協議会	関係機関や地域との連携を図り、児童虐待の予防、早期発見、早期対応を強化する	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>○ 代表者会議:書面開催</p> <p>○ 実務者会議:各区・宮城総合支所 各3回 計18回開催</p>	○	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、代表者会議を書面開催としたが、実務者会議は各区・宮総において対面開催し、関係機関と必要な情報交換を行うことができた。</p>	<p>■ 子供家庭支援課</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、代表者会議を開催しました。</p> <p>○ 今後も代表者会議や各区における実務者会議を開催し、関係機関との連携を強化していきます。</p>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	84	児童虐待に係る医療ネットワーク事業	児童虐待対応に関する中核医療機関を設置し、医療機関同士のネットワーク化を図り、児童虐待の予防、早期発見、早期対応を強化する	<p>○ 仙台市立病院に委託して実施</p> <p>・相談・助言事業:65件【R元年度65件】</p> <p>・教育研修事業:ACST講演会の開催 1回</p> <p>・拠点病院児童虐待対応整備事業:被虐待児童対応チーム全体会議の開催:2回</p>	▲	<p>【成果等】</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議の中止、講演会の参加人数の制限などがあり、予定通りの運用とはならなかったが、地域医療機関等との連携や対応力の底上げに寄与することはできた。</p>	○ 新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、地域医療機関との連携や研修に取り組んでまいります。	子供家庭支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)①	85	児童虐待対策(子育てプログラムの策定)	何らかの困難を抱えた親子の関係改善に向けた調整及び支援を強化するため、保護者と共に目標を定め、家族再統合に向けての一連の子育てプログラムを策定し、実施していく	<p>○面接スキル研修とサインズ・オブ・セーフティ研修を一年を通して実施し、各自の面接で活用できるようにした。</p> <p>○外部講師については、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら招聘し11月に実施した。</p> <p>○児童相談所の内部研修に各区の子育て支援を担う課、児童養護施設、発達相談支援センター、精神保健福祉総合センター等、関係機関の参加を促し、相互研鑽を行った。</p> <p>○宮城県が主催する「サインズ・オブ・セーフティ研修」等にも職員を派遣し、相互の研鑽を行った。</p> <p>○CSP(コモンセンスペアレンティング)： 子どもの問題行動に教育的に対処するための「しつけのスキル」を学習するプログラム 実施回数 2回、参加延べ人数18名</p> <p>※サインズ・オブ・セーフティ： 当事者自らが考える子どもに起きた危害が繰り返されない安全の仕組みづくりをサポートする方法 係・課内研修で不定期に実施</p>	<p>○【成果等】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県外の外部講師を招いての研修の回数を減らしたが、その他の研修については例年よりも手厚く実施し、新職員についても一定の質で養育相談が行えるようにした。</p> <p>加えて、令和2年度は、各区の子育て支援を担う課と児童相談所の業務連携研修を行い、お互いの業務について理解を深めることで、切れ目のない連携が行えるようにした。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらも、後期に実施する研修は、各関係機関にも案内し、仙台市全体の子どもの相談支援の質の向上に努めます。</p>	児童相談所相談指導課
1(3)①	86	乳幼児健康診査	各時期における心身の発育、疾病の有無、生活習慣の形成や親子関係などを把握し、必要な支援を行うことにより、児童虐待の防止にも役立てるもので、生後2か月、4～5か月、8～9か月の各時期1回を医療機関で、1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診を集団健診で実施する	<p>■子供保健福祉課</p> <p>○乳児健康診査 当初の予定通り、各医療機関における個別健診にて実施。 【受診率】2か月児：97.1%、4～5か月児：96.8%、8～9か月児：94.7%</p> <p>○幼児健康診査 新型コロナウイルス感染症の影響より、令和2年3月～6月一時休止。6月より集団健診にて下記のとおり再開。令和2年12月より全ての健診を、従来の実施方法に戻し、感染対策の上、規模を縮小して実施。 1歳6か月児：集団健診にて再開後、9月中旬より集団健診と一部個別健診(小児科診察部分のみ個別健診)を組み合わせて実施。 2歳6か月児：集団健診にて再開後、8月より登録医療機関での個別健診にて実施。 3歳児：集団健診にて再開後、8月より集団健診と一部個別健診(歯科診察部分のみ個別健診)を組み合わせて実施。 【受診率】1歳6か月児：98.3%、2歳6か月児：89.5%、3歳児：96.7%</p>	<p>■子供保健福祉課</p> <p>○【成果等】</p> <p>○乳児健康診査は、各医療機関にて、従来どおり個別健診で実施したが、健診の必要性について周知広報を行ったことで、受診率を維持することができた。</p> <p>○幼児健康診査は、新型コロナウイルス感染症の影響により、呼び出しの時期や実施の方法を変更を行った。一時休止期間中に健診対象となっていた児の健診を迅速に進めるとともに、健診の平常化を図るため、個別健診を行う特例対応を実施した。休止期間の積み残しは令和2年度中に解消したが、個別健診の受診率は集団健診よりもやや少なかった。</p>	<p>■子供保健福祉課</p> <p>○乳児健康診査は、事務処理の予定に合わせた方法で受診勧奨を行っていく必要があるため、受診勧奨の時期や方法について検討を行い、未受診者への対応を行っていきます。</p> <p>○幼児健康診査は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、受診率の向上に努めています。また、未受診者への対応も引き続き行っていきます。</p>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)①	87	妊娠の届出と母子健康手帳の交付	母子が心身ともに健全な妊娠、出産、育児ができるように、妊娠の届出をした者に対して、母子の健康状態を記録し、健康管理に役立てるため、母子健康手帳を交付するとともに、保健指導・相談支援を行う 特に、要保護児童対策地域協議会の対象である特定妊婦(出産後の養育について、出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦)について、妊娠早期から関わりを持ち、支援を行う	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○母子健康手帳交付数：7,925部 [R元年度：8,375部] ○妊娠届出数：7,843人 [R元年度：8,300人] うち、妊娠11週以内の届出数：7,337人 (93.5%) [R元年度：7,682人 (92.6%) ]	○  <b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○妊娠の届出をした方に対し、保健師等の専門職が面接し、保健指導・相談を実施した。 ○出産前から支援を行うことが必要と認められる方を把握する機会とし、妊娠早期からの支援に結びつけることができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○専門職が面接することで、健康管理に必要な指導や相談対応をすることができました。また、出産前から支援が必要な方に対し、妊娠早期から関わりを持つことができ、支援へつなげることができました。 ○今後とも、妊娠の届出について周知を行うとともに、妊婦の健康管理の向上を図るため、保健指導・相談支援を継続します。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	88	新生児等訪問指導（エジンバラ産後うつ病質問票の全数実施）	妊産婦、乳幼児の保護者に対し、妊娠・出産・育児に関する必要な保健指導を行い、母性の健康の保持増進、児童の健全育成を図るため、各区保健福祉センター等職員及び訪問指導員（在宅の保健師、助産師）が対象者の家庭を訪問する また、乳幼児虐待の要因のひとつである産後うつ病の早期発見のため、ハイリスク者を発見するための全国的な様式であるエジンバラ質問票を全数実施する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○産婦訪問時エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の全数実施を行った。 ○EPDSの結果、継続的な支援が必要な方については、引き続き相談・支援を行った。 ・新生児（産婦）訪問初回実施数 7,440人【R元年度：7,326人】 ・内EPDS実施数 7,202人【R元年度：7,160人】 ・ハイリスク者（9点以上）333人（4.6%）【R元年度：347人（4.8%）】 ・要支援者数 1,909（27%）【R元年度：1,965人（27%）】 （ハイリスク者を含む）	○  <b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○全数実施により、産後のメンタルヘルスの指標として、エジンバラ産後うつ病質問票を活用することができた。 ○ハイリスクな産婦については、保健師や育児ヘルプ家庭訪問事業の専門指導員につなぎ、必要な支援を継続した。 ○より困難なケースの対応については、精神科医によるスーパーバイズを受けることにより、職員の専門性の向上を図ることができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○定期的にEPDS検討会を開催し、医師から助言をいただきながら、保健所職員及び訪問指導員の資質向上を図ることができました。 ○今後も、産後うつ病の早期発見と支援のため、職員の資質向上を図りながら、専門機関と連携して取り組みを継続していきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	89	乳幼児健康診査未受診者対策	要支援者の早期発見と早期支援により児童虐待の防止を図るため、新生児等訪問から3歳児健康診査までの健診等を、親子との重要な接触機会として捉え、各健康診査及び各事業における実施状況の確認と未受診者（直接接触する機会のない親子）に対する家庭訪問等を実施する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○乳児健康診査（未受診者率） 2か月 2.9%【R元年度：8.1%】 4-5か月 3.2%【R元年度：7.8%】 8-9か月 5.3%【R元年度：9.7%】 ○幼児健康診査（未受診者率） 1歳6か月 1.7%【R元年度：2.6%】 3歳 3.3%【R元年度：4.7%】	▲  <b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○乳児健康診査の未受診者対策については、各区・総合支所でそれぞれ実施することができた。 ○幼児健康診査は、休止や特例対応に伴い、受診勧奨の時期や方法を変更して対応することができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3～4か月児育児教室の中止や、幼児健康診査の一時休止や特例対応をおこなっていることから、受診勧奨時期・方法を変更して対策を行っていきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(3)①	90	健診後のフォローの充実	健診後のハイリスク親子（メンタルの問題を有する親、ひとり親、発達上の心配のある子ども、軽度ネグレクトなど）について、訪問などの個別支援や幼児教室、親同士のグループミーティングを行い、親自身の気づきや意欲を引き出し、主体的な育児を支援する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○1歳6か月児健康診査後の要訪問数：521人【433人】 ○3歳児健康診査後の要訪問者数：404人【386人】 ○健康診査事後指導（育児教室）： 開催回数 22回【64回】 参加実人数 35人【186人】 参加延べ人数 88人【466人】 ○健康診査事後指導（幼児教室）： 開催回数 28回【63回】 参加実人数 42人【185人】 参加延べ人数 98人【482人】 ※【】内はR元年度実績	▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から集団で行う事業を中止・休止し、個別相談等で対応した。6月中旬の幼児健康診査再開後、幼児教室の再開や親支援グループミーティング等については、規模を縮小して再開または個別対応を継続することができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別または規模を縮小して支援を実施していきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	91	妊娠等に関する相談事業（せんだい妊娠ほっとライン）	乳幼児虐待の要因のひとつである望まない妊娠を含む、妊娠により悩みを抱える若者等への相談対応や保健指導を行う窓口を設置することにより、妊娠期からの相談体制の充実を図る	○専門相談員が電話及び電子メールにより相談対応を行った。実施日は年末年始を除く、月曜日・水曜日・金曜日の午前10時から午後7時。 ・相談件数 62件（一般社団法人宮城県助産師会に委託して実施）【R元年度：568件】	△	<b>【成果等】</b> ○令和2年5月に委託が終了したが、各区家庭健康課及び総合支所保健福祉課で相談対応を継続した。	○令和3年11月から、電話及びSNSを活用した望まない妊娠等に関する相談窓口を設置する予定です。	子供保健福祉課
	92	育児ヘルプ家庭訪問事業	子どもの養育について支援が必要な家庭に、訪問による支援を実施することにより、その家庭の子どもの養育の安定を図り、子どもの健全な育成に寄与することを目的として、民間事業者による育児ヘルパーの派遣（有料）と専門指導員の派遣（無料）を行う	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○育児に不安を感じる方のために、専門指導員及び育児ヘルパーの派遣を行った。 ・専門指導員派遣： 延べ派遣件数 1,517件【R元年度：1,576件】 ・育児ヘルパー派遣： 延べ派遣件数 1,970件【R元年度：2,118件】 延べ派遣時間 3,600時間【R元年度：3,827時間】	○	<b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○養育支援の一環として、平成26年度より小児慢性特定疾病児がいる家庭も対象として実施している。 ○事業の円滑な実施のため毎年開催している担当者会議は、新型コロナウイルス感染症のため延期している。 ○地区担当保健師と連携して密に関わるように配慮するなど、個々の状況を考慮した支援を行うことができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○母子健康手帳交付や新生児訪問など、全ての妊婦や母子と会える機会を活用し、継続支援が必要な家庭の把握に努め、サービスの提供を行っていきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(3)①	93	女性のための健康支援教室	育児不安やストレスを抱えている子育て中の女性を対象に、グループミーティング等で自分自身を語ることで、不安の軽減を図る また、育児期や更年期の心と体についての講演会等を開し、生涯を通じた女性の健康の維持促進を図る	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○青葉区でもグループミーティングを開始した。 ・グループミーティング 開催予定回数：59回 開催回数：43回【54回】 参加延べ人数：290人【261人】 ・講座・相談会 開催回数：15回【16回】 参加人数：187人【257人】 ※【】内はR元年度実績	▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から集団で行う事業を中止したが、各区・総合支所の実情に応じて個別または規模を縮小するなど感染対策を講じて再開することができた。 ○青葉区でもグループミーティングを開始したことで、5区・宮城総合支所の6カ所で実施となった。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策を講じた上で実施していきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	94	多胎児等を育てる保護者等のための育児サークル等支援	双子・三つ子、低出生体重児等を育てる保護者等を対象に、子育ての大変さや不安等を共感できる機会を設定し、育児不安の軽減を図る	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から集団で行う事業を中止し、6月中旬以降、感染対策を行い順次再開しているが、多胎育児サークル等支援については、自主グループからの依頼がなく、直営事業についても中止した。	▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○感染対策を講じた上で再開することが難しいこと、低出生体重児等は、感染した際の重症化リスクが高いことから、直営事業を中止した。また、多胎育児サークル等支援は自主グループからの依頼がないこともあり、再開に至らなかった。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○自主グループからの依頼があれば、感染対策の上支援を行う予定です。	子供保健福祉課、各区家庭健康課
	94			<b>■ 青葉区</b> ○区の双子の会については、会の案内を工夫する・全対象者にアンケートを取り周知する・駐車場のある会場で実施する等実施したが来所者が伸び悩み、H30年度で事業は終了している。 ○育児サークルの情報提供は母子健康手帳交付時（令和2年度 17件）や訪問等で実施。	△	<b>■ 青葉区</b> 【成果等】 ○多胎児で該当する場合は低出生体重児の親の会（小さく生まれた子の親の会）を紹介した。 ○育児サークルは参加状況等確認はしていないが、多胎児保護者の支援の一つとしてお伝えさせていただいている。	<b>■ 青葉区</b> ○市内の多胎育児サークルの情報提供や「みやぎ多胎ネット」の案内を引き続き実施します。 ○母子健康手帳交付時・新生児訪問時に育児状況や支援体制を確認し、必要時産後のサービスの案内（産後ケア・育児ヘルプサービス等）や、育児相談・支援を実施します。	子供保健福祉課、各区家庭健康課
94			<b>■ 宮城野区</b> ○母子健康手帳交付時に双子の届け出があった場合は、双子用の冊子を配布し、育児に対する不安軽減に努めた。 ○低出生体重児の保護者を対象とした交流の場については、新型コロナウイルス感染症予防のため実施せず。このため対象保護者に対し、令和元年度実施内容について会報を作成。各区より対象へ郵送した。	▲	<b>■ 宮城野区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症予防策として、郵送にて本会を紹介できた。本会参加へのハードルを下げ、低出生体重児の保護者が持つ不安軽減に繋げられるよう継続支援していく必要あり。	<b>■ 宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら保護者の不安に対応できるよう検討してまいります。	子供保健福祉課、各区家庭健康課	

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)①	94	多胎児等を育てる保護者のための育児サークル等支援	双子・三つ子、低出生体重児等を育てる保護者等を対象に、子育ての大変さや不安等を共感できる機会を設定し、育児不安の軽減を図る	<b>■若林区</b> ○ツインズマザーの会は休止した。 ○多胎児を育てている保護者に対して、開催中の育児サークルやオンライン双子カフェの紹介を行った。	<b>▲</b> <b>■若林区</b> 【成果等】 ○交流の機会は減ったものの、個別での普及・啓発を行うことができた。	<b>■若林区</b> ○機会を捉えて、多胎児支援に対する普及・啓発を行っています。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課
				<b>■太白区</b> ○双子三つ子の母親が自主的に運営する会「ジェミニ」と共催で育児に関する健康教育を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実施は見送ることになった。 開催0回〔R元年度 2回 19組 59人〕 ○低体重児の保護者に対し、宮城野区作成の令和元年度交流内容の会報を、郵送した。	<b>▲</b> <b>■太白区</b> 【成果等】 ○健康教育については、新型コロナウイルス感染症の影響により会自体の活動回数が少なくなっていることや場所の確保が難しくなっていること等から、会と検討し、令和2年度の実施を見送ることとした。	<b>■太白区</b> ○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送ることとなりましたが、令和3年度の実施に向け、会と連携しながら内容等を検討して参ります。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課
				<b>■泉区</b> ○母子健康手帳交付時に多胎の届け出があった場合は、多胎用の冊子を配布する。 ○低体重児の保護者を対象とした交流の場については、新型コロナウイルス感染症予防のため実施せず。このため対象保護者に対し、小さく生まれた子の保護者会があることを郵送にて周知した。	<b>▲</b> <b>■泉区</b> ○多胎用の冊子を配布することで多胎育児に対する不安軽減に努めている。 ○郵送にて小さく生まれた子の保護者会を紹介した。	<b>■泉区</b> ○令和3年度は新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、出来る範囲で多胎児支援に対する普及・啓発に取り組んでいきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課
1(3)①	95	保健師等母子保健従事者の職員研修の充実	児童虐待予防に向けた養育支援などを含む子育て支援に関わる専門職種の研修の充実に努め、職員の専門性、技術の向上を図る	<b>○</b> <b>■子供保健福祉課</b> ○母子保健新任者研修(e-ラーニング)1回開催[R元年度：1回開催] ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、職員の市外への出張を行うことができず、研修への派遣ができなかったことから、派遣研修の伝達講習会は開催しなかった。 ○オンライン開催の研修を受講できるように調整した。	<b>○</b> <b>■子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○母子保健新任者研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修ではなく、e-ラーニング形式で実施したところであるが、事業運営や個別支援に必要な知識の習得につながった。派遣研修の代わりとして、オンライン開催の研修を職員が受講できるよう調整することで、専門性・技術の向上を図ることができた。	<b>■子供保健福祉課</b> ○児童虐待予防に向けた養育支援などを含む子育て支援に関する知識の習得、技術向上のため、引き続き研修の充実に努めます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)①	96	児童虐待に係る児童相談所の体制・機能強化	増加する児童虐待・非行への対応など、さまざまな問題を抱える子どもへの相談・援助を行うため、児童福祉司の増員や一時保護所の定員の拡大など、児童相談所の体制・機能強化を図る	<p>○行政教員3名体制により、令和2年度も引き続き学校、警察その他の関係機関との連携強化を図ることができた。</p> <p>○令和2年度新規の福祉職採用職員を4月に4名配置した。(福祉職全体で前年度比5名増)</p> <p>○平成25年度から里親委託等推進員(嘱託職員)を2名体制としている。</p> <p>○警察との連携強化の一環として、今までの警察OB(嘱託職員)による配置に代えて、令和2年度から宮城県警から児相に職員を2名派遣し、相談指導課付主幹及び緊急対応係主査に配置を行っている。</p> <p>○令和2年度から弁護士と相談委託契約を締結し、通常の相談業務だけでなく、毎週定期的(水曜)に受理会議や援助方針会議にも出席し法的助言を行っている。</p> <p>【対応状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待対応件数：1,253件</li> <li>・警察からの通告受理：661件</li> </ul>	○ 【成果等】 ○専門性をもった福祉職採用の児童福祉司が配置されていることで複雑困難な事案への対応が向上している。(児童福祉司に占める福祉職採用職員の割合 令和2年度33人中21人(64%)) ○虐待対応件数や警察からの通告受理件数が増加している中、国のプランが策定され、児童福祉司など職員数の増員だけでなく、警察から職員派遣による一層の連携強化や弁護士との相談委託契約の一層の充実を図り、プランに基づいた機能強化を図っている。	○引き続き児童虐待防止対策体制総合強化プラン(新プラン)に基づき、以下の点に留意しながら、児童相談所の児童福祉司等の職員体制の充実を図っていきます。 ・虐待対応件数の増加に伴う児童福祉司の加配 ・児童心理司の増員(正職配置)	児童相談所相談指導課、 児童相談所保護支援課
	97	親子こころの相談室運営	こころの問題を抱える子どもと家族の心理面接、精神医学的ケアを継続的に行うことで、子育ての不安を解消し、児童虐待の発生・再発を防止する	<p>○相談件数( []内は前年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規受付実人数：80人[88人]</li> <li>・取り扱い実人数：150人[161人]</li> <li>・延人数：549人[750人]</li> <li>・精神医学的相談：104件[101件]</li> <li>・電話相談・問い合わせ：255件[261件]</li> </ul>	○ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校期間(4月、5月)は緊急性の高くない相談については延期・もしくは電話での対応としたため、例年に比べ対応件数は減少した。 ○休校期間明けの6月以降は、不登校相談が増加し、その他の相談も例年通りの件数となった。 ○元々登校に不安感を抱いていた子どもが、長い休校期間を経て不安が高まり、不登校となったり、ゲーム依存が悪化するなどの事例がみられた。	○新型コロナウイルス感染症拡大が児童・保護者のメンタルヘルスに与える影響を考慮しつつ、引き続き心理面接、精神医学的相談を行ってまいります。 ○利用者が安心して相談ができるよう、相談に際しては感染リスクに対し必要な対応を行い、流行状況に応じて電話相談に切り替える等の対応を行ってまいります。	児童相談所相談指導課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)②いじめ防止等対策の総合的推進							
1(3)②	98	いじめ防止等対策の総合的推進	<p>学校においていじめへの対応が適切に行われるよう、学校内の体制の強化や、研修の充実による教職員の対応力向上を図るとともに、いじめの未然防止に向けた児童生徒への啓発活動や、早期発見に向けた児童生徒へのアンケート調査を実施する</p> <p>また、社会全体で子どもたちをいじめから守るという意識の向上と具体的な行動につなげるための広報啓発を行うとともに、法律や心理などの専門家を中心とした相談窓口を市長部局に設置し、児童生徒や保護者に寄り添った対応をする</p>	<p>■教育相談課</p> <p>○いじめ防止等に係る総点検を実施し、いじめ防止対策の徹底について認識の共有を図った。</p> <p>○認知した全てのいじめ事案について、年4回集計し教育委員会に報告、各学校の状況把握を行った。</p> <p>○令和2年度当初にいじめ対策担当教諭（小101校、中ほか66校）、いじめ対策支援員（小20校）を配置した。</p> <p>○24時間いじめ相談専用電話に加えて、SNSを活用したいじめ相談を実施した。</p> <p>○「いじめ防止『きずな』キャンペーン」を6月の学校再開に合わせて実施した。</p> <p>○学級生活等のアンケート調査により、生徒一人ひとりの状況や学級集団の状態を把握し、学級経営に活用した。</p> <p>■教職員課</p> <p>○中学校(64校)・中等教育学校・特別支援学校の合計66校にいじめ対策専任教諭66人を配置した。[令和元年度：66校 66人]</p> <p>○小学校101校に101人の児童支援教諭を配置した。[令和元年度：89校 89人]</p> <p>■教育センター</p> <p>○いじめ防止等に関する研修について、管理職を含む全ての教員に対し、経験年数に応じた育成指標に基づいて研修を実施した。8月末までの研修削減により、いじめへの対応を含む中止とした研修については資料送付等を行った。研修再開後、年次研修等で中止となったいじめ対応等の内容を再編成して研修を実施した。</p> <p>■教育指導課</p> <p>○市立学校園で命を大切に教育の推進役を担う教員を対象に「命を大切に教育研修」を実施し各校の実態に合わせた命を大切に教育の推進を図った。</p> <p>○命を大切に教育の理解啓発及び授業実践に活用できるよう「仙台版 命と絆プログラム」を各校に配付した。</p> <p>○情報モラル啓発リーフレットの作成に向けた検討を行った。</p>	<p>○</p> <p>■教育相談課</p> <p>【成果等】</p> <p>○いじめ防止に係る総点検や対策の徹底では、年度当初に学校組織対応について、いじめ対策ハンドブック等を活用した確認を実施するとともに、いじめ等の相談窓口の周知など、組織体制等を全教職員で点検した。</p> <p>○学校での様々ないじめ防止対策への取組みについて、家庭や地域と連携しながら、全市的ないじめの防止につなげていく。</p> <p>■教職員課</p> <p>【成果等】</p> <p>○中学校などにおいては全校配置が達成されており、小学校についても配置を拡充することができている。</p> <p>■教育センター</p> <p>【成果等】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策として、8月末まで研修の削減を行った。初任研等中止になった研修（いじめへの対応等）については、資料を送付し、レポートを作成することで代替措置をとった。</p> <p>○研修内容に具体的な事例を基にした演習やケーススタディなどを計画的に取り入れ、より実践的・実用的な内容となるよう努めた。</p> <p>■教育指導課</p> <p>【成果等】</p> <p>○研修の実施に合わせ、「仙台版 命と絆プログラム」を配付し、教職員や保護者研修、授業実践を行ったりする際の手引きとして活用するよう周知を図った。</p> <p>○情報モラル啓発リーフレットは、おおむね順調に進行した。</p>	<p>■教育相談課</p> <p>○引き続き、各学校におけるアンケート調査の実施や相談窓口におけるいじめ相談を行うなど、いじめの早期発見、早期対応に向けた取組みを継続していきます。</p> <p>○11月の「いじめ防止『きずな』キャンペーン」期間中に、「児童生徒8万人のいじめ防止『きずな』サミット」として、いかなる理由があっても、差別や偏見、誹謗中傷をしてはいけないというテーマで、すべての学級で話し合い活動を行う予定です。</p> <p>■教職員課</p> <p>○中学校などへのいじめ対策専任教諭の全校配置を継続するとともに、小学校への児童支援教諭の配置拡充に向けた取組みを進め、小規模校を除く114校へ配置します。</p> <p>■教育センター</p> <p>○「いじめ防止対策に係る研修体系図」を全教職員に示し、教職員の資質向上・学校組織力の向上等、研修の全体像・ねらいの理解及び研修に臨む教職員の意識をより一層高めていきます。</p> <p>○校内での伝達研修の実施についての周知について、更に図っていきます。</p> <p>■教育指導課</p> <p>○命を大切に教育の年間指導計画の作成状況と授業実践の状況を確認するとともに、「仙台版 命と絆プログラム」の検証と改訂について複数年計画で行っていく予定です。</p> <p>○情報モラル教育の推進については、引き続きリーフレット等による啓発を行うとともに、児童生徒の学習の場面において、情報モラル教育の充実を図っていきます。</p>	<p>教職員課、 教育センター、 教育指導課、 教育相談課、 いじめ対策推進室</p>
1(3)②	98						

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
1(3)②	98	いじめ防止等対策の総合的推進	学校においていじめへの対応が適切に行われるよう、学校内の体制の強化や、研修の充実による教職員の対応力向上を図るとともに、いじめの未然防止に向けた児童生徒への啓発活動や、早期発見に向けた児童生徒へのアンケート調査を実施する また、社会全体で子どもたちをいじめから守るという意識の向上と具体的な行動につなげるための広報啓発を行うとともに、法律や心理などの専門家を中心とした相談窓口を市長部局に設置し、児童生徒や保護者に寄り添った対応をする	<p>■いじめ対策推進室</p> <p>○保護者や地域住民など幅広く市民に対して広報啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞広告掲載（プレスせんだい）</li> <li>・相談窓口リーフレットの配布</li> <li>・地下鉄広告の掲出、市民利用施設等へのポスター掲示</li> <li>・懸垂幕・横断幕の掲出、公用車へのマグネットシートの掲示</li> </ul> <p>○法律や心理などの専門家を中心とした相談窓口「仙台市いじめ等相談支援室 S-KET」について、相談員の育成などの準備を進めるとともに、窓口の周知を行い、6月1日に開設した。開設後は、学校等関係機関と連携しながら相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度（令和2年6月～令和3年3月）延べ相談件数:378件</li> </ul>	(○)	<p>■いじめ対策推進室</p> <p>【成果等】</p> <p>○広報啓発に関しては、概ね予定通りに取り組んだが、一部の事業（市民向けセミナー等）について、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の実施を見送ることとした。</p> <p>○「仙台市いじめ等相談支援室 S-KET」については、予定どおり6月に開設し、児童生徒や保護者に対する相談支援を行った。</p>	<p>■いじめ対策推進室</p> <p>○いじめに関する専用のホームページを新たに構築するとともに、市民向けセミナーの開催や啓発リーフレットの配布、地下鉄広告の掲出・市民利用施設等への啓発ポスター掲出などにより、広く市民に向けて広報啓発を実施していきます。</p> <p>○「仙台市いじめ等相談支援室 S-KET」に関して、引き続き、相談員の支援スキル向上や窓口の周知・浸透を図りながら、悩みを抱える児童生徒や保護者に寄り添った対応を行ってまいります。</p> <p>【R3.10月追記】市民向けセミナーについては、令和3年9月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。なお、セミナーで行うこととしていた中学生・高校生の発表については、学校関係者等を対象とした「発表会」に改め、11月に開催を予定している。</p>	教職員課, 教育センター, 教育指導課, 教育相談課, いじめ対策推進室
1(3)③安全・安心な環境の確保								
1(3)③	99	安全安心街づくり事業	安全で安心して暮らせるまちの実現のため、仙台市防犯協会連合会等の関係団体と連携し、地域における防犯意識の高揚と地域防犯活動の活性化を推進する	<p>○防犯のため青色回転灯搭載車によるパトロールを当課、各区にて行った。</p> <p>○各季の地域安全運動期間中に合わせ、全国地域安全運動仙台市大会の開催や大型懸垂幕の掲出を行った。</p> <p>○仙台市防犯協会連合会のホームページ、機関紙等により、各地区防犯協会の活動や防犯に関する情報等について広報啓発を行った。</p> <p>○防犯出前講座を年32回〔67回〕実施し、601人〔2,529人〕の参加があった。</p> <p>※〔〕内はR元年度実績</p> <p>○仙台市防犯協会連合会との共催により、防犯啓発キャンペーンを実施した。</p> <p>○安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体に対する活動支援を実施した。</p> <p>○地域のボランティア団体に対する補助事業においては、令和2年度は18件、延べ315件が補助を受けており、住民の防犯意識の高揚と地域の環境浄化に寄与している。</p>	○	<p>【成果等】</p> <p>○例年同様活動を実施しており、地域の安全安心に関する啓発や活動の支援を行っている。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○防犯パトロールの要望や防犯活動補助金への問い合わせ等が多く寄せられている。</p>	<p>○各種防犯活動が、犯罪抑止に効果的であると考えられることから、引き続き当該活動を継続していきます。</p> <p>○市政だより等を活用して事業を広く周知し、活動団体への補助を行うことで、自主防犯活動の促進・支援に資することができたものと考えていることから、今後も現行の取組を実施していきます。</p>	市民生活課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)③	100	歩きたばこ防止対策事業	火のついたたばこを持ち歩くことは、手に持ったたばこの火が子どもの目の高さになり、火傷を負わせるおそれのある大変危険な行為であるため、歩きたばこ防止の定着を図るための周知・啓発を行い、市民の理解を深め、子どもが安全に暮らせるまちづくりを推進する	○平成28年4月1日施行の仙台市歩行喫煙等の防止に関する条例に基づき広報・啓発活動を行った。 ・歩行喫煙等防止啓発キャンペーンを市内中心部の歩行喫煙防止重点区域内で12回〔12回〕実施した。 ・重点区域に立て看板や路面シールを設置し、商店街の協力を得て、歩行禁煙を呼びかける横断幕を掲示した。 ・市内17箇所で、歩行喫煙者数の実態調査を行った。 歩行喫煙率：令和2年度調査0.01%〔0.01%〕 ※〔〕内はR元年度実績	○【成果等】 歩行喫煙等防止啓発キャンペーンの実施や、横断幕の掲示等により歩行喫煙者は減少している。  ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○実態調査から、歩行喫煙率は非常に低く、成果はあがっている。	○歩行禁煙に対する市民への周知・啓発の継続的な実施により、一定の効果があつたと考えています。 ○今後も引き続き、歩行禁煙を呼びかける市民への周知・啓発活動を継続していきます。	市民生活課
	101	交通安全対策事業	交通安全知識の普及と交通モラルの高揚を図るため、交通安全指導員が幼稚園・保育所等で幼児・保護者を対象とした出前式交通安全教室を開催するとともに、市内7地区の交通安全指導員が、通学路等において街頭指導を行い、児童生徒等の交通安全に努める	○幼稚園・保育所等での交通安全教室実施回数 177件 6,507人 ○市内7地区において、交通安全指導員が通学路等において街頭指導を継続的に実施している。(月4回の定期立哨) ○市内中学校・高校において、自転車の体験型のスクエアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施した。 ・スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室実施件数：5件  ※スクエアード・ストレイト方式…危険な自転車走行に伴うスタントマンによる交通事故の実演により、危険性を疑似体験させる教育技法のこと。	▲  ○【成果等】 交通安全教室は例年4月より実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開始時期が6月まで延期となり、実施回数及び人数が前年同月比で大幅に減少している。 〔前年同月比(累計) -96件 -21,145人〕 ○月4回の定期立哨は、5月末までの臨時休業期間内でも実施し、地域での交通安全指導を実施した。 ○スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室は、市内学校の臨時休業により、当初予定より大幅に減少している。 〔前年度20件、今年度5件〕	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により交通安全教室の開催件数が減少しましたが、幼稚園・保育所の再開後は徐々に開催件数が増加しています。今後も、交通安全の意識を高めるため、継続して取り組みを進めていきます。 ○令和2年度当初の市立学校の臨時休業や夏季休業中においても、地域において交通安全指導隊による街頭指導を実施しました。今後も継続して取り組んでいきます。 ○スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室及びより効果的な交通安全教室の実施の方法を検討するとともに、実施学校及び区役所をはじめ、地域の方々や保護者等とも連携しながら取り組みを進めます。令和3年度の実施回数は10件を予定しており、感染対策をとりながら行います。令和2年度より件数は増える見通しです。 ○自転車利用の機会が多くなる高校生に対して、新入学時に自転車の安全利用に関する啓発小冊子を配布し、自転車の安全教育での活用を図ります。	自転車交通安全課
	102	周産期福祉避難所の運営管理	災害発生時に指定避難所での生活が困難な出産間近な妊婦や産後間もない産婦、新生児を受け入れるため、市内の看護学科を有する大学などを「周産期福祉避難所」として指定している なお、周産期福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所であり、最初から避難所として利用することはできない 市内6か所の学校と協定を締結している	○毎月、防災行政用無線の通信試験を実施。 ○市と仙台市医師会とで災害対策打合せを実施し、危機管理局防災計画課から避難所運営について説明があつた際、周産期福祉避難所についても周知を行った。 ○コロナ禍での周産期福祉避難所における感染症対策について、宮城県助産師会と調整を行った。 ○周産期福祉避難所の備蓄品について、感染症対策用品の追加納品を行った。	▲  ○【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、周産期福祉避難所における避難訓練は第1回目・第2回目ともに中止とした。	○引き続き関係団体等との連携を図りながらコロナ禍における避難訓練に向けた準備を進めるとともに、マスコミ等を利用した情報発信についても検討します。	健康政策課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)③	103	受動喫煙防止対策	たばこによる健康影響から市民を守り、健康で快適に過ごすことができる「受動喫煙防止」のまちづくりのため、小中学生等に対する喫煙防止教育や、妊産婦家庭訪問・幼児健康診査の場を活用した妊産婦やその家族に対するたばこの健康影響についての啓発及び禁煙支援等を行う	<b>■健康政策課</b> ○世界禁煙デーや禁煙週間においてポスターを送付することにより、健康影響・受動喫煙防止対策等について啓発を実施した。 ○「受動喫煙防止宣言施設」登録制度を宮城県・全国健康保険協会宮城支部と共同で実施。令和2年度末の登録施設数は1,262施設(うち仙台市所在679施設)。	▲ <b>■健康政策課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症に関わらず、周知・啓発は実施できているが、「受動喫煙防止宣言施設」登録施設数の伸びに影響が出ていると思われる。	<b>■健康政策課</b> ○「受動喫煙防止宣言施設」登録制度については、未だ飲食店等市民が広く利用する施設の登録数が少ないことから、引き続き制度の周知を行い、登録施設数の増加を目指します。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	103			<b>■青葉区</b> ○母子健康手帳交付時に、妊婦に対し青葉区独自のたばこの健康影響についてリーフレット配布による啓発を実施。 (R2年度 1,490件) [R元年度 1,581件] ○情報コーナーを活用した、ポスター掲示による啓発を実施。	▲ <b>■青葉区</b> 【成果等】 ○育児教室等の中止により集団での啓発活動が実施できていない。幼児健診時のパネル掲示は、感染症対策となっている三密を避けるために行っていない。	<b>■青葉区</b> ○母子健康手帳交付及び新生児訪問時のリーフレット配布による個別啓発を継続します。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	103			<b>■宮城総合支所</b> ○世界禁煙デー・禁煙週間において、ポスター等の掲示、庁内放送による啓発を実施。 ○母子保健事業においてリーフレット配布等による啓発(母子手帳交付時)	▲ <b>■宮城総合支所</b> 【成果等】 ○育児教室等の中止により、集団での啓発が実施できていない。一部再開した健康教育等においては、対象に合わせ資料の配布等を行った。	<b>■宮城総合支所</b> ○母子保健事業でのリーフレットの配布を継続するほか、個別の禁煙相談も継続していきます。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	103			<b>■宮城野区</b> ○母子手帳交付時ちらし配布数1,921枚 ○世界禁煙デーにあわせ、母子手帳交付時、新生児訪問時に啓発ティッシュ440個配布 ○区内小学校17校を訪問し、児童の健康状態や学校が抱える課題のヒアリングを実施。 ○小学校2校延4回・延223名の小学6年生に対し、保健体育授業として防煙教育を実施。	○ <b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○啓発機会を捉え、子育て世代に受動喫煙に関する情報を提供できた。 ○小学校との情報共有では、保護者の喫煙状況を課題視している学校もあり、区家庭健康課で感じている課題と一致し共有することができた。 ○防煙教育を通して、喫煙・受動喫煙がもたらす健康被害について啓発することができた。  ○ 【事業に対する客観的意見・評価】 ○母親の再喫煙防止や、父親への禁煙に対する動機づけのためには、母子手帳交付時以外であっても切れ目ない情報提供や、禁煙相談の場の拡充が必要である。 ○防煙教育の際に実施した児童へのアンケートより、回答した児童の半数以上が「身近に喫煙者がいる」と回答している。受動喫煙の防止や将来の喫煙抑止につなげるため、防煙教育を強化していく必要がある。	<b>■宮城野区</b> ○子育て世代向けの禁煙相談のちらしを作成し、母子保健係窓口で配布をしていきます。 ○引き続き小学校への防煙教育を実施し、受動喫煙の防止や将来の喫煙抑止を図ります。 ○受動喫煙による影響について、区内児童館に啓発を行います。 ○母親の再喫煙防止、父親の禁煙の動機づけを行えるよう、支援者の技術力向上のため支援者向け研修会を開催します。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)③	103	受動喫煙防止対策	たばこによる健康影響から市民を守り、健康で快適に過ごすことができる「受動喫煙防止」のまちづくりのため、小中学生等に対する喫煙防止教育や、妊産婦家庭訪問・幼児健康診査の場を活用した妊産婦やその家族に対するたばこの健康影響についての啓発及び禁煙支援等を行う	<b>■若林区</b> ○両親教室において、たばこの健康影響についての講話、リーフレット配布による啓発を実施。 ○情報コーナー等で、ポスター掲示およびリーフレット配布による啓発を実施。 ○区内小学校2校、中学校1校（計263名）において防煙教育を実施。	▲ <b>■若林区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、母子健康手帳集団交付での啓発が実施できなかった。 ○感染予防のため、世界禁煙デー・禁煙週間に係るパネル展は中止した。 ○防煙教育は学校と地区の喫煙状況や課題等について共有する機会ともなった。	<b>■若林区</b> ○世界禁煙デー・禁煙週間にあわせて、感染対策を講じながらパネル展示・庁内放送による啓発と、幼児健診時に啓発ティッシュを配布予定です。 ○区内小中学校・高校と連携し、防煙教育を実施予定です。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	103			<b>■太白区</b> ○例年、児童館と連携し、児童クラブに所属する小学校1～2年生の児童を対象に、「歯と口の健康づくり」「健康的な食生活」「たばこの健康への影響」をパッケージ化した講座を実施している。 6児童館 計233名に対し啓発実施 [R元年度は5児童館 計307名に対し啓発実施]	▲ <b>■太白区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童館が単独でも防煙教育を実施することができるように、講座内容のDVDを作成した。 ○6児童館、228人に対し、上記DVDを利用した健康教育を実施。	<b>■太白区</b> ○「地域とともに育む子どもの健康づくり事業」において、区内の全児童館に対し低学年児童を対象とした防煙を含む講座を案内する予定です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来複数の職員が訪問して行っていた講座（人形劇）を収録したDVDを希望する児童館に貸し出し、または、職員1名程度で訪問・実施します。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	103			<b>■泉区</b> ○母子保健事業でチラシ配布等による啓発（母子手帳交付、離乳食教室時に1,352部） ○喫煙可能室設置施設の届出に関するチラシを窓口に設置 ○区内の児童館・児童センター15か所を選定し、チラシ1,010部、啓発グッズ1,040部を配布	▲ <b>■泉区</b> 【成果等】 ○区内の児童館・児童センターの中から15か所を選定し、チラシ1,010部、啓発グッズ1,040部を配布、喫煙が及ぼす健康影響、禁煙についての啓発を行った。配布後、禁煙チャレンジャーのホームページアクセス数の増加が認められた。	<b>■泉区</b> ○秋休み前の時期に、区内の児童館・児童センター、のびすくに、喫煙が及ぼす健康影響、禁煙に関するチラシ、啓発グッズを配布する予定です。また、重点地区とした地域の小学校に訪問する際にチラシや、これまでに行ってきた地区の防煙教室のデータを持参し、啓発活動を行う予定です。 ○泉区ホームページ上に、たばこの害に関するこども向けのホームページを作成し、配布用チラシ等にQRコードを貼付します。また、保護者向けチラシ中に、禁煙チャレンジャーやニコチン依存度のQRコードを貼付します。 ○世界禁煙デーに合わせ、のびすく泉中央に受動喫煙に関するポスター掲示を依頼しています。	健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(3)③	104	青少年街頭見守り事業	中央街頭指導（市内中心部の繁華街、地下鉄駅周辺の商店街）及び中学校区街頭指導（市内64中学校区内）の青少年が集まりやすい場所等を巡回し、青少年への声かけを通して、非行の未然防止、早期発見、早期対応、犯罪被害の防止など、青少年の安全・安心及び健全育成につながる街頭指導活動を実施する	○中央街頭指導に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により4～6月中旬まで自粛し、6月下旬から段階的に再開した。令和2年度の青少年に対する累計指導人数は464人 [R元年度：1,001人]、累計声掛け人数は2,343人 [R元年度：2,641人]であった。 ○中学校区街頭指導に関しては、令和2年度は62の中中学校区で実施した。また、当センター指導員が各中学校区に行って合同で行う出張街頭指導については、18校 [R元年度：4校] で行った。	○【成果等】 ○街頭指導を行う青少年指導員が手指消毒や検温、マスク着用、また3密を避けながらの声掛けといった新型コロナウイルス感染症対策を講じながら街頭指導を実施している状況。巡回する各事業所には感染症対策を講じながら巡回することに理解をいただいている。 ○指導人数及び声掛け人数の累計が大幅な減少となったのは、自粛期間があったこと大きな要因としてあげられる。しかし、街頭指導を再開した7月からの統計でみると、声掛け人数については増加している。特に午後指導での小学生への声掛けと夜間指導での高校生に対する声掛けが増加している。  ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○非行や犯罪被害の未然防止はもちろんであるが、家庭や学校で悩みや不安を抱えた青少年と出会うことは少なくない。そのような青少年に耳を傾けること、また必要に応じて、学校に情報提供を行うことで、より一層青少年の健全育成が図られると期待を受けている。	○今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの街頭指導を継続させていきます。また、コロナ禍にありつつも街頭指導の指導人数や声掛け人数も増加していく可能性を視野に活動していきます。 ○中学校区街頭指導に関しては、各中学校区裁量で活動をしている。令和2年度は感染症の影響もあり、2つの中学校区で実施に至らなかった。校区の実態を踏まえながらも年度内の全校区での活動再開を目指して働きかけをしていきます。 ○出張街頭指導をととして、各中学校区の実態を把握するとともに、より効果的な街頭指導の在り方について検討していきます。	子供相談支援センター
	105	通学路安全対策事業	子どもたちの安全を確保するため、通学路における歩道の整備や、路側帯のカラー化等により歩行者空間と車両空間を分離するなどの安全対策を実施する	○令和2年度は、市内小学校24校の通学路点検を実施。今後、要対策と判断された箇所のうち道路管理者が実施する部分について、確実な安全対策を実施する。	○【成果等】 ○8月上旬、学校関係者、交通管理者、道路管理者などが一体となって市内小学校の合同点検を実施するなど、おおむね順調に推移している。	○各管理者ごとに対策が必要な箇所について抽出後、道路管理者要対策箇所について、安全対策を実施していきます。	道路計画課
	106	学校教育施設整備	学校教育施設の新増改築や修繕、空調設備の設置など、安全で良好な教育環境を整備する	○空調設備等を設置し、夏季の暑さ対策を行い良好な教育環境の整備に努めた。 ○大和小学校増改築について、コロナ禍により資材調達が間に合わず遅延した。	▲【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季休業期間中に授業を行うため、エアコン設置が間に合わない教室については、仮設エアコンを設置する等良好な教育環境になるように対策を行った。	○小学校35人学級やクラス増等に対応するため、夏までに空調設置の業務を引き続き進めていきます。	学校施設課
	107	携帯用防犯ブザー購入費補助事業	市内在住または市内の学校に通う小中学生の安全確保のため、PTA等が防犯ブザーを購入する費用の一部を補助する	○各学校に防犯ブザー導入を呼びかけ、購入費の1/2（1個につき上限250円）を各学校の申請団体（PTA等）に補助し、普及を促進した。	○【成果等】 ○例年、6割以上の小学校から申請があり、事業として定着し、児童生徒の安全確保に寄与していると考えられる。	○防犯ブザーの有効性は高く、各校の購入希望も多いことから、今後も事業を継続していきます。	健康教育課
	108	児童生徒の安全確保事業	学校防犯巡視員（仙台・まもらいだー）、学校ボランティア防犯巡視員による見守り活動を行い、児童生徒の安全・安心の確保を図る	○学校防犯巡視員「仙台まもらいだー」27名（警察官OB）が、児童生徒の登下校時の見守り等の安全確保対策を実施した。 ○学校ボランティア防犯巡視員による見守り活動と募集活動を実施した。	○【成果等】 ○コロナ禍の影響による夏休みの登校日において、仙台まもらいだー及び学校ボランティア防犯巡視員の弾力的な運用により、間断のない見守り活動を実施した。	○仙台まもらいだーの校地内外での巡視活動を行います。 ○学校ボランティア防犯巡視員の見守り活動のほか、募集活動の継続により活動体制の充実を図ります。	教育相談課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1.子どものすこやかな成長を支える取り組みの充実, 子どもの安全・安心の確保							
(4) 子ども・若者の自立に向けた支援の充実							
1(4)①不登校・ひきこもりへの支援の充実							
1(4)①	109	仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」	経済的な問題を抱える方やひきこもり状態で社会に出るきっかけをつかみたい方等を対象として、相談に対しワンストップで対応する生活面の相談や仕事探しなど、一人ひとりに合った支援プランを考え、問題の早期解決を目指す	○新規相談受付件数5,161件 ○プラン作成件数2,538件（再プラン含む。）	○ 【成果等】 ○複合的な問題を抱えることが多い生活困窮者に対し、一人ひとりの状況に応じたプランを作成し、就労、生活その他の自立に関し、包括的・継続的な支援を行うことができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により増加している生活に困窮する方からの相談に対応するため、令和2年度よりアウトリーチ支援等を行うスタッフを追加配置するなど、相談支援体制を整えた。	○増加している生活困窮者への支援に対応するとともに、事業及び窓口の周知や、社会的に孤立していることの多い生活困窮者の早期把握のための地域及び関係機関との関係性構築に努めます。	保護自立支援課
1(4)①	110	ひきこもり地域支援センター事業	ひきこもり状態にある本人及び家族を支援するため、ひきこもり地域支援センターにおいて各種相談に応じるとともに、訪問等による支援、家族教室や相談会等の普及啓発活動を行う	○ひきこもり地域支援センターにおける相談支援実績 電話/来所/訪問等の相談件数 実352人、延1,866件 ○ひきこもり地域支援センターにおける集団プログラムの開催 本人向け/家族向け/市民向け等 計70回	○ 【成果等】 ○令和元年度に開催したひきこもり支援体制評価検討委員会の議論をもとに、本市の支援体制全体の課題を整理した。令和2年度は、これらの課題の解決に向け、ひきこもり地域支援センターを含むアーチル等の専門相談機関等で構成する「拠点機能」での取組みを始めており、おおむね順調に進行している。	○ひきこもり地域支援センターでの相談支援を継続するとともに、地域に出向いての相談会の充実を図る他、蓄積された相談事例をもとに効果的な支援方法、支援内容の類型化を進めます。	障害者支援課
1(4)①	111	精神障害保健福祉総合センター（はあとぼーと仙台）における支援	心理士・保健師・精神保健福祉士などが、ひきこもりや心の悩みや病気について、来所や電話での相談を受ける 個別相談のほか、ひきこもり状態の方のためのフリースペース、悩みを抱えた家族同士の話し合いなども行う	○来所相談：2,434件 ○所内電話相談：1,564件 ○はあとライン：3,053件 ○ナイトライン：8,379件 ○フリースペース：24回実施（月2回）、延べ47名参加 ○ひきこもり家族グループ：10回実施(6月より月1回)、延べ65名	○ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～5月は悩みを抱えた家族同士の話し合いを中止したが、その他の来所や電話での相談は継続し、ひきこもりの方のためのフリースペースも感染防止に留意しながら予定通り実施した。相談件数は前年度と同程度で推移しており、その他については年度当初感染症の影響によりやや参加者の減少がみられたが、徐々に昨年並みの水準へと戻っている。	○新型コロナウイルス感染症防止策を講じつつ、事業の継続に努めます。また、感染症の影響による相談の質、量の変化を注視し、その変化に応じながら相談体制の維持に努めていきます。	精神保健福祉総合センター
1(4)①	112	困難を抱えた青少年の居場所づくり		⇒ 整理番号074 参照			子供相談支援センター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(4)①	113	青少年自立支援事業	学校に行けない、学校に行っても安らげない、日中の居場所が欲しいなどの青少年が、日常的に通所して活動できる場として「ふれあい広場」を設置し、支援を行う また、就学や就労への意欲が高まった通所者への就学・就労支援を行う	○困難を抱える青少年に対し、居場所への通所やアウトリーチ、就労や就学の支援や保護者への支援など、それぞれのニーズに応じた支援を展開している。居場所では小集団での交流活動を中心に、創作活動や運動、社会体験活動などを展開し、延べ1,167人が通所した〔R元年度：1,072人〕。 ○子供相談支援センターリーフレットを作成し、ふれあい広場事業の周知するために配布した（10,000部）〔R元年度：9,000部〕。また、当センター広報紙「银杏坂タイム」「ふれ広だより」にふれあい広場での活動の様子や支援の進め方について記事に乗せ、月1回市内外571の関係機関に配布した〔R元年度：515〕。 ○各小・中・高等学校への周知を図るために、街頭指導活動に携わる青少年指導員への広報や、通所者を通じた学校の先生への事業周知を行った。	○【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により小集団活動を5月末まで取りやめたが、その間アウトリーチ及び電話・メール・LINEでの通所者と相談員の交流、また通所での個別対応を行ったことにより、元来ひきこもり傾向にある青少年と社会との接点を途切れさせることなく支援ができた。 ○広報のためのリーフレットは予定どおり作成し、令和2年5月末までに配布を完了している。一方で、教育委員会主催の各会議が軒並み中止、または紙面での開催となっているため、事業広報を別の形で可能とするよう検討中である。 ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月～5月までの小集団活動を行わなかったものの、前年と比較しても通所者の延べ人数は増加しており、市民のニーズも高い。 ○関係機関への事業周知が徐々に浸透してきており、支援依頼が各機関から多く入るようになった。特に、夏休み明けの学齢児の支援依頼が増えてきている。	○今後も引き続き市民のニーズに応じた様々な支援を続けながら、事業周知を重ねていきます。 ○中学校卒業後の行政直営の居場所として、高校中退のリスクが高い青少年や、卒業後の就労を希望する青少年、高校での学び直しにより将来の夢を叶えたい青少年のために、各関係機関と連携しながら支援を行っていきます。支援の必要な方がいれば、まずは状況を伺い今後の支援を検討するために相談を行います。また、訪問での相談も承りますので、ふれあい広場・サテライト3か所と連携を取りながら、進めていきます。月一回のペースで定例会を行い、運営方針や通所者のケースについてや合同研修会開催などスキルアップにつながる取組を始めています。	子供相談支援センター
	114	不登校児童生徒への支援の充実	学習面でのつまづきや人間関係の課題など不登校の背景にあるさまざまな要因に適切に対応するため、学校における居場所づくりや、学習支援の拡充、組織体制の強化など、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援の拡充を図る また、フリースクール等の学校外機関との連携を推進し、支援体制の強化を図る	○教職員ボランティアのハートフルサポーター（登録数：249名）による学習サポート事業（ハートフル土曜ひろば）また、学生による学習支援事業（土曜児遊の杜）を行った。 ○不登校児童生徒の学校における居場所（別室等）に対して、学校訪問相談員を派遣。（相談員5名 派遣校 小学校2校、中学校13校） ○フリースクール等との連携を図り、「民間施設情報交換会」を2回実施した。	○【成果等】 ○市内の不登校児童生徒が学習サポート事業に参加。教員による学習指導により、一人ひとりの状況に応じた支援を行うことができた。 ○学校訪問相談員は教職員と連携を図りながら、別室の運営に参加することができた。また、不登校児童生徒との交流により、相談員との信頼感を醸成した。 ○【事業に対する客観的意見・評価】 ○第1回民間施設情報交換会ではフリースクール14校と学校との連携に関する情報の交換を行い、第2回の情報交換ではフリースクールに加え、通信制高校等9校、公共の施設3カ所が施設の取組等について情報を共有した。	○不登校児童の居場所の一つである教室外学級（別室等）において、学校訪問相談員が一人ひとりの児童生徒と時間をかけて話しをすることにより、良好な関係を築くことができました。今後はより多くの学校を訪問し、教室との懸け橋になるよう取り組みを進めます。 ○教職員のボランティア（ハートフルサポーター）との協力に加え、大学や公共施設、民間団体等とも連携し、様々な体験活動を通して、児童生徒の自立を支えています。 ○進路相談会を行い、不登校児童生徒に進路選択の情報を提供します。	教育相談課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	1(4)①	115	適応指導事業（「児遊の杜」「杜のひろば」の運営） 不登校児童生徒や保護者の不安・悩みを受け止め、個に応じたさまざまな働きかけを通して、児童生徒の自立を支援するとともに、学校以外の居場所としての充実を図る また、不登校児童生徒や保護者等の電話相談、来所相談を実施する	○適応指導教室「杜のひろば」の入級児童生徒数:140名 ○適応指導センター「児遊の杜」で個別対応者数:45名 ○適応指導センター「児遊の杜」で訪問対応を行った児童生徒数:11名 ※3つの対応の合計人数:196名 ○「児遊の杜」「杜のひろば」における電話相談・見学相談・来所相談合計:404件【昨年428件】 ○「親の会」の実施(17回)延べ179名が参加【昨年184名】 ○「杜のひろば・広瀬」9月開級	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策として、6月より入級を受け付けた。また、宿泊行事等ひろばでの全体活動も行うことができず、体験を通じた入級生の支援に影響をきたした。同様に児遊の杜への相談件数も減少した。 ○個別対応(原則として週1回)に通っていた児童生徒の中には、週1回実施している「小集団的活動」(青空スペース)に参加することができるようになるなど、児童生徒の自立を支援することができた。 ○「親の会」は、同じ不安や悩みを抱えた保護者にとって、貴重な情報交換の場となった。	○全体活動も再開し、天文台学習や大倉での山歩き体験等、活動の充実を図ります。 ○不登校への不安や悩みについて、電話相談や来所相談対応を行い、継続して相談業務を行います。また、ホームページ等を活用した広報にも力を入れます。 ○「親の会」は、同じ不安や悩みを抱えている保護者にとって、貴重な情報交換の場となっており、年間を通して実施します。 ○サテライト方式で運営している適応指導センターの良さを生かしながら、受け入れ体制の充実を一層図っていきます。さらに、「杜のひろば・広瀬」の開級を通し、より多くの支援を行います。	教育相談課
1(4)②社会性の向上や就労等に向けた支援の充実							
	1(4)②	116	仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」	⇒ 整理番号109 参照			保護自立支援課
	1(4)②	117	青少年相談 青少年や保護者からの悩みや不安について電話・面接・メールで相談を受け、問題の整理や助言を行う また、相談の内容により必要に応じて専門機関を紹介するなど、青少年に関する相談に幅広く対応する	○対象の市民に電話相談を促すためのカード「ヤングテレホンカード」を作成し、配布した(100,000部) [R元年度:95,000部]。新型コロナウイルス感染症の影響により、悩みや不安を抱え家に居る青少年からの相談が入りやすくなるよう。カードの配布を例年より2ヵ月程前倒し、4月中に完了した。 ○感染症の影響により登校できなかった4～5月は、小中学生本人からの電話相談やメール相談が比較的多く入り、ヤングテレホン相談が令和2年度末で314件 [R元年度:433件]、青少年面接相談が令和2年度末で47件 [R元年度:28件]、メール相談が令和2年度末で123件 [R元年度:66件] となった。	○ 【成果等】 ○4月末までに各学校に配布したヤングテレホンカードは、学校閉鎖期間内の数日の登校日にそれぞれの家庭に配布していたことから、7月より相談件数が増加してきている。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○困難を抱える中学校3年生生徒の卒業後の支援について検討するために、当センター職員が訪問して教員や保護者と面接をしてきた。このことにより、当センターに支援依頼が継続して入るようになり、各関係機関にとって手厚い支援ができるものと期待を受けている。	○面接相談やメール相談については、継続的にケースと関わっていけるよう、当センターより積極的に相談を働きかけていきたいと思います。 ○今後不登校などにより進路が心配される中学校3年生の支援について、中学校と協議しながら切れ目なく支援を継続できるように、特に中学校3年生担任や進路指導を担当する教員への利用促進を図るために適応指導センター主催の進路相談会に参加したり広報紙で呼び掛けを行ったりしていきます。	子供相談支援センター
	1(4)②	118	青少年自立支援事業	⇒ 整理番号113 参照			子供相談支援センター
	1(4)②	119	青少年街頭見守り事業	⇒ 整理番号104 参照			子供相談支援センター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	1(4)②	120	市立高等学校におけるインターンシップ 高校生等に企業等での就業体験を通して、職業適性や将来設計について考える機会を提供するとともに、異世代とのコミュニケーション能力の向上を図る	○仙台工業高校のデュアルシステム、仙台高校のフェニックスプラン、仙台大志高校のボランティア活動（学校設定科目）など市立高校4校5課程及び特別支援学校で積極的に取り組んだ。  ※デュアルシステム：実践的な技能技術を身につけるために専門教育の中に企業実習を取り入れるインターンシップ。 ※フェニックスプラン：3年間の「総合的な学習の時間／総合的な探求の時間」を体系化した学校独自のキャリア教育プラン。 ※学校設定科目：高等学校では各校の実情に応じて学校設定科目を設置することができ、卒業に必要な単位数として算入できる。	▲  【成果等】 ○インターンシップについては鶴谷特別支援学校（75人）、仙台工業高校（12人）、仙台大志高校（4人）が実施している。今後は新型コロナウイルス感染症の影響で、受入先との調整の結果、実施時期の遅延及び中止もあると考えられる。社会情勢を見ながら学校と連携してインターンシップを実施していきたい。 ○デュアルシステムは仙台工業高校が実施している。また、仙台高校と仙台商業高校についても計画書が提出され、その計画に沿って今後実施される予定である。インターンシップと同様、今後は新型コロナウイルス感染症の影響で、受入先との調整の結果、実施時期の遅延及び中止もある。	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の授業や行事と受け入れ先企業及び事業所のスケジュールのミスマッチがあるかと思うが、今後もキャリア教育推進に向け、実施する各学校の校内委員会や分掌、学年に働き掛け、参加形態や時期の整備及び受け入れ企業等のさらなる開拓を進め、各校の特質を踏まえた、より効果的なインターンシップの在り方を模索していきます。	高校教育課
1(4)③代替養育を必要とする子どもへの対応の充実							
	1(4)③	121	児童養護施設等の小規模グループケア化の推進 本体施設の小規模グループケア化を図るとともに、地域小規模児童養護施設等の増設により、施設機能の地域分散化を進め、より家庭的な環境のもとでの養育を促進する	○小規模グループケア実施 4施設23グループ【R元年度：5施設21グループ】 ○地域小規模児童養護施設 11箇所【R元年度：9箇所】 ○ファミリーホーム 3箇所【R元年度：1箇所】	○  【成果等】 ○小規模グループケアの追加実施及び地域小規模児童養護施設、ファミリーホームの新規開設に関する施設からの相談に対応し、家庭的環境での養育推進に寄与した。	○平成24年11月に国から示された方針「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進のために」及び令和2年3月策定「宮城県社会的養育推進計画」、「仙台市社会的養育推進計画」に基づき、関係機関と協議を進めながら、児童養護施設等の小規模化・地域分散化の推進を図っていきます。	子供家庭支援課
	1(4)③	122	児童養護施設等における養育環境の向上 児童福祉法に規定する児童の施設への入所措置、または児童自立生活援助の実施を行った場合に、児童の養育上必要となる費用の支弁や施設整備への補助、運営等に関する指導・助言を行うことにより、児童の身体的、精神的及び社会的な発達のために必要な養育環境の確保・向上を図る	○児童相談所が措置した児童や、福祉事務所が母子生活支援施設に委託した母子世帯に係る措置費を、国基準に基づき支弁した。また所管する施設及び実施機関に対し、指導監査を行った。 ○支弁対象施設等 ・児童養護施設 ・地域小規模児童養護施設 ・乳児院 ・児童心理治療施設 ・児童自立支援施設 ・母子生活支援施設 ・自立援助ホーム ・ファミリーホーム ・里親	○  【成果等】 ○毎年拡充される措置費制度を各施設に周知し適正に支弁し、環境改善事業を実施した施設には補助金を交付するなど、安定した生活基盤の維持に寄与することができた。また指導監査により、適正な運営の確保とサービスの質の向上に努めることができた。	○児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正や職員の加配等、社会的養護の充実に向けた国の制度改正が進められている中、国の動向を見据えながら、引き続き適正な支弁・指導監査を行っていきます。	子供家庭支援課
	1(4)③	123	身元保証人確保対策事業 児童養護施設等に入所中または退所した児童等が、就職やアパート等を賃借する際に必要となる身元保証人の損害保険契約の保険料を負担することにより、身元保証人を確保し、児童等の社会的自立の促進を図る	○身元保証3人【R元年度：2人】	○  【成果等】 ○事業対象となる児童等に対し身元保証人を確保することにより、これらの者の社会的自立の促進に寄与することができた。	○保証人が得られない場合であっても就職やアパート等の賃借にあたって支障が生じることがないように、今後も当該事業の実施により児童等の社会的自立の促進を図っていきます。	子供家庭支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
1(4)③	124	児童養護施設等職員研修の実施	施設等に入所している児童や家庭への支援の質を確保するため、児童養護施設等の職員の研修体制を整備し、専門性の向上を図る	○新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止した。	▲ 【成果等】 ○講師予定者が新型コロナウイルス感染症の拡大により辞退あり。状況を見ながら開催を検討したが、講師確保等の調整がつかず、令和2年度は開催を見送った。	○新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が難しい状況ではありますが、職員の専門性向上や、参加職員同士の情報交換の場としても機能しており、今後も、継続して研修を実施できるようにしていきます。	子供家庭支援課
	125	児童養護施設等入所児童自立支援	児童養護施設等入所児童が将来経済的に自立して生活が営めるよう、就職支援や必要に応じて退所後のアフターフォローを行う	○委託事業者により、児童養護施設においてソーシャルスキルトレーニングを実施するほか、施設退所者や退所を控えた児童からの電話相談などに対応した。	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により、委託事業者による活動に遅れが出たり、事業回数が減少した。	○今後も児童養護施設や施設退所者のニーズに合わせて適切な支援を行い、児童の社会的自立の促進を図っていきます。また、コロナ禍でも自立へ向けた支援が実施できるよう、新たな事業の実施方法を検討していきます。	子供家庭支援課
	126	里親支援事業	里親登録者の増加を図り、里親やファミリーホームへの委託を推進するとともに、里親支援専門相談員の配置や研修の実施等によって、里親への支援を充実させる また、代替養育を必要とする子どもが地域の中で十分な理解を得ながら育まれるよう、市民に対する里親制度の普及・啓発に努める	○里親支援専門相談員は市内児童福祉施設6施設すべてに配置。 ○里親登録研修は年2回予定のうち新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前期分を中止。後期分のみ開催した。 ○里親制度の普及・啓発として、制度について知りたい人や里親希望者向けの説明会を新たに実施。	○ 【成果等】 ○里親登録研修を除いておおむね実施できた。	○今後も平成24年11月に国から示された方針「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進のために」に基づき、計画的に関係機関と協議を進めながら、家庭的養護の推進を図っていきます。	子供家庭支援課
1(4)③	127	児童虐待に係る児童相談所の体制・機能強化		⇒ 整理番号096 参照			児童相談所相談指導課, 児童相談所保護支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2.妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実							
(1) 子どもがすこやかに生まれ育つための保健・医療の充実							
2(1)①母子保健の充実							
2(1)①	128	子どもの感染症の予防（予防接種の推進）	子どもがかかる感染症を予防するため、麻しん等の定期予防接種を推進する	<p>○小学校の協力により、小学校入学の準備に併せて、就学時健診及び入学前説明会の際に接種対象者の保護者に対して麻しん風しん予防接種の勧奨を行ったほか、小学校3年生の接種対象者に対して日本脳炎予防接種の勧奨を、小学校6年生の接種対象者に対してジフテリア破傷風予防接種の勧奨を行った。</p> <p>○幼稚園・保育所の協力により、保護者に対して麻しん風しん第2期予防接種の勧奨を行った。</p> <p>○高校3年生相当年齢の対象者に対して日本脳炎予防接種の個別通知を行った。</p>	<p>○【成果等】</p> <p>○乳児期を過ぎた後に対象期間が到来する定期予防接種について、小学校等の協力や個別通知により接種勧奨を実施した。</p> <p>○麻しん風しん第2期接種率：96.2%</p> <p>○【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○麻しん風しん第2期の接種率は令和元年度(93.0%)から増加した。なお、全国平均接種率は回答時点では未公表。</p>	○引き続き、学校等との連携や個別通知を実施し、継続して予防接種の推進を図ります。	感染症対策室
2(1)①	129	3歳児カリエスフリープロジェクト		⇒ 整理番号024 参照			健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
2(1)①	130	子どもの歯と口の健康づくり推進		⇒ 整理番号025 参照			健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
2(1)①	131	幼児の肥満対策		⇒ 整理番号026 参照			健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
2(1)①	132	受動喫煙防止対策		⇒ 整理番号103 参照			健康政策課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(1)①	133	食育推進 (食育の啓 発)	子どもたちのすこやかな心身の発達及び親自身の健康増進のため、妊娠期も含めたさまざまな機会を捉えて相談や体験、交流等を通じた食育を推進する	<p>■健康政策課 ○食育推進事業については仙台市食育推進会議を中心に関係団体・各課と連携を図り取組を進めている。令和2年度は11月30日に会議を開催。</p> <p>■子供保健福祉課 ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課実績のとおり</p>	<p>▲</p> <p>■健康政策課 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、体験を伴う食育事業については中止が多かった。相談等については、対象を絞って実施や電話相談を中心に実施するなど手法を変更して実施したが、食育の啓発機会としては減少した。</p> <p>■子供保健福祉課 【成果等】 ○各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課にて実施</p>	<p>■健康政策課 ○11月以降に仙台市食育推進会議の開催（予定）により関係団体・各課との情報共有の上、食育を推進します。イベント等が中止のため、啓発機会について検討しながら実施していきます。</p> <p>■子供保健福祉課 ○今後も各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課にて実施していきます。</p>	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
	133			<p>■青葉区 ○市民協働で作成した常備菜レシピ集を活用し、バランスの良い食事摂取についての普及啓発を行った。 ①管内専門学校向けのニュースレターに記事を掲載【令和2年度：2回】 ②当課事業（あおば健康づくり講座、母親教室）にて、講話や講座を実施【令和2年度：合計5回】 ③片平市民センターとの共催事業は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。代わりに啓発資料を作成し、片平市民センターのホームページへの掲載と片平小学校全校生徒（600名）へ配布を行った。 ④福沢市民センターとの共催事業を11月に実施し、幼児親子を対象に講話とデモンストレーションを行った。【8組参加】 ⑤仙台市ホームページと健康政策課facebookに記事を掲載。 ○幼児食相談会（1歳～1歳4か月対象・予約制）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月は中止。8月より再開した。【令和2年度：4回、11組参加】（R元年度：5回、33組参加） ○食育情報交換会（保育施設の食育担当者が対象、宮城総合支所と共催）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止。代わりに、6月の食育月間に食育の資料を128施設に送付。（R元年度：42名参加）</p>	<p>▲</p> <p>■青葉区 【成果等】 ○あおば健康づくり講座では、幼児を持つ保護者を対象とし、小さい子ども向けの調理アレンジを説明した。 ○幼児食相談会は、感染症対策を徹底し、定員を減らして実施した。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ○あおば健康づくり講座は定員10名に対し、申込みが3名と少なかった。子どもの食事の相談は電話等で一定数あるため、新型コロナウイルス感染症を警戒し外出するのを控えていると思われる。参加者2名については、アンケート結果より「実行したい」「バランスの良い食事は大切だと思う」という回答が得られており、満足度が高かった。</p>	<p>■青葉区 ○感染症対策を徹底していることを広報等で周知し、参加者が安心して参加できるよう図っていきます。 ○常備菜レシピ集を活用した講座を11月に木町通市民センターと共催にて実施していきます。</p>	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
	133			<p>■宮城総合支所 ○食育月間でのパネル・ポスターの掲示による啓発 ○幼児健診での栄養相談 1歳6か月77件、2歳6か月16件、3歳53件 ○1歳児歯科保健教室での栄養講話 5回39組 ○訪問による栄養相談10件 ○電話・窓口での栄養相談（妊産婦・乳幼児）55件</p>	<p>▲</p> <p>■宮城総合支所 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から教室等が中止となった場合でも、電話等での個別相談の機会を設けて対応した。集団への啓発がなかなかできない状況だったため、電話・窓口での個別の相談は令和元年度よりも件数は増加しているが、全体としての実績は減少していると考えられる。</p>	<p>■宮城総合支所 ○個別相談の充実を図るとともに、教室等の運営については、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じ、柔軟に対応していきます。</p>	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(1)①	133	食育推進 (食育の啓 発)	子どもたちのすこやかな心身の発達及び親自身の健康増進のため、妊娠期も含めたさまざまな機会を捉えて相談や体験、交流等を通じた食育を推進する	<b>■宮城野区</b> ○食育月間事業（パネル展、庁内放送等による情報発信、啓発） ○幼児健診時の食生活相談 1歳6か月 281件（R元年度308件）3歳104件（R元年度56件） ○育児相談等開設時の食生活相談 30件(R元年度101件) ○訪問による栄養指導（妊産婦・乳幼児等）24件（R元年度87件） ○電話・窓口等での食生活相談(妊産婦・乳幼児)194件（R元年度75件）	▲	<b>■宮城野区</b> ○感染症対策をとったこと、宮城野区役所の施設設備の事情から食育月間事業のパネル展示は縮小し実施。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の教室等が中止となった。電話・窓口での個別の相談は前年度よりも件数は増加したが、全体としての実績は変わらなかった。	<b>■宮城野区</b> ○個別相談の充実を図ります。 ○教室は内容を見直し、健康教育は実施時期、実施方法等を検討し、感染症対策を講じた上で実施します。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
	133			<b>■若林区</b> ○食育ホームページによる情報発信 ○食育月間事業（パネル展、庁内放送等による情報発信、啓発） ○両親教室で啓発・指導 4回、43人 ○幼児健診時の食生活相談 1歳6か月188件、2歳6か月29件、3歳93件 ○育児相談等開設時の食生活相談 57件 ○訪問による栄養指導（妊産婦・乳幼児等）25件 ○電話・窓口等での食生活相談(妊産婦・乳幼児)68件	▲	<b>■若林区</b> <b>【成果等】</b> ○親子を取り巻く様々な機会をとらえて啓発、相談、健康教育等を行い、健康的な食生活について普及・啓発することができたが、中止や延期になっているものがあるため、前年度より実績は減少している。	<b>■若林区</b> ○徐々に集団指導等の場が再開されつつあるため、そのような機会をとらえて普及・啓発を行っています。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
				<b>■太白区</b> ○食育ホームページによる情報発信 4回更新 ○食育月間事業（パネル展、庁内放送等による情報発信、啓発） ○幼児健診時の食生活相談 1歳6か月220件(R元年度186件),2歳6か月 105件(R元年度135件), 3歳 127件(R元年度102件) ○育児相談等開設時の食生活相談 38件(R元年度45件) ○電話・窓口等での食生活相談（妊産婦・乳幼児）207件(R元年度145件) ○B C G, 幼児健診待ち時間でビデオ上映 ・B C G(離乳食動画) 18回 ・幼児健診(生活リズムと食事バランスの人形劇動画)78回 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問栄養指導、妊婦・幼児への集団指導を中止。訪問栄養指導は感染症対策を講じ9月から希望者に対して実施。 ○せんだいTube, 太白区チャンネルで離乳食レシピ動画2編, 食育動画(地元野菜と野菜親子レシピ) 動画4編公開。	○	<b>■太白区</b> <b>【成果等】</b> ○感染症対策としてホームページやビデオ上映を活用することで、健康的な食生活について普及・啓発することができた。	<b>■太白区</b> ○今後も児童生徒や若い世代、子育て世代の食への関心を高めるため、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら食育活動を展開します。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(1)①	133	食育推進 (食育の啓 発)	子どもたちのすこやかな心身の発達及び親自身の健康増進のため、妊娠期も含めたさまざまな機会を捉えて相談や体験、交流等を通じた食育を推進する	<b>■秋保総合支所</b> ○幼児健診受診者74名へ啓発実施	<b>▲</b> <b>■秋保総合支所</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集団指導が実施できないため、資料配布・掲示を行った。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○待ち時間に掲示を見ている保護者もあり、現状においての啓発方法としては適切であると考え。一方で、例年実施していた学校や保育所等との会議や連携事業が開催できず、予定通りには進められない事業もある。	<b>■秋保総合支所</b> ○今後も継続して啓発を行います。	健康政策課, 子供保健福祉課, 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課
				<b>■泉区</b> ○食育月間事業(パネル展) ○幼児健診時の食生活相談 1歳6か月 181件 2歳6か月 29件 3歳 126件 ○訪問栄養相談 乳幼児 29件 ○電話・窓口での食生活相談 乳幼児 135件 ○母親教室 4回実施 33名参加 ○育児相談 27件 ○健康教育 離乳食について 1回 参加者5組			
2(1)①	134	助産制度の 運営	妊産婦が保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由で出産の費用が準備できない場合に、所管の福祉事務所が助産施設における助産を実施する	<b>■子供家庭支援課</b> ○【令和2年度実績】84件 (青葉区25件,宮城総合支所1件,宮城野区17件,若林区11件,太白区21件,泉区9件)	<b>○</b> <b>■子供家庭支援課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、出産費用が準備できない世帯も助産施設において安心して出産を迎えることができた。	<b>■子供家庭支援課</b> ○今後も低所得世帯において安全な出産ができるよう、円滑に制度を実施してまいります。	子供家庭支援課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
2(1)①	135	幼児健康診 査等に併せ て行う心のケ ア対策		⇒ 整理番号012 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
2(1)①	136	乳幼児健康 診査		⇒ 整理番号086 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
2(1)①	137	妊娠の届出 と母子健康 手帳の交付		⇒ 整理番号087 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(1)①	138	新生児等訪問指導（エジンバラ産後うつ病質問票の全数実施）		⇒ 整理番号088 参照			子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課	
	139	乳幼児健康診査未受診者対策		⇒ 整理番号089 参照			子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課	
	140	健診後のフォローの充実		⇒ 整理番号090 参照			子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課	
	141	妊娠等に関する相談事業（せんだい妊娠ほっとライン）		⇒ 整理番号091 参照			子供保健福祉課	
	142	先天性代謝異常検査事業	先天性代謝異常や先天性甲状腺機能低下症等を早期に発見し、早期の治療につなげるために、血液による検査を実施する	○先天性代謝異常検査：8,011件【8,158件】 ○先天性副腎過形成症検査：8,118件【8,335件】 ○先天性甲状腺機能低下症検査：8,026件【8,170件】 ※【】内はR元年度実績	○	■子供保健福祉課 【成果等】 ○これまでと同様の実績であり、本検査の周知は十分なされていると考えられる。	■子供保健福祉課 ○検査事業の実施により、疾病の早期発見・早期治療に寄与することができました。今後も受検率の維持向上に努め、周知を継続実施していきます。	子供保健福祉課
2(1)①	143	遺伝カウンセリング	遺伝についての不安や悩みを持つ者に対して、結婚や妊娠等への適切な判断ができるよう、区役所等における一次相談及び臨床専門医による二次相談を実施する	■子供保健福祉課 ○一次相談：47件【104件】 ○二次相談：3件【5件】 ※【】内はR元年度実績	○	■子供保健福祉課 【成果等】 ○各区家庭健康課での一次相談に加え、二次相談として臨床専門医から遺伝の専門的な相談を行うことで、遺伝について不安や悩みを抱える方が正しい知識を得ることにつながった。	■子供保健福祉課 ○遺伝について不安や悩みを持つ方に対し、適切な助言指導をすることができました。今後も遺伝に関する不安を抱える方を支援するために、助言指導を今後も継続して実施していきます。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	144	産後ケア事業	生後4か月未満の乳児を抱える産婦であって、家族等から十分な家事及び育児などの援助が受けられず、産後に心身の不調又は育児不安等がある者（ただし、医療行為の必要がある者を除く）を対象に、市内の産科医療機関・助産所で宿泊（宿泊型）または日帰り（デイサービス型）で心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図る	■子供保健福祉課 ○宿泊型：延625日【R元年度:399日】 ○デイサービス型：延439日【R元年度:192日】	○	■子供保健福祉課 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用受け入れに制限のある委託先施設もあるが、継続して実施できている。 ○母子健康手帳交付時や新生児訪問時等の周知に加え、さらなる認知度の向上のための工夫が必要である。	■子供保健福祉課 ○継続して事業の周知を行います。 ○新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、円滑な実施のため、各区・総合支所担当者会議や委託先医療機関担当者との情報交換を実施します。	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(1)①	145	産婦健康診査	産後うつ予防や新生児等への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査にかかる費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>産後2週間頃： 5,611件【6,137件】</li> <li>産後1か月頃： 6,516件【6,463件】</li> <li>里帰り産婦健康診査： 1,183件【1,043件】</li> <li>※【】内はR元年度実績</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○産婦健康診査の実施により、早期に心身の不調がある妊婦について、医療機関から連絡が入ることになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○今後も産婦健康診査を継続して実施し、産後早期に心身の不調がある場合は支援していきます。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	146	不妊・不育専門相談センター事業	不妊や不育症で悩む夫婦等に、その健康状態に応じた相談指導、不妊・不育症に関する治療や実施医療機関等についての的確な情報を提供し、併せて精神的・身体的な相談に対応できる体制を整備することで、不妊・不育症の悩みや不安の軽減を図ることを目的に、不妊・不育専門相談センターを設置する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○電話相談件数</li> <li>・延べ件数:118件[R元年度：88件]</li> <li>○面接相談件数</li> <li>・延べ件数:5件[R元年度：1件]</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○宮城県と共同で設置しており、市HPへの情報掲載や、区・総合支所窓口及び指定医療機関へ配布している特定不妊治療費助成制度周知のチラシへ案内を掲載することで、周知を図ることができた。</li> <li>【事業に対する客観的意見・評価】</li> <li>○不妊・不育症で悩む夫婦等に、不妊・不育症に対する的確な情報提供を提供するとともに、精神的・身体的な相談に応じることで、不妊・不育症の悩みや不安の軽減に寄与していると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○引き続き、指定医療機関を通じた制度周知や、チラシやホームページ等の活用により、広報に努めます。</li> </ul>	子供保健福祉課
	147	区役所等における発達相談の機能強化	発達に関する保護者の不安や困りごとに対し、きめ細かな相談支援を行うことにより、切れ目のない支援の充実を図る また、5歳児を対象とした発達相談事業を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○5歳児を対象とした発達相談事業(5歳児発達相談事業)</li> <li>開催回数：35回</li> <li>相談者数：実67人 延70人</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○新型コロナウイルス感染症対応のため、5歳児発達相談事業の開始を延期し、1月から試行開始とした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○令和2年度に開始した5歳児発達相談事業について、令和3年4月から対象者への個別通知を行い、本格実施をしています。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	148	妊婦健康診査	妊娠中の身体の異常の早期発見、早期治療等を促進するとともに、妊婦の保健管理の向上を目的として14回分の助成を行い（県外で受診した分については償還払いにより対応）、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○仙台市医師会委託分：85,534件【88,811件】</li> <li>○助産所委託分：183件【404件】</li> <li>○里帰り妊婦健康診査助成：5,681件【6,153件】</li> <li>※【】内はR元年度実績</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○妊婦健康診査に対する助成を実施することで、妊婦の保健管理の向上及び妊婦家庭の負担軽減に寄与することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○妊婦健康診査に対する助成を行ったことにより、妊婦の保健管理の向上とともに、子育て世帯の経済的な負担の軽減に寄与することができました。</li> <li>○今後も、妊娠中の身体の異常の早期発見、早期治療等を促進するとともに、妊婦の保健管理の向上を図るため、助成制度を実施していきます。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	149	妊婦歯科健康診査	う蝕や歯周疾患が多発する傾向にある妊婦を対象として、歯科健診、歯科保健指導を行うことにより、家族ぐるみの歯と口の健康づくりを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○受診者数 3,170人 [R元年度：2,954人]</li> <li>※平成28年8月より委託化</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○妊婦歯科健康診査を実施することで、妊婦本人の歯科保健の向上に寄与することができた。</li> <li>○これから生まれてくる子どもを含めた家族の歯と口の健康づくりへの動機づけになった。</li> <li>○委託化により受診機会が増え、かかりつけ歯科医の推進に寄与することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○妊婦本人とこれから生まれてくる子どもを含めた家族の歯科保健の向上に寄与することが出来ました。</li> <li>○登録医療機関で受診できることを関係機関に周知し、受診率の向上を図り、かかりつけ歯科医の推進を図ります。</li> <li>○今後も、妊婦本人の歯科保健の向上を図るとともに、生まれてくる子どもを含めた家族の歯と口の健康づくり推進のため、事業を継続実施します。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(1)①	150	事故予防対策の推進	乳幼児健康診査や各種教室，新生児訪問などの事業において，子どもの事故予防の教材配布や保健指導を実施し，事故予防の普及啓発を強化する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため，令和2年3月から集団で行う事業を中止・休止しており，3～4か月児育児教室対象者には教室で配布する資料を送付し，事故予防の啓発を継続している。幼児健康診査は6月中旬から再開し，3密を避けるために集団指導を中止したが，資料の配布による啓発を再開した。	<b>▲</b> <b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，母子保健事業の中止や規模の縮小がある中で，資料の配布等により，事故予防啓発を継続している。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○今後も，資料の配布等による事故予防の啓発を継続いたします。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 青葉区</b> ○3～4か月児育児教室中止案内に「わが家の安心ガイドブック」を同封し配布。【1,440部】 ○新生児訪問指導時に事故予防の注意喚起を実施。【1,364件】	<b>▲</b> <b>■ 青葉区</b> <b>【成果等】</b> ○新型コロナウイルス感染症のため，3～4か月児育児教室が休止となり，専門職から事故予防についての集団講話が休止となっている。しかし，電話や訪問時の個別相談時に注意喚起を行うことができた。 ○「わが家の安心ガイドブック」を送付することにより，事故が起きやすい月齢になる前に事故予防について注意喚起することができた。	<b>■ 青葉区</b> ○新生児訪問指導時・3～4か月児育児教室のフォロー時・育児相談場面にて，事故予防について注意喚起します。 ○引き続き「わが家の安心ガイドブック」を送付します。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 宮城総合支所</b> ○新生児訪問指導において，生活環境に応じた事故予防策を指導。 ○3～4か月児育児教室，1歳6か月児健康診査における集団指導は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止，休止。 ○3～4か月児育児教室の中止案内や，1歳6か月児健康診査の日程案内に事故予防のパンフレットやチラシを同封。 ○地区健康教育において，チラシを用いて普及啓発を実施。	<b>▲</b> <b>■ 宮城総合支所</b> <b>【成果等】</b> ○新型コロナウイルス感染症のため，3～4か月児育児教室が中止となり，専門職からの事故予防についての集団講話は休止が続いている。しかし，教室対象者全員に電話相談の際に注意喚起を行うことができた。	<b>■ 宮城総合支所</b> ○今後も，新生児訪問等の機会を活用し，事故予防に関する普及啓発を行ってまいります。 ○3～4か月児育児教室再開までは引き続き，電話相談での事故予防の注意喚起を行ってまいります。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 宮城野区</b> ○新生児訪問や幼児健康診査のなかで，事故予防の指導を実施。3～4か月児育児教室については，事故防止についての資料を送付し，啓発に努めている。	<b>○</b> <b>■ 宮城野区</b> <b>【成果等】</b> ○健診では，アンケートにおいて，事故防止対策を行っていないと回答した保護者に対し，問診時に個別指導を行い，事故予防への意識を高めている。	<b>■ 宮城野区</b> ○今後も機会をとらえて，事故予防の普及啓発に努めます。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 若林区</b> ○新型コロナウイルス感染症予防のため，教室や幼児健康診査の集団指導を中止しており，事故予防啓発の機会が少ない。 ○個別支援の際には，事故予防の説明を行っている。	<b>▲</b> <b>■ 若林区</b> <b>【成果等】</b> ○集団で健康教育を行う機会は少なくなったが，個別での啓発は継続して行うことができています。	<b>■ 若林区</b> ○今後も機会を捉えて，成長段階に合わせた事故予防の普及啓発を行ってまいります。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課			
2(1)①	150	事故予防対策の推進	乳幼児健康診査や各種教室，新生児訪問などの事業において，子どもの事故予防の教材配布や保健指導を実施し，事故予防の普及啓発を強化する	<b>■ 太白区</b> ○防災・事故予防ワーキング：2回実施〔令和元年度2回〕 ○各種母子保健事業において，防災・事故予防リーフレットを配布。 ○防災講座・事故予防講座 1回14人〔R元年度8回 99人〕	▲	<b>■ 太白区</b> 【成果等】 ○地域の子育て関係者，子育て中の母親を含むワーキングを実施した。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，令和2年度の子育てサロン等での防災・事故予防講座は規模を縮小して実施した。	<b>■ 太白区</b> ○昨今の自然災害の状況を踏まえ，防災リーフレットに水害対策を追加することを，ワーキングメンバーとともに検討してまいります。 ○今後も，リーフレットの配布等を通して，子どもの事故予防の普及啓発に努めます。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課		
				<b>■ 秋保総合支所</b> ○3～4か月児育児教室対象者に事故予防のパンフレットを送付。 ○幼児健康診査や育児グループが使用する会場に子供の成長段階に応じた事故予防ポスターを掲示し，普及啓発を強化した。		<b>■ 秋保総合支所</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により，乳幼児健康診査での集団指導が実施できないが，リーフレットを対象家庭に送付することにより，事故予防の普及啓発を強化することができている。			<b>■ 秋保総合支所</b> ○3～4か月児育児教室対象者に事故予防のパンフレットを送付する他，乳幼児健康診査の際，子供の成長段階に応じた事故予防について継続した普及啓発を実施します。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 泉区</b> ○児童館主催健康教育時，事故予防の講話実施3組参加		<b>■ 泉区</b> 【成果等】 ○例年と比べ健康教育の依頼が少ない。依頼されたことも中止や延期となっている。 ○3～4か月児育児教室が中止しており，指導の機会が減少している。			<b>■ 泉区</b> ○今後の健康教育の依頼により事故防止の必要性を普及啓発していきます。	
産後の助産師等による相談事業（せんだい助産師サロン）	育児に不安や悩みを抱えていたり，身近に相談できる方がいない産婦に対し，助産師等の専門職が不安や悩みを傾聴し，相談支援を行うことで，産婦及び産婦の育児を尊重するとともに，不安や生活上の困りごとを軽減する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたものを，令和2年8月から感染予防策を行い，個別相談制に変更して再開。 開催予定回数：56回 開催回数38回【49回】 参加者数：147人【442人】 ※【】内はR元年度実績	▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，令和2年3月から中止していたものを，3密を避けて実施可能な方法として，個別相談制に変更し，令和2年8月から再開したが，感染症の流行による外出自粛の影響もあり，参加者は少なかった。また，個別相談よりも交流を希望する声が寄せられた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症の拡大により，令和3年3月26日からのびすくが休館となったことを受けて，4月から感染症が拡大している期間はオンラインによる開催に変更し，感染症の流行が落ち着いている期間はのびすくでの対面による開催としています。	子供保健福祉課				
特定妊婦と疑われる者に対する産科受診等支援	特定妊婦(出産後の養育について，出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦)と疑われる者に対し，産科等医療機関への受診同行支援を行う	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○妊娠に悩む者からの相談があった場合，区役所・総合支所で，必要に応じて相談や受診同行等の支援を行っている。 ○特定妊婦と疑われる者に対して，保健師等が産科等医療機関へ受診同行し，妊娠確認のための検査費用の一部を助成する「産科受診等支援」について，事業として整理し，令和2年度に開始予定であったが，新型コロナウイルス感染症対応のため実施に至らなかった。		▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> 【成果等】 ○特定妊婦と疑われる者に対する，産科等医療機関への受診同行支援事業の開始に向けた検討・調整が，新型コロナウイルス感染症対応のため遅れ，実施に至らなかった。		<b>■ 子供保健福祉課</b> ○特定妊婦と疑われる者に対する，産科等医療機関への受診同行支援事業の年央での開始に向けて，引き続き検討・調整を行っていきます。	子供保健福祉課， 各区家庭健康課， 各総合支所保健福祉課		

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(1)②小児医療，学校保健の充実							
2(1)②	153	子どもの感染症の予防（予防接種の推進）		⇒ 整理番号128 参照			感染症対策室
2(1)②	154	子どもの感染症の予防（集団感染対策）	保育施設・小学校等における，ノロウイルス等の集団感染対策の推進及び発生予防策の啓発を図る	○市内小学校，保育施設等での感染性胃腸炎の集団発生について，各区管理課の調査結果をもとに，公表し，注意喚起を行った。 ・公表回数：28件	○  【成果等】 ○関係部署との連携のもと、感染症の集団発生の発生状況についてホームページ等を通じて公表を行う事により、感染症対策に係る市民の注意喚起につなげることが出来た。	○インフルエンザ予防啓発ポスターを市内保育所，幼稚園，小中学校に配布します。 ○感染性胃腸炎については，流行期前に注意喚起の文書を保育施設，市内学校へ，施設所管課を通して送付します。	感染症対策室， 各区管理課
2(1)②	155	子どもの感染症の予防（性感染症対策）	10代の若者が性感染症を予防でき，早期発見・治療を行うことができるよう，性感染症及びHIVに関する正しい知識の普及啓発を推進する	■健康安全課 ○HIV検査件数及び20代以下の受検者割合 ・検査件数 510件 ・20代以下の検査件数（割合） 235件（46%） ○HIV/エイズ新規発生届出数 ・HIV感染者7件，エイズ患者1件 うち，20代以下の感染者届出件数 2件 ○3施設（小学校1，高等学校1，自立支援施設1）で健康教育を実施した。	▲  ■健康安全課 【成果等】 ○保健所の新型コロナウイルス感染症対策のため，4月より一部検査を休止。また，継続中の検査においても，感染対策の観点から受検人数を縮小して実施している。 ○受検ニーズの高い夜間・休日の検査を，感染対策に留意しながら継続しており，必要な方に検査が届くよう取り組みを継続している。	■感染症対策室 ○新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮しながら，検査の実施方法について検討していきます。 ○教育機関等と連携しながら，正しい知識の普及啓発の推進に取り組んでいきます。	感染症対策室， 各区管理課
2(1)②	156	在宅当番医制事業	安心して子どもを生子，すこやかに育てることができる環境の基盤となる小児科の救急医療体制の確保を目的とし，仙台市医師会の協力により実施している在宅当番医制事業において，日曜及び祝日等に小児科の診療所が当番制で診療を行う	○日曜及び祝日等の当番実施回数 2医療機関×72日 = 144回	○  【成果等】 ○予定通り，日曜及び祝日等に当番が実施されている。	○引き続き，日曜及び祝日等において小児科の在宅当番医制を実施し，小児科の救急医療体制の維持に努めています。	健康政策課
2(1)②	157	小児救急医療体制の充実	夜間休日子ども急病診療所を市立病院に併設することで，救命救急センターと連携して，小児救急医療を総合的に提供する	○令和2年度夜間休日子ども急病診療所患者数 7,020名（前年23,649名）	○  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により，患者数の大幅な減少がみられるものの，小児救急医療の提供については，予定通り総合的に実施されている。	○引き続き，救命救急センターと連携し，総合的な小児救急医療の提供に努めています。	健康政策課
2(1)②	158	保健教育の充実		⇒ 整理番号014 参照			健康教育課
2(1)②	159	児童生徒の心のケア推進事業		⇒ 整理番号019 参照			教育相談課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
<b>2.妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実</b>							
<b>(2) 子育て負担軽減と家庭の子育て力向上のための取り組み</b>							
<b>2(2)①子育てに関する不安・負担の軽減</b>							
	2(2)① 160	仙台すくすくサポート事業	ファミリー・サポート・センター事業（子どもを預かってほしい方（利用会員）と子どもを預かることができる方（協力会員）双方の信頼関係のもとに実施する子育て支援活動事業。本市が事務局となり仲介等を行う。）を実施し、子育て負担の軽減や、身近な地域の子育て支援の充実を図る	○会員数 【令和3年3月末現在】 ・利用会員 2,863人 [R元年度：3,008人] ・協力会員 450人 [R元年度：456人] ・両方会員 117人 [R元年度：121人] ○入会説明会の開催，会員向け講習会等を実施（令和2年4月～5月は中止）。 ○活動状況 ・活動回数合計9,197回 [R元年度：10,580回]	○    【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症への対応のため，入会説明会や会員向け講習会等については，通常より少ない人数で開催するほか，書面交付による代替対応も行い，入会を希望される方のニーズに応える体制を整えた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により，活動回数は対前年比約85%の実績になっているが，新たに利用を希望する申込が300名以上ある等利用ニーズは高い。	○援助の内容及び時間帯が重複したり，協力会員の偏在でマッチングに困難を来している地域が見受けられます。マッチングを円滑に行えるよう，協力会員の募集案内を行うなどにより，引き続き，不足する協力会員の増員を図ります。	子供未来局総務課
	2(2)① 161	のびすく運営	のびすく（子育てふれあいプラザ等）において，乳幼児親子の交流の場の提供，乳幼児の一時預かり，子育てに関する相談支援や情報の収集及び提供等を行うことにより，子育てに対する不安や負担の軽減を図る	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，臨時休館した期間（令和2年4月1日から5月31日及び令和3年3月26日から3月31日）があったほか，開館時には，入場制限・事前予約制としたため，例年よりも利用者数減となった。 ○のびすく利用者数（ひろば・一時預かり合計）52,382名 [R元年度：195,651名] [内訳]のびすく仙台 10,067名 のびすく宮城野 8,548名 のびすく若林 8,558名 のびすく長町南 12,232名 のびすく泉中央 12,977名	▲    【成果等】 ○コロナ禍においても，のびすくのひろば，情報提供や相談業務など，様々な面から子育て支援を行うことにより，子育て中の保護者の不安軽減に寄与することができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○利用者アンケートでは，「のびすくでたくさん友達ができた」，「悩んでいる時に相談に乗っていただき，アドバイスのおかげで解決した」等の声をいただいたほか，のびすくの利用に関して，97.1%の方から大変満足または満足との回答をいただいた。	○今後も，様々な面から子育て支援を行い，子育て中の保護者の不安・負担の軽減に寄与できるよう努めます。	子供未来局総務課
	2(2)① 162	のびすくにおける発達気になる子どもを持つ親の支援	子どもの発達に不安を抱える保護者に対し，のびすく（子育てふれあいプラザ等）において，気軽に相談や交流等ができる場の提供を行う	○子どもの発達に関する相談のニーズは高まっており，これに対応し，実施回数及び参加人数ともに令和元年度実績を上回った。 ○実施回数：26回（174名参加） [R元年度：12回（90名参加）] [内訳] のびすく仙台：「障がい児ひろば」など 9回（41名参加） のびすく宮城野：「すまいるタイム（発達相談）」など 4回（31名参加） のびすく泉中央：「発達の相談をしてみよう！」など 13回（102名参加）	○    【成果等】 ○コロナ禍においても相談や交流ができる場の提供を行うなど，発達が気になる子どもを持つ親の子育てに対する不安や負担感を軽減することができた。	○市民にとって身近な「のびすく」で事業を実施することで，発達が気になる子どもを持つ親の子育てに対する不安や負担感を軽減することができました。今後も取り組みを継続していきます。	子供未来局総務課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)①	163	子育て支援 ショートステイ事業	小学校修了前の児童を養育している保護者が、疾病や育児疲れ等により、その養育が一時的に困難になった場合に、一定期間施設で児童を保護・養育する	■ 子供家庭支援課 ○【令和2年度実績】 2歳未満延べ日数：55日 2歳以上延べ日数：107日	▲ ■ 子供家庭支援課 【成果等】 ○実施施設は施設の実情に応じた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能な範囲で利用者を受け入れているものの例年どおりの受け入れは行えておらず、例年と比べて利用延べ日数に大幅な減少がみられる。	■ 子供家庭支援課 ○今後も可能な範囲で利用者を受け入れてもらいながら、円滑な事業運営に努め、引き続き子育て支援ニーズに応えてまいります。	子供家庭支援課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
	164	新生児等訪問指導（エジンバラ産後うつ病質問票の全数実施）		⇒ 整理番号088 参照			子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
	165	育児ヘルプ家庭訪問事業		⇒ 整理番号092 参照			子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
	166	女性のための健康支援教室		⇒ 整理番号093 参照			子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
	167	多胎児等を育てる保護者のための育児サークル等支援		⇒ 整理番号064 参照			子供保健福祉課、 各区家庭健康課
	168	産後ケア事業		⇒ 整理番号144 参照			子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)①	169	母親教室・ 両親教室の 充実	妊婦等が、妊娠・出産・育児について必要な知識や技術を習得し、不安を軽減して主体的に取り組める姿勢を養うとともに、地域の中での育児の仲間づくりを促進するため、妊婦及びその配偶者を対象に3～4回のコースで集団指導・グループワークを実施する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から中止していたが、感染対策を行った上で7月から順次再開した。 ○各区・総合支所にて実施 ・母親教室：開催予定延79回、開催延47回、延529人(うち夫38人) 【延86回、延1,268人、(うち夫11人)】 ・両親教室：開催予定延41回、開催延24回、延378人(うち夫186人) 【延48回、延1,404人(うち夫617人)】	<b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○同時期に出産を予定している妊婦及び夫が妊娠・出産・育児について必要な知識や技術を習得し、不安を軽減する機会となっている。また、新型コロナウイルス感染症対応のため、交流の時間の短縮等を行っているが、地域の中で育児の仲間づくりの一助となっている。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から中止していたが、7月から順次再開した。感染対策を講じ規模を縮小したこと、医療機関等が行う母親教室・両親教室の多くが中止されていることから、参加希望が多かった。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、母親教室や両親教室を通して、妊娠・出産・育児への不安が軽減できるよう、教室を開催していきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■ 青葉区</b> ○母親教室は、新型コロナウイルス感染症対策のため4～6月開催中止していたが、7月から再開した。 <b>【4コース12回実施、実人員43人(延124人)参加】</b> ○母親学級休止中は参加予約者へリーフレットを送付した。【計22通】 ○両親学級は、新型コロナウイルス感染症対策のため4～8月開催中止していたが、9月から再開。 <b>【4回実施、35組69人参加】</b>	<b>■ 青葉区</b> <b>【成果等】</b> ○母親学級は7月から再開。密を避けるため人数を通常20名から12名へ減らし、グループワークをなくし、時間を短縮して開催している。 ○両親教室は9月から再開したが、密を避けるため参加人数を20組から10組に減らし、その他母親教室と同様の対策にて実施した。  <b>【事業に対する客観的意見・評価】</b> ○母親教室参加者全員から「大変良かった」「良かった」とのアンケート結果が得られた。 ○教室再開についての問い合わせが多かった。参加できなかった方からは「産院でやっていないからやってほしい」「日時、回数を増やしてほしい」という意見も聞かれた。	<b>■ 青葉区</b> ○コロナ禍においても、妊婦が安心して出産・育児ができるよう今後も感染対策をしながら教室開催に取り組んでいきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■ 宮城総合支所</b> ○母親教室 2回開催 参加者数14人(R元年度：8回 83人) ○両親教室 3回開催 参加者数20人(父親のみ) [R元年度：5回 85人(うち父親39人)] ○特別講座(両親) 1回開催 参加者数3組6名	<b>■ 宮城総合支所</b> <b>【成果等】</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止。実施方法を変更し、8月より再開した。 ○中止期間においても、参加希望者に対する相談機会の提供を行い、希望に応じて助産師、栄養士等による個別相談を実施した。  <b>【事業に対する客観的意見・評価】</b> ○アンケート結果より、産科医療機関での教室が中止となっていることから、再開を待ち望んでいた、他の参加者と話せて良かったという意見が寄せられている。	<b>■ 宮城総合支所</b> ○妊娠・出産・育児に関する不安の軽減、主体的に取り組む姿勢を養うことができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による妊婦の孤立化を防止することができました。今後も、感染症の流行状況に応じて、教室の開催や相談機会の確保を継続していきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)①	169	母親教室・ 両親教室の 充実	妊婦等が、妊娠・出産・育児について必要な知識や技術を習得し、不安を軽減して主体的に取り組める姿勢を養うとともに、地域の中での育児の仲間づくりを促進するため、妊婦及びその配偶者を対象に3～4回のコースで集団指導・グループワークを実施する	<b>■宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた母親教室を8月から開催し初妊婦の不安の軽減に努めている。内容は従来の母親教室から見直し、2回シリーズで父親も参加可能としながら、参加にあたっては検温の実施や手指消毒等感染防止に努めた。 参加人数：第1回（4回/年実施）：69名 第2回（5回/年実施）：96名	<b>○</b> <b>■宮城野区</b> ○市HPで再開を掲示したところ、多くの申し込みがあり、コロナ禍における初妊婦の不安を軽減するため、必要性が高いことが伺われた。 ○コロナ禍により分娩施設での母親学級が中止されていることが大きな要因。今後も同状況が予測される。	<b>■宮城野区</b> ○コロナ禍における初妊婦の不安を軽減するため感染予防に努めながら実施回数を増やし対応していきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■若林区</b> 4～6月中止。7月31日より事業再開。 ○両親教室 ・4クール開催（1クール3回） 延べ参加人数 170人（うち父親72人） <産後編>は中止の案内を送付。	<b>▲</b> <b>■若林区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を10組に限定し、開催時間を30分短縮。 ○赤ちゃん人形を他区より借用し、参加組数分用意。おむつ交換や抱っこ体験など実際に体験できるようにした。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○父親の参加は令和元年度に引き続き多い傾向にある。 ○アンケートでは、オンライン講習を検討して欲しいという意見も寄せられた。 ○参加申込者が多く、定員に達するのが早かった。	<b>■若林区</b> ○新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、実施します。 ○継続して行っているアンケートを踏まえ、参加者のニーズを把握し、内容を検討してまいります。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症の流行により、母親教室18回のうち6回、両親教室6回のうち2回が中止となった。内容と対象人数を変更し、8月より再開。 ○母親教室 開催8回、延べ参加人数162人。 [R元年度 開催17回 延べ参加人数381人] ○両親教室 開催4回、延べ参加人数113人。 [R元年度 開催5回 延べ参加人数212人]	<b>▲</b> <b>■太白区</b> 【成果等】 ○母親教室：2回コース、うちグループワーク1回としたが、1グループあたりの人数を少なくしたことで話しやすい雰囲気ができ、仲間づくりができています。 ○両親教室：感染予防の観点からグループワークなしとしたが、体験を通し不安の軽減や産後のイメージ作りにつながっている。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○事後アンケートにて母親学級、両親学級ともに体験を通して産後のイメージ作りができたとの声があった一方で、時間が短いとの意見も見られた。 ○コロナ禍で医療機関の開催が中止されていることもあり、特に両親教室では申込定員に達するのが早く、希望者が多いことが伺えた。	<b>■太白区</b> ○医療機関での母親・両親学級の開催中止に伴い、ニーズが高いように感じられます。新型コロナウイルス感染症予防に配慮しつつ、仲間づくりや不安解消につながる内容を検討してまいります。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)①	169	母親教室・ 両親教室の 充実	妊婦等が、妊娠・出産・育児について必要な知識や技術を習得し、不安を軽減して主体的に取り組める姿勢を養うとともに、地域の中での育児の仲間づくりを促進するため、妊婦及びその配偶者を対象に3～4回のコースで集団指導・グループワークを実施する	■泉区 ○母親教室 新型コロナウイルス感染症のため休止していたが、9月18日より再開。参加者は延べ69名（集団58名・個別11名）であった。個別相談件数は50件であった。 ○両親教室 新型コロナウイルス感染症のため休止した。	▲ ■泉区 ○母親教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していたが、9月18日より再開。参加人数を10名としたが、問い合わせが多く最大12名とした。参加者の評価は高く、これからの生活のイメージづくりができた。また、産後ケアへと繋がるケースがみられた。	■泉区 ○母親教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月は中止、6月から参加人数・内容を見直し実施予定です。 ○両親教室 仲間づくりを主の目的として実施していることもあり、感染を防止しながらの開催が難しい状況です。今後、状況をみながら再開の時期を検討します。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
	170	児童館地域 子育て支援 事業		⇒ 整理番号068 参照			児童クラブ事業推進課
	171	児童館事業 の充実		⇒ 整理番号055 参照			児童クラブ事業推進課
	172	保育所等 地域子育て 支援事業	地域のすべての子育て家庭を対象に、子育て親子の交流の場の提供や交流の促進、子育てに関する相談、援助の実施などを行うとともに、保育士が直接家庭を訪問して子育てに関する相談に応じるなど、子育て家庭への支援を充実する	○子育て家庭の交流の場の提供 52,435人 [R元年度：83,153人] ○子育てに関する相談・援助の実施 18,959件 [R元年度：25,957件] ○子育て及び子育て支援に関する講習などの実施 3,869人 [R元年度：8,042人] ○訪問型子育て支援事業実施 ・訪問数 278世帯 [R元年度：403世帯] ・相談件数（訪問・電話・健診等） 696件 [R元年度：4,031件]	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、4、5月は交流の場の提供を休止したが、6月より人数制限や消毒等を行うなどの感染予防策を講じながら交流の場の提供も再開している。体験保育やボランティアの受け入れなど、一部実施を見合わせている事業もある。 ○子育て情報を掲載した子育て通信の臨時号発行や区毎のパンフレットを作成しメール配信するなど、外出が少なくなった家庭へ向けての情報発信をしてきた。	○新生活様式を取り入れながら、交流の場を提供し子育ての孤立化を防いでいきます。 ○子育て情報を発信するとともに、子育てに関する相談に応じ子育て家庭への支援を行っていきます。	運営支援課
	173	幼稚園地域 子育て支援 事業	地域の子育て支援機能の充実を目的とし、子育てに関する相談や講演会等の実施など、子育て支援事業を行う私立幼稚園等に対して経費の一部を補助する	○実施園数:76園 ・基本事業実施園:73園 ・広場事業実施園:9園（うち基本事業実施園:6園） ○補助金交付額 ・基本事業:6,605,208円 ・広場事業:12,725,765円	▲ 【成果等】 ○前年度に引き続き、子育て中の保護者が安心して子育てができる地域環境及び家庭環境の整備、並びに地域子育て支援機能の充実が図られた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を実施した施設数が減少した。	○私立幼稚園等が実施する、地域子育て支援事業にかかる経費に対し助成を行うことで、今後も幼稚園による地域子育て支援機能のさらなる充実を目指してまいります。 ○時限的に補助制度の柔軟化を図ることで、コロナ禍にあっても、地域子育て支援機能が維持されるよう努めてまいります。	認定給付課
2(2)②子育てに要する経済的負担の軽減							
2(2)②	174	助産制度の 運営		⇒ 整理番号134 参照			子供家庭支援課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(2)②	175	母子・父子・寡婦福祉貸付金	母子・父子家庭及び寡婦に対し、福祉資金を低利子または無利子で貸し付けることにより、当該家庭の経済的自立の援助と、生活の安定を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 貸付件数71件</li> <li>○ 令和2年度から外部委託する滞納債権の範囲を拡大した。</li> <li>○ 10月に貸付の新システムを導入した。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ 法令及び事務取扱要領等に則って適切な貸付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 法令及び事務取扱要領等に則って適切な貸付を行います。</li> </ul>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	176	寡婦（寡夫）控除みなし適用	税制上の寡婦・寡夫控除が適用されない婚姻歴のない母子家庭・父子家庭について、保育料や各種事業の利用料金の算定にあたり、寡婦・寡夫控除を適用したものとみなして取り扱うことにより、経済的負担の軽減を図る	○ 本市HPの「ひとり親家庭支援」に「寡婦（夫）控除みなし適用」の該当ページを公開。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○ 制度の概要、対象となる本市の事業およびみなし寡婦（夫）控除の内容をホームページに掲載することで、制度を周知することができた。</li> </ul>	○ 令和3年度(令和2年分)所得が確定するまで、みなし寡婦（寡夫）制度を適用します。 ※ 令和3年度(令和2年分)所得から、個人市県民税の税制改正が適用されることで、性別や婚姻歴による控除の差がなくなり、みなし寡婦控除の適用もなくなります。	子供家庭支援課
	177	養育費の確保に関する支援の推進	ひとり親家庭における養育費確保を推進するため、弁護士や専門相談員による相談対応を行うほか、家庭裁判所等への同行支援や養育費保証契約に係る保証料を助成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 助成件数 9件</li> <li>○ 専門相談員による相談対応、セミナーを実施。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○ 養育費保証契約自体が近年作られた新しいサービスであるため、本制度の周知に努めた。補助金の申請～支払を適切に行うことができた。</li> </ul>	○ 引き続き当市または母子家庭相談支援センターのホームページ、各区家庭健康課等で制度を周知してまいります。	子供家庭支援課
	178	産婦健康診査		⇒ 整理番号145 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	179	妊婦健康診査		⇒ 整理番号148 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	180	第3子以降小学校入学祝金	少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減を図るため、小学校に新たに入学するお子さんが第3子以降の場合に、仙台市内に住所を有する保護者に対して入学祝金（3万円/1人）を支給する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○ 第3子以降小学校入学祝金支給実績</li> <li>・ 対象児童数 1,114人 [R元年度：1,192人]</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ 入学祝金を支給することにより、子育て家庭等における経済的負担を軽減することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○ 引き続き、小学校に入学する児童の保護者に対し、入学祝金を支給することにより、少子化対策の推進及び子育て家庭等における経済的負担の軽減を図ることができるよう努めてまいります。</li> </ul>	子供保健福祉課
	181	特別児童扶養手当支給	精神または身体に障害のある児童の養育者に対し、特別児童扶養手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○ 特別児童扶養手当支給実績</li> <li>・ 延児童数（1級及び2級の合計）22,702人 [R元年度：22,372人]</li> <li>・ 受給者数 1,854人 [R元年度：1,818人]</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ 特別児童扶養手当を支給することにより、心身に障害がある児童の福祉の増進を図ることができた。</li> <li>○ 申請に基づき、法令等に則って適切な支給を行うことができた。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う障害認定期間の延長について、市HPへの情報掲載や、対象受給者へチラシを配布することで、周知を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○ 心身に障害がある児童を監護養育している方に、対象児童の福祉の増進を図るための適切な支給を行うことができました。</li> <li>○ 様々なケースにおける申請について、その都度、根拠となる法令等の確認を行うことで、引き続き平等な手当の支給が実施できるよう努めて参ります。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区保育給付課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)②	182	未熟児養育医療給付	入院を必要とする2,000グラム以下等の未熟児に対し、生後すみやかに適切な処置を講じることで、出生児の健康を保持・増進することを目的として、必要な医療の給付を行う	■ 子供保健福祉課 ○ 給付実人員：258人 [R元年度：241人] ○ 給付額：72,952千円 [R元年度：66,945千円]	○ ■ 子供保健福祉課 【成果等】 ○ 必要な医療の給付を行うことにより、出生児の健康を保持・増進することができた。	■ 子供保健福祉課 ○ 必要な医療の給付を行うことができました。 ○ 引き続き、必要な医療の給付を行っていきます。	子供保健福祉課、 各区保育給付課、 宮城総合支所保健福祉課
	183	自立支援医療費（育成医療）支給	身体上の障害のある児童、または、現存する疾病を放置すると障害を残すと認められる児童で、確実な治療効果が期待できる場合に、その障害の除去もしくは軽減を図るために、必要な医療費の支給を行う	■ 子供保健福祉課 ○ 給付実人員：210人 [R元年度：345人] ○ 給付額：4,657千円 [R元年度：6,982千円]	○ ■ 子供保健福祉課 【成果等】 ○ 必要な医療費の支給を行うことにより、身体上の障害のある児童等の障害の除去等を図ることができた。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受給者証の有効期間の延長について、市HPへの情報掲載や、対象受給者へチラシを配布することで、周知を図ることができた。	■ 子供保健福祉課 ○ 必要な医療費の支給を行うことができました。 ○ 引き続き、必要な医療費の支給を行っていきます。	子供保健福祉課、 各区保育給付課、 宮城総合支所保健福祉課
	184	小児慢性特定疾病対策事業	児童の健全育成を目的として、厚生労働省告示により定める慢性疾病にかかっている18歳未満の児童に、保険診療の自己負担分に対する医療費の支給を行う	■ 子供保健福祉課 ○ 給付実人員：1,371人 [R元年度：1,389人] ○ 給付額：318,792千円 [R元年度：311,965千円]	○ ■ 子供保健福祉課 【成果等】 ○ 医療費の支給を行うことにより、児童の健全育成に資することができた。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受給者証の有効期間の延長について、市HPへの情報掲載や、対象受給者へチラシを配布することで、周知を図ることができた。	■ 子供保健福祉課 ○ 必要な医療費の支給を行うことができました。 ○ 引き続き、必要な医療費の支給を行っていきます。	子供保健福祉課、 各区保育給付課、 宮城総合支所保健福祉課
	185	児童手当支給	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童のすこやかな成長に資することを目的とし、中学校修了前の児童を養育し、仙台市内に住所を有する者等に手当を支給する	■ 子供保健福祉課 ○ 児童手当（特例給付）支給実績 ・延べ児童数：1,461,995人 ・受給者数：73,628人  [R元年度] ・延べ児童数：1,478,393人 ・受給者数：74,356人	○ ■ 子供保健福祉課 【成果等】 ○ 申請に基づき、法令等に則って適切な支給を行っている。	■ 子供保健福祉課 ○ 様々なケースにおける申請について、その都度、根拠となる法令等の確認を行うことで、引き続き平等な手当の支給が実施できるよう努めて参ります。	子供保健福祉課、 各区保険年金課、 宮城総合支所保険年金課、 秋保総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)②	186	特定不妊治療費助成事業	不妊治療の経済的負担の軽減を図ることを目的に、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の特定の不妊治療に要する費用の一部を助成する	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 申請件数</p> <p>・延べ件数:1,237件[R元年度:1,220件]</p> <p>・実件数:881件[R元年度:809件]</p> <p>※制度内容</p> <p>1回の治療につき15万円(治療法C, Fについては7万5千円)を助成額の上限とする(令和2年12月未までに終了した治療が対象)。</p> <p>※平成28年1月の制度改正により、初回の治療に限り30万円を助成額の上限とし(治療法C, Fは除く)、男性不妊治療についても、15万円を上限に助成することとした。</p> <p>※平成30年度より、2回目の治療(C, Fを除く)について、助成額の上限を20万円に引き上げた。</p> <p>※令和3年1月に制度が改正され、令和3年1月1日以降に終了した治療については、助成回数に関わらず1回の治療につき30万円(治療法C, Fについては10万円)を助成額の上限とすることとなった。</p>	<p>○</p> <p>■ 子供保健福祉課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 治療にかかる負担の軽減を図ることができた。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う運用の変更や令和3年1月からの制度改正について、市HPへの情報掲載や、区・総合支所窓口及び指定医療機関へ制度周知のチラシを配布することで、速やかな周知を図ることができた。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○ 医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる配偶者間の特定の不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊治療にかかる経済的負担の軽減に寄与していると考えられる。</p>	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 引き続き、指定医療機関を通じた制度周知や、チラシやホームページ等の活用により、広報に努めます。</p> <p>○ 令和3年10月より、新たに先進医療と実施される検査を対象に、不育症検査費用助成事業を開始する予定です。</p>	<p>子供保健福祉課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課</p>
	187	子ども医療費助成	子どもを持つ家庭の経済的負担を軽減し、子どもの健康維持と福祉の増進を図るため、子どもにかかる医療費のうち、保険診療による自己負担分の全部または一部を助成するより幅広い子育て家庭の経済的負担を軽減するため、所得制限基準の緩和を進める	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 助成対象者数(月平均) : 111,241人【113,166人】</p> <p>○ 助成件数 : 1,454,381件【1,854,398件】</p> <p>○ 助成金額 : 2,700,268千円【3,330,889千円】</p> <p>※【】内はR元年度実績</p>	<p>○</p> <p>■ 子供保健福祉課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 申請に基づき、規則等に則って適切な助成を行っている。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○ 子育て家庭の経済的負担の軽減、子どもの健康維持・福祉の増進に寄与していると考えられる。</p>	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 様々なケースにおける申請について、その都度、根拠となる規則等の確認を行うことで、引き続き平等な助成が実施できるよう努めて参ります。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、必要な特例措置の実施を検討してまいります。</p>	<p>子供保健福祉課、各区保育給付課、各総合支所保健福祉課</p>
	188	児童扶養手当支給	ひとり親家庭における児童の養育者に対し、児童扶養手当を支給することにより、当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図る	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 受給者数</p> <p>・母子 6,800人 [R元年度:6,933人]</p> <p>・父子 279人 [R元年度:270人]</p> <p>・養育者 24人 [R元年度:28人]</p> <p>計 7,103人 [R元年度:7,231人]</p>	<p>○</p> <p>■ 子供保健福祉課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 申請に基づき、法令等に則って適切な支給を行っている。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○ 児童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与することができた。</p>	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 様々なケースにおける申請について、その都度、根拠となる法令等の確認を行うことで、引き続き平等な手当の支給が実施できるよう努めてまいります。</p>	<p>子供保健福祉課、各区保育給付課、各総合支所保健福祉課</p>

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)②	189	母子・父子 家庭医療費 助成	母子・父子家庭の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図るため、母子家庭の母と児童、父子家庭の父と児童及び父母のない児童にかかる医療費のうち、保険診療による自己負担分の一部を助成する	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 助成対象者数(月平均) : 13,324人【13,088人】</p> <p>○ 助成件数 : 58,108件【59,784件】 ※うち新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置対象 285件</p> <p>○ 助成金額 : 167,387千円【161,561千円】 ※うち新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置対象 898千円</p>	<p>○</p> <p>■ 子供保健福祉課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 申請に基づき、規則等に則って適切な助成を行っている。また、年央で新型コロナウイルス感染症の影響により家計急変した支給停止者を助成対象とする特例措置を実施したことにより、本来であれば助成の対象とならない世帯に向けて適切な支援を実施することができた。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○ 母子・父子家庭の経済的負担の軽減、健康維持・福祉の増進に寄与していると考えられる。</p>	<p>■ 子供保健福祉課</p> <p>○ 様々なケースにおける申請について、その都度、根拠となる規則等の確認を行うことで、引き続き平等な助成が実施できるよう努めて参ります。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、特例措置の実施を継続してまいります。</p>	子供保健福祉課、 各区保育給付課、 各総合支所保健福祉課
	190	家庭ごみ等 ごみ処理手 数料減免	満1歳までの新生児の養育者に対して、家庭ごみ指定袋(中サイズ)を50枚配付することにより育児支援を行う	<p>○ 申請に基づき、7,586人の新生児の養育者に対して、指定ごみ袋を配布した。</p> <p>・ 支給人数 7,586人【R元年度：7,610人】</p>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 子育て家庭の経済的負担軽減につながった。</p>	<p>○ 各区家庭健康課等と連携しながら制度の周知を行うとともに、支給率の向上に努めます。</p>	家庭ごみ減量課
	191	就学援助	経済的理由により就学が困難な小・中・中等教育(前期課程)学校児童生徒の保護者に対し、給食費や学用品費等を援助する	<p>○ 仙台市立小・中学校に就学する要保護児童生徒及び準要保護児童生徒受給者数</p> <p>・ 小学校 : 5,037人 (全児童数に対する割合 : 9.6%) [R元年度 : 5,002人 (全児童数に対する割合 : 9.5%)]</p> <p>・ 中学校 : 2,989人 (全生徒数に対する割合 : 12.0%) [R元年度 : 2,984人 (全生徒数に対する割合 : 12.1%)]</p> <p>○ うち被災児童生徒への就学援助</p> <p>・ 小学校 : 11人 [R元年度 : 35人] ・ 中学校 : 6人 [R元年度 : 31人]</p>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響を含め、経済的理由により、就学が困難な世帯における保護者負担の軽減につなげることができた。</p>	<p>○ 今後とも、新型コロナウイルス感染症の影響等により、収入(又は所得)が大きく減少した世帯に対し、柔軟に対応していきます。</p> <p>○ 今後とも、引き続き保護者への通知徹底、他自治体との情報交換により、適切な制度運用を図ります。</p>	学事課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	2(2)② 192	子育て世帯の市営住宅の優先入居	教育費等の経済的負担の大きい子育て世帯を積極的に支援し、高齢化が進行する市営住宅団地のコミュニティの活性化を図るため、市営住宅への入居者募集にあたり、定期募集において、子育て世帯への抽選優遇措置を図るとともに、定期募集とは別に、子育て世帯を対象にした募集を実施する	○優先入居世帯数 45世帯 [R元年度：51世帯] ・令和2年度は定期募集年4回、子育て世帯対象募集を年2回実施。 ・年4回の定期募集において、抽選時の子育て世帯の優遇措置を実施し、子育て世帯からの申込み143件に対して、20世帯が入居。 ・別枠での子育て世帯を対象とした募集（2回）では、子育て世帯からの申込が209件あり、25世帯が入居。 ・令和2年度までの累計で、734世帯が入居。	○  【成果等】 ○優先入居による入居世帯数は、令和元年度より減少したが、定期募集における抽選優遇措置と子育て世帯を対象とする別枠入居募集の実施により、計45世帯が入居し、一定数の子育て世帯の居住の安定を図ることができた。	○今後も、子育て世帯に配慮した施策を、関係局と協議しつつ、検討してまいります。	市営住宅管理課
2(2)③子育てに関する情報提供・相談支援の充実							
	2(2)③ 193	のびすく運営		⇒ 整理番号161 参照			子供未来局総務課
	2(2)③ 194	のびすくにおける父親の子育て力向上支援	父親の子育て力の向上に資するため、のびすく（子育てふれあいプラザ等）において、助産師等による両親教室や育児講座を開催する	○実施回数：49回（595名参加） [R元年度：74回]  [内訳]のびすく仙台：11回（167名参加） のびすく宮城野：8回（75名参加） のびすく若林：9回（159名参加） のびすく長町南：6回（46名参加） のびすく泉中央：15回（148名参加）	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント事業の見送りや例年よりも少人数で開催するなどコロナ禍に配慮した実施となった。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○毎回定員を超える予約申込があるなど、父子参加の事業も人気が高く、父親の育児参加に寄与している。	○父親の育児参加のきっかけとなり、その推進に寄与していることが伺えます。 ○今後も、父と子がより関わり合えるような講座を、のびすく全館で定期的に実施できるように努めます。	子供未来局総務課
	2(2)③ 195	のびすくにおける専門の相談員の配置	のびすく（子育てふれあいプラザ等）に、専門の相談員「のびすく子育てコーディネーター（のここ）」を配置し、保育サービスや子育て支援に関するきめ細かな情報提供や相談支援を行うとともに、地域の子育て支援者等と連携を図ることにより、子育て家庭の状況に応じた適切なサービス利用や支援につなげ、子育てに対する不安や負担の軽減を図る	○新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面による相談には制限があったものの、令和元年度よりも相談件数は大幅に増加した。 ○相談件数：2,140件 [R元年度：1,462件] [内訳]のびすく仙台 503件 のびすく宮城野 410件 のびすく若林 253件 のびすく長町南 290件 のびすく泉中央 684件	○  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館とした期間中も電話での相談が多く寄せられるなど、子育て家庭の子育てに対する不安や負担の軽減につなげることができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○令和2年度は、令和元年度の相談件数に対して600件以上増加しており、ニーズは高い。	○広報を強化し、事業の周知に努めます。 ○相談員のさらなるスキルアップのため、スーパーバイズを実施します。	子供未来局総務課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(2)③	196	電子メールによる子育て情報発信	乳幼児健康診査、各種教室、のびすく（子育てふれあいプラザ等）の情報など、子育て支援にかかるさまざまな情報について、メールアドレスを登録した方に対して電子メールにより発信する	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○ 子育て情報のお知らせ利用者数 4,032人（令和3年3月現在）[令和2年3月現在：3,467人]</p>	<p>○</p> <p>■ 子供未来局総務課</p> <p>【成果等】</p> <p>○ 電子メールの配信により、子育て支援にかかる様々な情報について、タイムリーに伝えることができました。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】</p> <p>○ 令和2年3月利用者数3,467人に対し、565人利用者数が増加しており、一定の需要がある。</p>	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○ 令和元年度と比べ、利用者数も増加し、情報を必要とする多くの方に子育て支援にかかる様々な情報を伝えることができました。今後も、適宜必要な情報発信ができるよう、継続して取り組みを進めていきます。</p>	子供未来局総務課、各区家庭健康課	
	197	子育てに関する情報発信の充実	専用ホームページやスマートフォン向けアプリの開発等により、本市における子育てに関する情報を総合的に発信し、必要とする人に効果的に届けるための情報発信の充実を図る	<p>○ 専用ホームページやスマートフォン向けアプリの開発等に取り組み、令和3年3月に「せんだいのびすくナビ」の運用を開始した。</p> <p>○ アプリ利用登録件数 1,417件（令和3年3月末時点）</p>	<p>○</p> <p>【成果等】</p> <p>○ ポータルサイト及びアプリの開発を行い、予定通り令和2年度内に「せんだいのびすくナビ」の運用を開始した。</p>	○ 地図機能の拡充等により、ポータルサイト及びアプリの更なる利便性の向上を図ります。	子供未来局総務課（子育て応援プロジェクト推進担当）	
	198	子ども家庭応援センター		⇒ 整理番号080 参照				子供未来局総務課、子供家庭支援課、子供保健福祉課、認定給付課、各区家庭健康課、各区保育給付課、宮城総合支所保健福祉課
	199	新生児等訪問指導（エジンバラ産後うつ病質問票の全数実施）		⇒ 整理番号088 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	200	多胎児等を育てる保護者のための育児サークル等支援		⇒ 整理番号094 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課
	201	不妊・不育専門相談センター事業		⇒ 整理番号146 参照				子供保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(2)③	202	区役所等における発達相談の機能強化		⇒ 整理番号147 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課	
	203	子供家庭総合相談事業		⇒ 整理番号081 参照			子供家庭支援課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課	
	204	母親教室・両親教室の充実		⇒ 整理番号169 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課	
	205	祖父母手帳の配布	子育て世代と祖父母世代がお互いに育児についての理解を深め、ともに楽しく育児に向き合うきっかけとなることを目的として、「祖父母手帳」を配布する	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○祖父母手帳発行数：5,399冊 [R元年度：5,100冊]	○	<b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○育児の方法や考え方が時代とともに変化する中、子育て中の父母世代と祖父母世代がお互いに育児についての理解を深め、ともに楽しく育児に向き合うきっかけとなることを目的として、祖父母手帳を発行した。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○子どもたちの健やかな成長のために、今後も引き続き、祖父母手帳について啓発を図っていきます。	子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	206	産後の助産師等による相談事業（せんだい助産師サロン）		⇒ 整理番号151 参照			子供保健福祉課	
	207	3～4か月児育児教室	子どもが健康に育つための望ましい育児環境づくりを目的に、育児に関する相談に応じ、問題解決能力を高める	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から中止、対象者に教室で配布する資料の送付や電話での相談対応等を行った。 ・開催予定回数213回 開催回数0回【208回】 ・資料送付等実施数：7,909人 【参加者数：6,370人】 ※【】内はR元年度実績	▲	<b>■ 子供保健福祉課</b> <b>【成果等】</b> ○3～4か月の乳児とその母親等保護者を対象とした、保護者同士の交流や保健指導・相談を行う教室であり、3密を避けて実施することが難しいことから中止したが、資料の送付や電話での相談対応により支援を行うことができた。	<b>■ 子供保健福祉課</b> ○新型コロナウイルス感染症対策の上で再開する方法を検討していきます。	子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)③	207	3～4か月 児育児教室	子どもが健康に育つための望ましい育児環境づくりを目的に、育児に関する相談に応じ、問題解決能力を高める	<b>■青葉区</b> ○3～4か月児育児教室対象者に資料送付1,440部 ○3～4か月児育児教室対象者に電話、面接、訪問等支援を実施1,067件	<b>■青葉区</b> 【成果等】 ○3～4か月児育児教室は中止としたが、必要時支援が必要な方にはタイムリーに支援を行うことができた。令和2年8月からは3～4か月児育児教室対象者に全件電話がけを行っており、育児相談に応じている。 ○状況確認時、保護者には他事業や相談先を紹介し、育児不安等の解消に努めた。	<b>■青葉区</b> ○引き続き3～4か月児育児教室対象者の状況確認に努め、育児相談に応じていきます。 ○育児相談時には、他事業や相談先の紹介を行い、保護者の問題解決能力の向上に努めます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■宮城総合支所</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ○3～4か月育児教室対象者に資料送付 516部 ○3～4か月育児教室対象者に電話、面接、訪問を実施 453件	<b>■宮城総合支所</b> 【成果等】 ○中止に伴い、全ての対象者へ電話による相談機会を提供し、保護者等の希望に応じて保健師、栄養士等による個別相談を実施している。	<b>■宮城総合支所</b> ○今後も、全ての対象者へ電話による相談機会を提供し、保護者等の希望に応じて保健師、栄養士等による個別相談を実施していきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症に対する保護者の不安を背景に、区役所での実施を控えており、代替として対象者全数への電話フォローと必要時には訪問を行っている。 ○令和2年度：対象者数1,696名	<b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○対象月に中止のお知らせとパンフレットを郵送。5か月時に、電話にて児の発育や健診等の状況を確認し、離乳食教室の紹介を行った。電話に対する保護者の反応は良好で、育児についての相談の機会として有効である。	<b>■宮城野区</b> ○令和3年度も引き続き全対象者にパンフレットを郵送。その後電話フォローを行い、育児不安の解消等に努めます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■若林区</b> ○新型コロナウイルス感染症のため現在は中止している。 資料送付：1,098名	<b>■若林区</b> 【成果等】 ○教室で使用していた資料を郵送し、個別での相談を受け付けている。また、全ての対象者へ電話連絡を行い、相談内容や状況に応じて個別に対応をしている。	<b>■若林区</b> ○全ての対象者へ電話連絡を行い、希望に応じて個別の相談を継続して受け付け、育児不安の解消に努めていきます。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とし、資料の郵送と電話での育児相談を実施した。 開催0回 資料送付数：1,864人 電話育児相談：1,645人（87.8%） [R元年度開催49回 1,640人参加率：88.9%]	<b>■太白区</b> 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、資料の郵送と電話での育児相談を実施し、子育て家庭への不安軽減をすることや、必要な方の継続支援に繋げることができた。	<b>■太白区</b> ○今後も育児相談が開催できない期間は、対象者へ資料送付と電話相談を行い、育児不安の軽減や母子が地域資源につながるような支援を進めてまいります。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■秋保総合支所</b> ○実施なし（新型コロナウイルス感染症の影響により、6回中止） ○資料送付：12件	<b>■秋保総合支所</b> 【成果等】 ○集団指導や母親同士の交流を実施することができないが、対象者には個別に電話や訪問により、状況確認や情報提供などを行い、支援することができている。	<b>■秋保総合支所</b> ○育児教室が中止される期間中、対象者には個別に電話や訪問により、状況確認や情報提供などを行い、支援を実施します。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(2)③	207	3～4か月児育児教室	子どもが健康に育つための望ましい育児環境づくりを目的に、育児に関する相談に応じ、問題解決能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 泉区</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年3月以降に開催予定であった教室を中止とした。</li> <li>○中止案内・資料発送数 1,343件</li> <li>○個別支援数（電話等） 769件</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 泉区</li> <li>【成果等】</li> <li>○事業対象者へ中止案内と教室で配布する資料を送付している。</li> <li>○電話による個別対応にて育児相談と養育状況の確認を行い、必要に応じて継続支援に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 泉区</li> <li>○現状、従来の目的・方法での事業再開は難しいため、再開の方向性を検討しつつ、中止期間中は電話等による個別対応と資料送付を継続します。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	208	離乳食教室	乳幼児の食習慣づくりの基礎となる時期に、発達段階に応じた離乳食の進め方についての講話や保健指導を行うとともに、子育て世代における食生活及び朝食摂取とその内容の充実の重要性について啓発する また、保護者同士の情報交換により、地域でのつながりを持つ機会とする	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○各区・総合支所にて実施</li> <li>年間43回開催 [R元年度：60回]</li> <li>680人参加[R元年度：1,177人]</li> <li>個別相談150件[R元年度：320件]</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>【成果等】</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日から9月30日まで開催を中止していたが、感染予防策を講じ教室を再開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供保健福祉課</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止していた時期がありましたが、感染予防策を講じて再開しました。状況を注視しながら、感染予防に努め、引き続き実施してまいります。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	208			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青葉区</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4月～7月まで開催を中止。8月から再開している。</li> <li>8回開催、参加者59組</li> <li>【令和元年度：11回開催、参加者198組】</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青葉区</li> <li>【成果等】</li> <li>○4月～7月までの中止期間、教室参加申込み者に対し電話にて相談を受け、後日資料を送付。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、教室時間を短縮し、講話内容を見直した。それに伴い、使用媒体や資料等を新たに作成し、内容の充実を図った。</li> <li>【事業に対する客観的意見・評価】</li> <li>○参加者へのアンケートの結果、「参考になった」「やや参考になった」と回答した割合が100%であり満足度は高い。しかし、令和元年度より「やや参考になった」と回答する方の割合が増えている。これは、新型コロナウイルス感染症対策でグループワークを中止としており、母親同士のやりとりが減少したためと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青葉区</li> <li>○コロナ渦でも、離乳食の悩みに寄り添う支援は求められているため、感染症対策を徹底していることを広報等で周知し、参加者が安心して参加できるよう図っていきます。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
2(2)③				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宮城総合支所</li> <li>○3回開催 15組参加【令和元5回、64組参加】</li> <li>6回中2回中止、1回は個別相談会を実施</li> </ul>	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宮城総合支所</li> <li>【成果等】</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止または個別相談等に対応。</li> <li>○中止期間においても、参加希望者への資料送付、電話での相談等を実施。</li> <li>【事業に対する客観的意見・評価】</li> <li>○講話や個別相談により、離乳食の進め方についての疑問や不安が解消した、との声が寄せられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宮城総合支所</li> <li>○講話は、たんぱく質性食品の進め方や、大人の食事からの取り分けなど、対象月齢の方が躡くことが多い内容で、疑問や悩みの解消につながっています。今後も、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、教室の開催や相談機会の確保を継続していきます。</li> </ul>	子供保健福祉課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)③	208	離乳食教室	乳幼児の食習慣づくりの基礎となる時期に、発達段階に応じた離乳食の進め方についての講話や保健指導を行うとともに、子育て世代における食生活及び朝食摂取とその内容の充実の重要性について啓発する また、保護者同士の情報交換により、地域でのつながりを持つ機会とする	<b>■宮城野区</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、4月～9月まで開催を中止し、10月から再開した。 問い合わせ等があった希望者には、資料送付と電話での相談実施。	<b>▲</b> <b>■宮城野区</b> 【成果等】 ○4月～9月までの中止期間、教室参加申込み者に対し資料を送付。 ○10月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、教室時間を短縮し、講話内容を見直した。	<b>■宮城野区</b> ○令和2年度同様、時間短縮等新型コロナウイルス感染症対策を行い実施する予定です。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■若林区</b> ○4～9月まで中止 ○10～3月 6回実施 44組参加	<b>▲</b> <b>■若林区</b> 【成果等】 ○4～9月までの期間は、問い合わせ等があった希望者には、資料送付と訪問栄養相談案内を行った。 ○教室を再開した10月からは、定員を超え参加できなかった方には、資料送付と訪問栄養相談案内を行った。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○中止中、離乳食教室に関する問い合わせが48件あり、そのほとんどの方が資料送付を希望された。 ○再開後、1回のみ定員を超える申し込みがあった。	<b>■若林区</b> ○6月より参加人数の制限、時間の短縮等新型コロナウイルス感染症対策を行い、月1回実施する予定です（4～5月中止）。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
				<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～8月中止、9月～感染症対策を講じて再開した。（試食中止、時間短縮、人数減、1日2回開催） ○開催14回（1日2回実施） 99組参加 [R元年度 開催11回 239組参加]	<b>○</b> <b>■太白区</b> 【成果等】 ○教室中止期間（4月～8月）は、参加希望者に教室で使用する資料を送付した。 ○教室で紹介している離乳食レシピをせんだいTubeで配信した。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○離乳食のレシピをせんだいTubeで配信することで、実践につながる情報提供を行うことができた。 ○離乳食教室参加者アンケートでは、90%以上が不満や疑問を解消できたと回答しており、情報はネット等に多くあるが専門職の話を直接聞くことができ良かったという意見もみられた。	<b>■太白区</b> ○新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者がわかりやすく、離乳食を進められるように支援してまいります。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)③	208	離乳食教室	乳幼児の食習慣づくりの基礎となる時期に、発達段階に応じた離乳食の進め方についての講話や保健指導を行うとともに、子育て世代における食生活及び朝食摂取とその内容の充実の重要性について啓発する また、保護者同士の情報交換により、地域でのつながりを持つ機会とする	■ 泉区 ○ 6回開催 52組参加 感染症対策を講じた内容に変更し令和2年10月30日再開 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年3月～令和2年9月まで開催を休止していた。	▲ ■ 泉区 【成果等】 ○ 対象月齢6か月、第一子に限定、定員10組等、三密にならないように工夫し、内容を変更し開催した。 ○ コロナ禍でも実施してもらえて貴重な機会であったとの感想あり。教室後、参加者同士の交流のきっかけとなっている様子である。	■ 泉区 ○ 評価が高かったグループワークを新型コロナウイルス感染症対策で実施しないよう変更したため、講話内容や実演の見せ方等を工夫し、参加者の満足度を高める内容となるよう検討をしています。	子供保健福祉課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課
	209	児童館地域子育て支援事業		⇒ 整理番号068 参照			児童クラブ事業推進課
	210	青少年相談		⇒ 整理番号117 参照			子供相談支援センター
	211	子育て何でも相談	子育てに関する悩みや不安について、電話・面接・メールで幅広い相談に対応し、家庭での子育てを支援する また、相談の内容により必要に応じて専門機関を紹介する	○ 対象の市民に電話相談を促すためのカード「子育て何でも電話相談カード」を作成し、配布した(95,000部) [R元年度：50,000部]。新型コロナウイルス感染症の影響により、悩みや不安を抱え家に居る保護者からの相談が入りやすくなるよう、カードの配布を例年より2ヵ月程前倒し、4月中旬に完了した。 ○ 0歳児の母親からの子育て不安に関する電話相談やメール相談が比較的多く入り、子育て何でも電話相談は令和2年度末で1,206件 [R元年度：1,209件]、子育て相談面接が令和2年度末で15件 [R元年度：19件]、メール相談が令和2年度末で123件 [R元年度：66件] となった。	○ 【成果等】 ○ 例年以上に配布数を増やし、4月末までに配布を完了した子育て何でも電話相談カードにより、6月以降の相談件数は例年同時期と同水準まで戻っている。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○ 匿名の相談電話である性質上、相談者が待つことなく気軽に電話ができるため、継続相談者も複数おり、20分程度の短時間での相談が多い。そのため、年度途中であるが、前年度と同程度の相談件数があり、相談のニーズが高まっている。	○ 面接相談やメール相談については、継続的にケースと関わっていけるよう、当センターより積極的に相談を働きかけていきたいと思います。 ○ 相談者のニーズに合わせて、継続相談や訪問での相談も取り入れていき、子育てに不安を抱える保護者に寄り添って支援を行っていきます。	子供相談支援センター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(2)③	212	子育て市民 セミナー	子どもの成長や親の役割、青少年の抱える諸問題について、大学教授などの専門家によるセミナーを開催し、子育てや青少年健全育成の啓発を図る	<p>○乳幼児の保護者を対象とした無料託児付の子育てセミナー開催を10月に予定し、定員15名のところ、それを上回る17名の申し込みがあった。当日は14名の市民が参加し、子どもの発達や育児について学んだ。[R元年度：1回実施12名参加]</p> <p>○子育て家族の保護者や支援者を対象とした市民セミナー「子育てに生かす家族のコミュニケーション」は、会場を市役所8階ホールに移し、定員を100名とした。3回合わせて189名が参加した。[R元年度：3回実施191名参加]</p> <p>○例年6月に開催している青少年の支援者向けの市民セミナー「思春期の子供の理解」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実施を見送った。[R元年度：3回実施137名参加]</p>	<p>▲</p> <p>【成果等】 ○10月5日実施の子育てセミナーは「ストレスに負けない、安心の子育て」というテーマで実施。講話の最後には講師が個別の質問にも対応する内容で、参加者の育児ストレスの軽減に寄与するものであった。また託児付きの実施としたことで乳幼児の子育てに不安を抱える保護者が参加しやすいものとなった。 ○市民セミナー「思春期の子供の理解」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実施を見送ったが、予定していた3講師には、令和3年度の講師依頼について内諾を得ている。テーマは「家族療法」「不登校」「SNS・スマホ」となっている。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ○各セミナーへの参加者が近年増加傾向にあり、アンケートにも広い会場での開催の要望もあったため、市民セミナーにおいては年度当初より市役所8階ホールを検討していた。開催に当たり、これまで会場キャパシティにより参加をお断りしていた方々も受け入れることが可能となり、より多くの市民の参加を受け入れられるようになった。</p>	<p>○令和2年度は例年6月に開催している「思春期の子供の理解」のセミナー開催を中止しましたが、新型コロナウイルス感染症対策を講じて令和3年度は6月開催に向け、内容の検討を図っていきます。 ○令和3年度は子育てセミナーを6月と10月の開催を予定しています。セミナーの開催を含め、子育て家庭の支援に寄与することができました。今後も、引き続き啓発を図っていきます。</p>	子供相談支援センター
	213	保育所における食育推進事業		⇒ 整理番号027 参照			運営支援課
	214	保育所等地域子育て支援事業		⇒ 整理番号172 参照			運営支援課
	215	区役所等における利用者支援事業	区役所等に保育サービス相談員を配置し、保育サービス等に関するきめ細かな情報提供や相談支援を行い、保護者の希望や家庭状況に応じた適切なサービス利用につなげる また、保育所の地域子育て支援センター等に出向いての相談対応や、地域の子育て支援の従事者等との連携により、多様化する保育ニーズに関する相談等の対応を図る	<p>○相談件数：9,642件【9,867件】</p> <p>○訪問件数：53件【208件】</p> <p>※いずれも3月末時点実績</p> <p>※【】内は前年同時期実績</p>	<p>▲</p> <p>【成果等】 ○相談事業については、保護者のニーズに対する相談支援や、よりきめ細かな情報提供を実施し、保育サービス利用へとつなげることができた。 ○出張相談業務については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当初予定していた出張相談を取りやめたことから、相談件数が減少している。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ○相談事業については、来庁による相談件数が減少している一方、電話による相談件数が増加している。 ○出張相談業務については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、訪問件数が著しく減少している。</p>	<p>○今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、きめ細かな情報提供の継続、必要最小限の出張相談の取組みを進めてまいります。</p>	認定給付課
	216	幼稚園地域子育て支援事業		⇒ 整理番号173 参照			認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
	2(2)③ 217	親子こころの 相談室運営		⇒ 整理番号097 参照			児童相談所相談指 導課	
	2(2)③ 218	適応指導事 業（「見遊 の杜」「杜の ひろば」の運 営）		⇒ 整理番号115 参照			教育相談課	
	2(2)③ 219	家庭教育の 推進	家庭教育の重要性についての認識を促すた め、子どもの基礎的資質や能力を形成する上 で必要な事項に関する講座の実施や、栄養士 等を講師とした食育に関する講話や調理実習 を行う講座、携帯電話・インターネットの安全性 についての普及啓発などを実施する	○就学時健康診断等の機会を利用した「子育て講座」の実 施 ・就学時健康診断や入学説明会の待ち時間を活用して、 保護者に対し、子育てについての講座を実施。 実施校：88校【令和元年度:110校】 参加人数：年度末集計【令和元年度:6,128人】 ○「親子食育講座」の実施 ・子どもの基本的生活習慣の確立と生活リズム改善を目的と して、小学校とその保護者を対象とし、栄養士等を講師とし た「食育」に関する講話と、調理実習を内容とする講座を開 催。 実施校：15校【令和元年度:42校】 延べ参加人数：1,993人【令和元年度:2,562人】 ○携帯電話・インターネット講座の実施 ・インターネット上のいじめや有害情報へのアクセスなどから子ど もたちを守るため、新中学生の保護者向けにインターネットの 安心・安全利用についての啓発を行う講座の開催や、HPの 作成。 講座実施数：35校【令和元年度:46校】	▲	【成果等】 ○就学時健康診断等の機会を利用した「子育て講座」の実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施校は減少したが、 就学時健康診断等、全ての保護者が参加する場において講座を 実施することにより、子どもの成長に係る家庭教育の重要性につ いて保護者が考える機会を効果的に提供した。 ○「親子食育講座」の実施 ・親子を対象とした、食に関する講話や調理実習を行う講座の開 催を通して、家庭での正しい食習慣づくりを促進した。新型コロ ナウイルス感染症の影響により、予定通りの実施が困難であったが、 複数会場の確保やオンラインの活用などの工夫をして実施した。 ○携帯電話・インターネット講座の実施 ・中学生の保護者を対象とし、携帯電話やインターネットの安全 安心な利用のための啓発を行った。新型コロナウイルス感染症の影 響により、予定通りの実施が困難であったが、講座時間の短縮や オンラインの活用などの工夫をして実施した。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○講座の参加者から、「子どもとの接し方を見直しやすい機会となっ た」と好評を得た。	○新入学児童の保護者を対象とした「子育て講座」の実施 ・就学時健康診断、入学説明会等の機会に拡充することによ って、実施校を増やしてきました。実施するか否かは各小 学校の判断となりますが、新型コロナウイルス感染症対策を講 じたうえで、今後も各小学校の実情にあった形での実施が可能 になるよう、本事業を推進していきます。 ○「親子食育講座」の実施 ・「早寝・早起き・朝食・あいさつ」など子どもの基本的生活習慣 を確立し、生活リズムを改善することを目的に、実施希望団 体を募り、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら実施して いきます。本講座の実施方法等について、適切な情報提供等 を行うことによって、実施団体の支援に努めるとともに、実施団 体をさらに広げるため、PTAや社会学級が集まる色々な機会 で講座のPRに努めます。 ○携帯電話・インターネットの講座の実施 ・各中学校やPTAに対する講座開催の呼びかけやHPでの啓 発を行っていきます。	生涯学習課
	2(2)③ 220	家庭教育推 進事業	子育て世代が育児や家庭生活について学び、 親子のふれあいを深めたりすることをねらいとする 事業を実施する	○各市民センターにおいて、子育てについて学び、親同 士の交流の機会等を提供する各種講座を開催。	○	【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ、子育 てについて学び、親同士の交流の機会等を提供す ることができた。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○親子のふれあいを深めるとともに、親同士が交流 し、悩みなどを分かち合いながら、学びの機会を持つ ことができた。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつ つ、今後も、各市民センターにおいて継続して事業 を実施します。	生涯学習支援セン ター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2. 妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実							
(3) 教育・保育基盤と幼児教育・保育サービス等の充実							
2(3)①教育・保育基盤の整備							
2(3)①	221	保育所整備事業	子育て世帯が増加し、保育需要の増加が見込まれる地区を中心に保育所の整備創設を計画的に進める	○保育所の定員数（令和3年度当初） 15,302人（△757人） ※認定こども園を合わせた定員数（令和3年度当初） 19,313人（+240人）	△  【成果等】 ○保育所9施設が認定こども園に移行したことにより、保育所の定員数としては減少となったものの、認可保育所の新規整備等により、保育所と認定こども園を合わせた受入れ定員を増やすことができた。 ○ただし、事業者選定後の辞退や事業の遅れ等が生じたため、計画した新規整備数を確保できなかった。	○令和4年度当初開所分の保育所整備事業の公募を行い選定した4事業（240人分）について、引き続き、開所に向けた協議・支援を行ってまいります。	環境整備課
2(3)①	222	公立保育所の建替え・民営化	公立の木造保育所等の建替えにあたって、地域拠点保育所として位置付けた公立保育所については、その機能の充実に向けた検討を進めるとともに、その他の老朽化した公立保育所については、効率的な運営と柔軟性、機動性をより発揮できるよう、民間の力を活用して保育所を新設する「民設民営方式」を基本とし、計画的に推進する	■環境整備課 ○民営化の実施（令和3年度当初） 2か所（吉成、鶴ヶ谷） ○中田保育所の令和5年度当初の建替え・民営化を公表し、保護者説明会を開催。令和3年3月末から設置運営法人の募集を開始した。	○  ■環境整備課 【成果等】 ○老朽化した吉成保育所、鶴ヶ谷保育所の建替えにあたり、社会福祉法人が新しい保育所を整備し、令和3年4月より当該法人に保育所運営を引き継いだ。 ○老朽化した中田保育所の令和5年度当初の建替え・民営化に向け検討・調整を行い、予定通り公表することができた。	■環境整備課 ○中田保育所の建替え・民営化に係る円滑な移行に向けて、引き続き、設置運営法人の選定や、保護者説明会等に取り組んでいきます。 ○今後の民営化方針を含めた、公立保育所のあり方について具体的な検討を進めます。	運営支援課、 環境整備課
2(3)①	223	小規模保育事業の設置・運営支援	3歳未満児を対象とした保育基盤整備の一環として、地域の多様なスペースを活用しながら、定員6人から19人までの比較的小規模な集団できめ細かな保育サービスを提供する小規模保育事業の設置を計画的に進めるとともに、施設の巡回指導など指導・助言を行い、運営を支援する	■運営支援課 ○巡回・指導：687回 [R元年度：547回]  ■環境整備課 ○小規模保育事業の定員数（令和3年度当初） 1,878人（+159人）  ■認定給付課 ○令和2年度給付費実績： 3,810,311,800円	○  ■運営支援課 【成果等】 ○巡回訪問や電話等による助言・相談対応をすることにより、保育の質の向上を図るとともに、運営を支援することができた。  ■環境整備課 【成果等】 ○新たに10事業（173人分）を確保し、待機児童が多い3歳未満児の受入れ定員を増やすことができた。  ■認定給付課 【成果等】 ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができた。	■運営支援課 ○巡回訪問や電話等による助言・相談対応を行うことにより、保育施設における問題点を解決し、保育の質の向上を図ります。  ■環境整備課 ○令和4年度当初の開所に向けた募集を行い、引き続き、待機児童解消のため、必要な保育基盤の確保を進めます。  ■認定給付課 ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができました。今後も引き続き施設の運営を援助してまいります。	運営支援課、 環境整備課、 認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(3)①	224	家庭的保育事業の設置・運営支援	3歳未満児を対象とした保育基盤整備の一環として、自宅等の家庭的な雰囲気の中できめ細かな保育サービスを提供する家庭的保育事業について、保育需要を考慮し、必要な地域に設置するとともに、施設の巡回指導など指導・助言を行い、運営を支援する	<b>■運営支援課</b> ○巡回・指導：403回 [R元年度：346回] <b>■環境整備課</b> ○家庭的保育事業の定員数（令和3年度当初）216人（△11人） <b>■認定給付課</b> ○令和2年度給付費実績：636,093,020円	○ <b>■運営支援課</b> 【成果等】 ○巡回訪問や電話等による助言・相談対応をすることにより、保育の質の向上を図るとともに、運営を支援することができた。 <b>■環境整備課</b> 【成果等】 ○新たに1事業（5人分）を確保したものの、3事業の廃止等により、全体としては受入定員数は減少した。 <b>■認定給付課</b> 【成果等】 ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができた。	<b>■運営支援課</b> ○巡回訪問や電話等による助言・相談対応を行うことにより、保育施設における問題点を解決し、保育の質の向上を図ります。 <b>■環境整備課</b> ○引き続き、待機児童解消のため、必要な保育基盤の確保を進めます。 <b>■認定給付課</b> ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができました。今後も引き続き施設の運営を援助してまいります。	運営支援課、環境整備課、認定給付課	
	225	事業所内保育事業の設置・運営支援	企業等における仕事と子育ての両立支援を促すとともに、保育環境の向上を図るため、事業所内保育事業の設置を検討する事業者に対して相談対応等を行うとともに、施設の巡回指導など指導・助言を行い、運営を支援する	<b>■運営支援課</b> ○巡回・指導：107回 [R元年度：102回] <b>■環境整備課</b> ○事業所内保育事業の定員数（令和3年度当初）129人（+4人） <b>■認定給付課</b> ○令和2年度給付費実績：458,458,430円	○ <b>■運営支援課</b> 【成果等】 ○巡回訪問や電話等による助言・相談対応をすることにより、保育の質の向上を図るとともに、運営を支援することができた。 <b>■環境整備課</b> 【成果等】 ○定員変更により、待機児童が多い3歳未満児の受入定員を増やすことができた。 <b>■認定給付課</b> 【成果等】 ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができた。	<b>■運営支援課</b> 巡回訪問や電話等による助言・相談対応を行うことにより、保育施設における問題点を解決し、保育の質の向上を図ります。 <b>■環境整備課</b> ○事業の創設等を検討する事業者に対し、相談等の対応を行っていきます。 <b>■認定給付課</b> ○給付費の支払いにより安定した施設の運営を援助することができました。今後も引き続き施設の運営を援助してまいります。	運営支援課、環境整備課、認定給付課	
	226	居宅訪問型保育事業の設置・運営支援	障害、疾病等により集団保育が著しく困難な乳幼児等へ保育サービスを提供する居宅訪問型保育事業の創設を検討する事業者に対して相談対応等を行うとともに、指導・助言等を行い、運営を支援する	○令和2年度における相談実績なし	○ 【成果等】 ○創設相談が寄せられていないことから、特段の対応は行っていません。	○事業の創設を検討する事業者に対し、相談等の対応を行っていきます。	運営支援課、環境整備課、認定給付課	
	227	認定こども園整備補助		⇒ 整理番号004 参照				環境整備課
	228	私立幼児教育施設運営費等補助		⇒ 整理番号005 参照				環境整備課、認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
	2(3)①	229	幼稚園2歳児受入れ推進事業	多様な保育ニーズへの対応、児童福祉の向上及び幼児教育の振興を図るため、保育を必要とする2歳児を受け入れて保育を行う幼稚園に対し、必要経費の一部を助成する	○実施園数:3園 ○補助金交付額:1,551,690円	○ 【成果等】 ○保育を必要とする2歳児を受け入れて保育を行う幼稚園に対し必要経費の一部を助成し、多様な保育ニーズへの対応や児童福祉の向上及び幼児教育の振興を図ることができた。	○幼稚園2歳児受入れ推進事業にかかる経費に対し助成を行うことにより、今後も多様な保育ニーズへの対応や児童福祉の向上及び幼児教育の振興を図ってまいります。	認定給付課
2(3)②多様な保育サービス等の充実								
	2(3)②	230	病児・病後児保育事業	病気又は病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童で保護者の勤務の都合等のため家庭で育児を行うことが困難な児童を対象に、小児科医院や保育所等に付設された施設で保育を行う	○対象施設 6 箇所 ○利用実人数 460人	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により利用人数は昨年度と比較し、大幅に減っている。	○事業の広報を積極的に行うなどし、引き続き安心して市民の方に利用していただけるよう努めてまいります。	子供家庭支援課
	2(3)②	231	障害児等保育の充実	心身に障害のある児童等が、健常児とともに育つことを推進するため、保育の必要性があり、集団保育が可能な障害のある児童等の受け入れを充実する	○公立・私立保育所（園）等、合わせて628名を受け入れている。医療的ケア児の受け入れとして公立保育所4か所、私立保育所1か所の体制を整備している。 ○保育の中で、障害児と同等の特別な支援を要する児童を障害児等保育の職員配置の対象としている。 ○障害児等の状態が3対1の保育士配置では困難なケースに限り、保育所（園）からの申請を受けて、その障害児等保育の支援の程度を確認したうえで、要領に基づき助成を行った。 ○職員の資質向上のため、保育所の巡回指導等を実施した。 ○令和3年度からの医療的ケア児の受け入れ拡充に備え、安全なケアの提供を行うため看護師を対象とした実技研修を実施した。	○ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症防止の観点から、巡回は6月から開始した。 ○医療的ケア児受け入れ拡充について、各関係機関との意見交換や専門家からの助言を受け、令和3年度からの受け入れ拡充の準備及び周知を行った。	○保育所（園）の巡回訪問等を継続し、多様化する配慮を必要とする児童等（特別支援保育）に対応していきます。 ○令和3年度からの医療的ケア児の受け入れ拡充に対応し、看護師の研修や設備環境の整備を行います。	運営支援課
	2(3)②	232	産休明け保育の充実	産休明けで仕事に復帰する親の支援を目的に、生後8週を経過した乳児を受け入れる保育サービスの実施箇所拡大を新設保育施設の整備と合わせて推進するとともに、産休明け保育マニュアルの提供や保健師の派遣等により、産休明け保育実施施設を支援する	○保健師の巡回相談の希望調査と訪問を実施。	○ 【成果等】 ○保健師の巡回相談を実施し、保育環境等の助言を行い産休明け保育を実施する保育施設の支援をした。	○引き続き保健師・看護師による巡回相談の機会を継続していきます。	運営支援課、 環境整備課
	2(3)②	233	幼稚園預かり保育事業		⇒ 整理番号006 参照			環境整備課、 認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(3)②	234	保育所等における一時預かり事業	保護者の断続的・短時間就労や傷病、看護、育児に伴う心理的・肉体的負担などにより、家庭における保育が一時・緊急的に困難となる児童に柔軟に対応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所・認定こども園</li> <li>・延べ利用児童数： 32,837人【44,153人】</li> <li>・実施施設数 55箇所(公立 5箇所,私立 52箇所) 【59箇所(公立5箇所,私立54箇所)】</li> <li>○小規模保育事業A型・B型</li> <li>・延べ利用児童数 14,533人【15,251人】</li> <li>・実施施設数 35施設【33施設】</li> <li>○家庭的保育事業・小規模保育事業C型</li> <li>・延べ利用児童数 194人【158人】</li> <li>・実施施設数 7施設【7施設】</li> <li>○事業所内保育事業</li> <li>・延べ利用児童数 1,124人【1,495人】</li> <li>・実施施設数 8施設【9施設】</li> </ul> ※【】内はR元年度実績	○	【成果等】 ○家庭における保育が一時的に困難となる児童に対し、柔軟に保育サービスを提供することができた。	○実施保育所増に向けた調整を行い、保育サービスの拡充を図ります。特に、一般型一時預かり事業の実施には専用スペースが必要となることから、保育所整備に伴う拡充に努めます。	環境整備課、認定給付課
	235	延長保育（2時間以上）事業	保護者の就労形態の多様化に柔軟に対応した保育を行うため、通常の保育時間（11時間）の前後において、2時間以上の延長保育を実施する保育所を拡充する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○延べ利用児童数： 9,892人【16,160人】</li> <li>○実施施設数： 54箇所【63箇所】</li> </ul> ※【】内はR元年度実績	○	【成果等】 ○2時間以上の延長保育を行うことで、保護者の就労形態の多様化に対応することができた。	○実施保育所増に向けた調整を行い、保育サービスの実施箇所の拡充に努めます。	環境整備課、認定給付課
	236	休日保育事業	日曜・祝日等に保護者の就労等により、家庭における保育が困難となる児童を対象とした休日保育を実施し、子育て家庭への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所</li> <li>・延べ利用児童数 休日保育利用 4,036人【5,732人】 うち一時預かりとしての利用 233人【214人】</li> <li>・実施施設： 9箇所【9箇所】</li> <li>○認定こども園</li> <li>・延べ利用児童数 休日保育利用 378人【0人】 うち一時預かりとしての利用 2人【0人】</li> <li>・実施施設： 1箇所【0箇所】</li> <li>○小規模保育事業等</li> <li>・延べ利用児童数 25人【66人】</li> <li>・実施施設数 1施設【1施設】</li> <li>○事業所内保育事業等</li> <li>・延べ利用児童数 999人【620人】</li> <li>・実施施設数 3施設【2施設】</li> </ul> ※【】内はR元年度実績	○	【成果等】 ○日曜・祝日等に家庭における保育が必要な児童に、休日保育サービスを提供することができた。	○休日保育への需要は、今後も継続して見込まれますので、安定した保育サービスの供給確保に努めます。	環境整備課、認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(3)③ 保育の質の確保・向上							
2(3)③	237	公立保育所の地域拠点保育所としての機能の充実	地域拠点保育所として位置付けた22か所の公立保育所について、今後、地域における配慮を必要とする児童等への対応強化、地域内の保育施設・子育て支援ボランティア等多様な担い手との交流・連携、新設の保育施設や経験の浅い経営主体が運営する保育施設に対する相談・支援、大規模災害時の情報伝達や物資搬送の中継拠点としての役割を担っていくための機能充実を図る	○令和2年度は、6か所の地域拠点保育所に新たに専任の地域支援主任を配置し、所内における①保育所の基本機能・②地域の保護者等への支援機能・③地域の事業者等への支援機能との連携を図りながら、地域拠点保育所機能の底上げに向けた取り組みを進めた。	○【成果等】 ○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、保育施設等への訪問や研修開催等の活動が制約され、実質的な活動開始を6月からとした。 ○本市に寄贈を受けたマスク等を地域内の保育施設等に配付しながら、感染拡大防止への取り組みについて助言するなど、災害時における拠点としての役割を果たすことができた。	○保育施設等への巡回訪問やOJT・公開保育の受入れ等を通して、地域保育事業者の保育の質の確保に寄与していきます。 ○上記の活動のほか、配慮を必要とする児童等への対応の強化（特別支援保育）、地域子育て支援センターとしての機能（地域の保護者等への支援）との連携により、地域拠点機能の底上げを図っていきます。	運営支援課
2(3)③	238	乳幼児における食物アレルギー対応の充実	保育所（園）や認定こども園に対して、食物アレルギー児の入所に関する調査を実施し、各施設の状況を把握した上で、必要とされる研修会、マニュアルの見直しなどを検討・実施することで、施設におけるアレルギー対応の充実を図る	○食物アレルギー児の保育所入所状況調査を実施し、入所人数、原因食物や誤食防止策などについて把握した。 ○新設の保育所（園）・認定こども園や地域型保育事業等に対して「保育所給食食物アレルギー対応マニュアル」を配付した。 ○エピペン※を預かる保育所を保健師が訪問し、緊急時の対応とエピペンの取り扱いについての研修を実施した。 13施設 177名 [R元年度：11施設 191名]  ※エピペン：アドレナリン自己注射（アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和させ、ショックを防ぐ自己注射剤）	○【成果等】 ○新設の保育所（園）・認定こども園や地域型保育事業等の研修会で、食物アレルギー児への基本的な対応について説明をし、職員の理解を得ることができた。 ○保健師による研修により、食物アレルギーの緊急時の対応について理解が深まり、実際に受け入れる施設での共通理解が得られた。	○ほとんどの保育施設に食物アレルギー児が入所しているなか、「仙台市保育所給食食物アレルギー対応マニュアル」を基本とした対応がされており、食物アレルギー児に対しての安全な食事提供がされていることから、今後も研修会や巡回の機会を通して、適切な対応の徹底を図っていきます。 ○新設保育所や地域型保育事業等の職員は、食物アレルギーに関する研修会に参加する機会が少ないことから、研修会を実施していきます。	運営支援課
2(3)③	239	保育士等の職員研修の充実	子どもの保育及び保護者に対し適切な支援が行われるよう、保育士等を対象とした研修の充実に努め、職員の専門性の向上を図る	○階層別研修：328人 ○専門研修：889人 ○職場研修：815人 ○派遣研修：41人 ○スキルアップ研修：361人	▲【成果等】 ○仙台市保育所連合会主催研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を見送ることとした。また、オンラインで開催の一部の派遣研修についてはリモートで参加した。 ○仙台市主催研修や職場研修は、日程、会場の変更を行い、計画していた研修をほぼ実施することができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○仙台市主催研修等は予定通り実施しており、保育実践に必要な専門的知識や技能を習得する機会の提供ができた。	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により仙台市保育所連合会主催研修等が中止となりましたが、令和3年度の開催に向け、開催方法や内容を検討していきます。 ○すべての研修において、リモートでの開催や参加人数を会場収容人数の半数までにするなど感染拡大防止に努めながら、研修機会の場を作り、保育従事者の専門性を高めていきます。	運営支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(3)③	240	保育専門技術向上支援事業（スーパーバイズ事業）	児童一人ひとりの特性を踏まえたきめ細かな保育や保護者への適切な支援を行うため、発達心理学・臨床心理学等の外部専門家による施設の巡回相談を行い、幼稚園や保育所（園）、認定こども園の職員の保育専門技術の向上を図る	○保育所（園）：50箇所 延べ回数 149回 ○認定こども園：6箇所 延べ回数 18回 ○幼稚園：16箇所 延べ回数 48回	○ 【成果等】 ○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年5月から実施しているところ、順次6月からの開始とした。 ○外部専門家による巡回相談を実施し、児童及び保護者支援や保育士の専門技術の向上の取り組みを進めていくことができた。	○今後も継続して事業を実施するとともに、実施園への巡回を行い、保育専門技術の向上を図っていきます。	運営支援課
	241	特別（保育）支援コーディネーター養成事業	児童一人ひとりの特徴を踏まえたきめ細かな保育の実施や保護者への適切な支援を行うための研修を行い、さまざまな困難事例に対応できる基礎知識と実践力を身に付けたコーディネーター（保育施設内でキーパーソンとなる人材）の育成を図る	○私立保育園(所)・幼保連携型認定こども園 ・初級研修：中止 ・初級研修修了者を修了としたフォローアップ研修：中止 ○公立保育所 ・初級研修：29人 ・初級研修修了者を修了としたフォローアップ研修：33人	▲ 【成果等】 ○私立保育園(所)特別(保育)支援コーディネーター研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を見送ることとした。 ○公立保育所においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部内容を変更し、全日程を実施することができた。	○令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により私立保育園(所)の研修を中止しましたが、令和3年度の開催に向け、参加人数を会場収容人数の半数までにするなど感染拡大防止に努めながら実施していきます。 ○公立保育所では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容の設定を考慮したり、参加予定人数33名が会場収容人数の半数となる会場を用意し、引き続き特別(保育)支援コーディネーターを養成していきます。	運営支援課
	242	認可外保育施設に対する指導監督の充実	認可外保育施設に対する研修の充実に努めるとともに、運営や保育に関する指導・助言を実施し、より安全で良質な保育サービスの提供を促進する	○研修の開催 ・認可外保育施設保育従事者研修 225名 ・カウンセリング特別夜間講座 2回 26名 ・医師会研修 中止 ・歯科保健研修 中止 ○立ち入り調査 実地調査 105施設 書面での調査 自主点検表の提出 35施設 ○巡回訪問 27施設	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4～5月の巡回及び立ち入り調査は見送り、6月から順次再開している。 ○立ち入り調査 認可外保育施設指導監督基準に基づく立ち入り調査や、随時、巡回訪問をし、指導・助言を実施することで、重大事故の発生を抑え、児童の処遇向上につながった。	○引き続き立ち入り調査等を実施し、認可外保育施設の質の向上を図っていきます。	運営支援課
	243	保育士人材確保対策	潜在保育士の復職を支援する「保育士リターンセミナー」の開催等により、保育士の確保を図る また、雇用する保育士の宿舍を借り上げた事業者に対し、費用の一部を補助することにより、保育士の就業継続及び離職防止を図る	○令和2年10月8日・令和3年1月27日 保育士リターンセミナー開催 ○令和2年10月10日・11日 保育士のためのWEB合同就職説明会開催 ○保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 申請数 99施設219人 [R元年度：61施設103人]	○ 【成果等】 ○保育士リターンセミナーについては、2回の開催で35名の参加。うち少なくとも4名が市内保育所へ就職している。 ○保育士のための合同就職説明会は、WEBを利用して実施した。 ○保育士宿舍借り上げ支援事業については、利用数・交付金額ともに増加し、制度が浸透してきていることがうかがえる。	○保育士リターンセミナーについては、引き続き年2回の開催にむけ準備を進めています。 ○保育士のためのWEB合同就職説明会については、より効果的な開催のあり方について検討を重ね、今後の取り組みにつなげていきます。 ○保育士宿舍借り上げ支援事業については、今後の需要を把握し、適切な補助事業実施につなげていきます。	運営支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(3)③	244	保育教諭確保のための保育士資格取得支援事業	幼稚園教諭と保育士資格の両方の免許・資格を有する保育教諭を確保するため、認定こども園等に勤務する幼稚園教諭や認可外保育施設等の保育従事者等が保育士資格を取得するために要する経費等に対して助成を行う	○助成件数0件 [R元年度1件(3名)]	△ 【成果等】 ○令和2年度は実績0となったが、保育士確保のため引き続き制度の周知に努める必要がある。	○保育教諭の確保を図るため、引き続き制度の周知を図っていきます。	運営支援課
	245	栄養士雇用助成	入所児童の栄養管理、個別配慮(離乳食・食物アレルギー)への対応、食育計画の作成等を行うため、栄養士を配置する保育所等に対し、助成を行う	○保育所 ・施設数 151施設【152施設】 ・助成実績額 41,174,200円【40,830,700円】 ○認定こども園 ・施設数 31か所【20か所】 ・助成実績額 8,358,500円【5,496,000円】 ○小規模保育事業A型・B型 ・施設数 59か所【50か所】 ・助成実績額 15,251,400円【13,396,500円】 ○家庭的保育事業・小規模保育事業C型 ・施設数 0か所【0か所】 ・助成実績額 0円【0円】 ○事業所内保育事業 ・施設数 9か所【9か所】 ・助成実績額 2,473,200円【2,450,300円】	○ 【成果等】 ○栄養士の雇用に係る費用について助成することで、栄養管理等に係る保育所等への支援を行うことができた。	○今後も引き続き栄養士の雇用に係る助成を行い、保育所等での栄養管理に関する環境維持・向上に努めます。	認定給付課
	246	増員保育士等助成	保育士を手厚く加配することにより、入所児童の福祉の増進、職員の身体的・精神的休養、資質向上を図る研修参加の促進等を行うため、国の基準を上回る保育士を配置している保育所等に対し、助成を行う	○保育所 ・施設数 151か所【153か所】 ・助成実績額 653,562,800円【632,758,600円】 ○認定こども園 ・施設数 32か所【20か所】 ・助成実績額 114,091,000円【72,642,000円】	○ 【成果等】 ○平成29年度より、国の基準を上回る保育士を2名以上上回って配置し、小規模保育施設等の連携施設となり協定書を締結している保育所に対し、加配保育士に係る人件費の更なる助成を行うことで、入所児童の福祉の増進及び保育士の労働環境の改善に努めることができた。	○今後も引き続き加配保育士の雇用に係る助成を行い、児童の処遇及び保育士の労働環境改善に努めます。	認定給付課
	247	増員調理員助成	保育所等における食事の充実及び調理従事者の負担軽減を図るため、一定数以上の調理員を雇用する保育所に対し、助成を行う	○保育所 ・施設数 121か所【123か所】 ・助成実績額 138,977,100円【138,283,000円】 ○認定こども園 ・施設数 24か所【11か所】 ・助成実績額 28,537,300円【13,882,800円】	○ 【成果等】 ○加配調理員の雇用に係る経費を助成することで、食事の充実及び調理従事者の負担軽減を図ることができた。	○今後も引き続き加配調理員の雇用に係る助成を行い、食事の充実及び調理員の負担軽減に努めます。	認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
	2(3)③ 248	産休等代替職員雇用助成	保育所等職員が出産もしくは疾病または負傷により、長期間にわたって継続した休業を必要とする場合において、職員の母体の保護または専心療養の保障を図るとともに、施設における児童等の処遇の正常な実施を確保するため、産休等代替職員の雇用経費に対し、助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設数 9施設【12施設】</li> <li>・助成実績額 3,495,000円【4,393,000円】</li> </ul> </li> <li>○認定こども園 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設数 2か所【0か所】</li> <li>・助成実績額 371,000円【0円】</li> </ul> </li> <li>○小規模保育事業A型・B型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設数 0か所</li> <li>・助成実績額 0円</li> </ul> </li> <li>○家庭的保育事業・小規模保育事業C型 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設数 0か所</li> <li>・助成実績額 0円</li> </ul> </li> <li>○事業所内保育事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設数 0か所</li> <li>・助成実績額 0円</li> </ul> </li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <p>○産休等代替職員の雇用経費に対する助成を行うことで、保育士が産休等に入っている期間における児童等の処遇水準を維持することができた。</p>	○今後も引き続き助成を行い、児童の処遇水準の維持に努めてまいります。	認定給付課
	2(3)③ 249	保育士等の処遇改善	教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図り、質の高い教育・保育を安定的に供給できる「長く働くことができる」職場構築のため、職員の勤続年数や技能・経験に応じて、保育士等の処遇改善を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公定価格の「処遇改善等加算Ⅰ」及び「処遇改善等加算Ⅱ」を以下の対象施設に適用し、保育士等の処遇改善を図った。</li> <li>・保育所 対象施設数 153施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設 152施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設 142施設</li> <li>・認定こども園 対象施設数 38施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設 38施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設 32施設</li> <li>・幼稚園(施設型給付園) 対象施設数15施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設15施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設10施設</li> <li>・小規模保育事業A・B型 対象施設数 102施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設 102施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設 91施設</li> <li>・家庭的保育事業・小規模保育事業C型 対象施設数 53施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設 43施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設 37施設</li> <li>・事業所内保育事業 対象施設数 16施設 (処遇改善等加算Ⅰ) 賃金改善要件分適用施設 14施設 (処遇改善等加算Ⅱ) 適用施設 11施設</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <p>○保育所等に対し職員の処遇改善に係る加算を行うことで、保育所等に勤務する職員に対する賃金の改善を行い、保育士等の継続的な雇用の促進に努めることができた。</p>	○今後も処遇改善等加算Ⅰ及び処遇改善等加算Ⅱの加算適用施設を増加させるため、制度説明を各施設へ丁寧に行い、保育士等に対する処遇改善の拡充を図ります。	認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(3)③	250	病原性大腸菌対策助成	保育所等の衛生管理を強化するため、病原性大腸菌対策関連消耗品を購入した場合及び職員が病原性大腸菌O-157の検査を含んだ検便を実施した場合、それぞれに要した費用に対し、助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所</li> <li>・施設数 150か所【154か所】</li> <li>・助成実績額 16,229,320円【17,207,140円】</li> <li>○認定こども園</li> <li>・施設数 32か所【20か所】</li> <li>・助成実績額 3,673,240円【2,400,390円】</li> <li>○小規模保育事業A型・B型</li> <li>・施設数 97か所【88か所】</li> <li>・助成実績額 2,571,380円【2,413,950円】</li> <li>○家庭的保育事業・小規模保育事業C型</li> <li>・施設数 46か所</li> <li>・助成実績額 700,790円</li> <li>○事業所内保育事業</li> <li>・施設数 15か所【14か所】</li> <li>・助成実績額 373,550円【333,233円】</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <p>○病原性大腸菌対策関連消耗品及び検便に係る費用について助成を行うことで、保育所等の衛生管理を強化することができた。</p>	○今後も引き続き病原性大腸菌対策経費の助成を行い保育所等の衛生管理強化の促進に努めます。	認定給付課
	251	災害対応備蓄推進事業費助成	災害発生時にも、保育を必要とする児童の保育を継続するため、新設保育所等が災害備蓄としての非常食を購入する費用に対し、助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所</li> <li>・施設数 7か所【3か所】</li> <li>・助成実績額 253,300円【109,700円】</li> <li>○認定こども園</li> <li>・施設数 9か所【17か所】</li> <li>・助成実績額 51,100円【507,800円】</li> <li>○小規模保育事業A型・B型</li> <li>・施設数 5か所【9か所】</li> <li>・助成実績額 42,200円【76,700円】</li> <li>○家庭的保育事業・小規模保育事業C型</li> <li>・施設数 0か所</li> <li>・助成実績額 0円</li> <li>○事業所内保育事業</li> <li>・施設数 1か所【2か所】</li> <li>・助成実績額 30,500円【9,800円】</li> </ul>	○	<p>【成果等】</p> <p>○災害備蓄としての非常食を購入する費用の助成を行うことで、災害時の保育の継続について支援を行うことができた。</p>	○今後も引き続き災害備蓄品購入に係る費用の助成を行い、非常食の備蓄を促進し、災害時の保育の継続を図ります。	認定給付課
2(3)④幼児教育の充実（再掲）								
2(3)④	252	幼保小連携の推進		⇒ 整理番号001 参照			運営支援課、学びの連携推進室	
2(3)④	253	幼稚園教員研修支援		⇒ 整理番号002 参照			運営支援課	

## 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(3)④	254	保育教諭確保のための 幼稚園教諭 免許状取得 支援事業		⇒ 整理番号003 参照			運営支援課
2(3)④	255	認定こども 園整備補助		⇒ 整理番号004 参照			環境整備課
2(3)④	256	私立幼児教 育施設運営 費等補助		⇒ 整理番号005 参照			環境整備課, 認定給付課
2(3)④	257	幼稚園預か り保育事業		⇒ 整理番号006 参照			環境整備課, 認定給付課
2(3)④	258	絵本を通し た心豊かな 子育て支援 事業		⇒ 整理番号007 参照			市民図書館

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
<b>2.妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実</b>							
<b>(4) 個別のニーズに応じた子ども・子育て家庭への支援の充実</b>							
<b>2(4)①子どもの貧困対策の推進</b>							
2(4)①	259	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援及び心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止する	○全5区、市内20か所に教室を開設し、生活保護及び児童扶養手当全額受給世帯の中学生を対象に、学習支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、教室における集合型の事業開催ができない期間は、オンライン教室の開催や個別電話相談を行った。 ○対象世帯の保護者に対し、面談や電話による定期的な連絡相談を行うなど家庭生活への支援も併せて行った。 ○利用者数 278人	○ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により2か月間休校したものの、利用者数は20名の減少にとどまっている。 ○利用者個々の状況に応じて関係機関と連携した支援を継続している。	○オンラインでの支援等、生徒に合った支援を継続していきます。 ○対象世帯へ事業周知を継続し、参加者の拡大を図っていきます。	保護自立支援課、 子供家庭支援課
2(4)①	260	窓口・制度につなげる相談支援体制づくり	さまざまな理由で相談窓口、各種支援制度につなげることが難しい子育て世帯を対象に、相談しやすい体制づくりを検討する	○困難な課題を抱える家庭へのアプローチとして、訪問型支援（アウトリーチ型の支援）のあり方について検討するため、令和3年度の市民協働事業としてNPO団体と事業実施に向けて協議を行った。	○ 【成果等】 ○市民・民間団体等と連携した支援の方法を検討している。	○市民協働事業及びひとり親家庭等生活向上支援事業により、家庭を適切な支援制度につなげるためのアウトリーチ型支援の在り方について検討を続けます。	子供家庭支援課
2(4)①	261	子どもの居場所づくり支援事業		⇒ 整理番号065 参照			子供家庭支援課
2(4)①	262	中途退学未然防止等事業	生活困窮世帯の高校生等の中途退学を防止し、また、中途退学に至った後のステップにつなげるため、進級支援や面談等によるサポートを実施することなどにより、貧困の連鎖を防止する	○市内3か所に教室を開設し、生活保護及び児童扶養手当全額受給世帯の高校生を対象に、学習支援を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、教室における集合型の事業開催ができない期間は、オンライン教室の開催や個別電話相談を行った。 ○対象世帯の保護者に対し、面談や電話による定期的な連絡相談を行うなど家庭生活への支援も併せて行った。 ○利用者数(拠点) 153人 利用者数(訪問支援) 36人	○ 【成果等】 ○令和元年度より利用者数は増加している。 ○利用者個々の状況に応じて関係機関と連携した支援を継続している。	○オンラインでの支援等、生徒に合った支援を継続していきます。 ○対象世帯へ事業周知を継続し、参加者の拡大を図っていきます。	保護自立支援課、 子供家庭支援課
2(4)①	263	就学援助		⇒ 整理番号191 参照			学事課
<b>2(4)②ひとり親家庭等への支援の充実</b>							
2(4)②	264	仙台市配偶者暴力相談支援センター事業		⇒ 整理番号079 参照			男女共同参画課、 子供家庭支援課、 各区家庭健康課、 宮城総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(4)②	265	難病サポートセンター事業	仙台市難病サポートセンターを設置し、難病の子どもと家族に対し、関係機関と連携しながら、電話・面接による支援や訪問支援を行う	○医療機関や区役所、患者団体等と連携し各種相談支援を行った。 ・電話相談：504件【545件】 ・面接相談：79件【111件】 ・訪問相談：2件【2件】 ・メールでの相談：31件【32件】 ・同行支援等：0件【12件】 ※【】内はR元年度実績 ※相談件数には18歳以上を含む。	○  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年手続きが必要となる指定難病の更新手続きが不要となり、更新手続きの問い合わせをきっかけとした相談が減った。また、4～5月は面接相談を中止していた。そのため、前年度と比べ年間相談件数が減少した。しかしながら、面接を中止していた期間も電話・メール等での相談は継続していたため、大幅な減少を防ぐことができた。	○コロナ禍においても患者の悩みや不安の解消、孤独感の軽減を図ることが必要です。そのため、電話やメール等での相談支援を継続していきます。また、相談窓口の周知の工夫を図るとともに、今後の相談支援の在り方について検討を行っていきます。	障害者総合支援センター	
	266	発達相談支援センター運営	発達障害児と家族の育ちや暮らしの困難さなどに対して、本人・家族が望んでいる地域生活の実現のため、他機関と連携しながら、子育てや地域生活などに関する相談支援を行う	○発達相談件数（南北アーチル合計） ・新規相談数：1,301件【1,526件】 ・継続相談数：6,888件【7,048件】 ・合計相談数：8,189件【8,574件】 （件数は乳幼児・学齢児の合計） ○施設等支援状況 （施設訪問での相談件数 南北アーチル合計） ・乳幼児：705件【1,038件】 ・学齢：690件【666件】 ・合計：1,395件【1,704件】 ※【】内はR元年度実績	▲  【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園、学校からの相談が減少した。加えて、保健福祉センター等での乳幼児健診の休止期間があったことから、相談数が減少した。 それに伴い、乳幼児期は施設訪問支援数も減少した。学齢期については発達障害の内容や対応・適応に関する継続相談等が増加しており、学校側の希望もあり小学校等への施設訪問支援数も増加した。	○感染予防対策を継続し、定型的な相談体制によらず工夫しながら対応していきます。	各発達相談支援センター	
	267	子供家庭総合相談事業		⇒ 整理番号081 参照				子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	268	母子保護の実施（母子生活支援施設への入所）	保護を要する女子及びその者の監護すべき児童を、母子生活支援施設において保護し、必要な相談・指導・援護等を行うことにより、母子家庭の生活を支援し、福祉の向上を図る	■ 子供家庭支援課 ○実施世帯数 39世帯 ※仙台むつみ荘、仙台つばさ荘の他に広域利用として市外の母子生活支援施設に入所した世帯も含む。	○  ■ 子供家庭支援課 【成果等】 ○施設において、入所者に対する生活指導及び就職指導等を行い、福祉事務所と連携をとりながら母子の自立促進のための適切な支援を行うことができた。	■ 子供家庭支援課 ○保護が必要な世帯に対して、引き続き適切な支援・相談等を行ってまいります。	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	
	269	母子・父子・寡婦福祉貸付金		⇒ 整理番号175 参照				子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課
	270	寡婦（寡夫）控除みなし適用		⇒ 整理番号176 参照				子供家庭支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(4)②	271	ひとり親家庭等日常生活支援事業	母子家庭、父子家庭及び寡婦が、自立を図るための修学等もしくは疾病等により一時的に生活援助や保育サービスが必要な場合、または、生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じた場合に、家庭生活支援員を利用者の居宅に派遣し、日常生活支援を行うことにより、対象家庭等の生活の安定を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 派遣先実件数 21件</li> <li>○ 利用延べ時間数 444時間</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ ひとり親家庭等の生活の安定のために、家庭生活支援員の派遣を実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ ひとり親家庭等の生活の安定のために、家庭生活支援員の派遣を行います。</li> </ul>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	
	272	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	ひとり親家庭の父または母の主体的な能力開発の取組を支援するため、教育訓練講座を受講するひとり親家庭の父または母に対し、自立支援教育訓練給付金を支給することにより、ひとり親家庭の自立の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 講座指定申請件数 26件</li> <li>○ 訓練費支給件数 17件</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ 申請に基づき、ひとり親家庭の自立の促進を図るための適切な講座指定、支給を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 制度の周知等を行い、ひとり親家庭の生活の負担軽減を図ります。</li> </ul>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	
	273	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業	ひとり親家庭の父または母の就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格取得を促進するため、当該資格に係る養成訓練の受講期間のうち一定期間について、高等職業訓練促進給付金を支給するとともに、職業訓練修了支援給付金を修了後に支給することにより、資格取得を容易にし、生活の負担軽減を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 支給実績</li> <li>・ 高等職業訓練促進給付金 41人</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>【成果等】</li> <li>○ ひとり親の就職に有利な資格を取得するための支給を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供家庭支援課</li> <li>○ 制度の周知等を行い、ひとり親家庭の生活の負担軽減を図ります。</li> </ul>	子供家庭支援課、各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	
	274	仙台市ひとり親家庭等相談支援センター事業	仙台市母子家庭相談支援センター及び仙台市父子家庭相談支援センターを設置し、個別の家庭状況・就業適性・就業経験等に応じた就業相談、生活相談及び情報提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就業相談</li> <li>・ 就業相談件数：560件</li> <li>・ 就業実績：32人</li> <li>○ 就業支援講習会等</li> <li>・ 114人受講</li> <li>○ 特別相談</li> <li>・ 相談件数：246件</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>【成果等】</li> <li>○ ひとり親家庭等の生活の安定と向上のために、自立を促進するための施策を総合的かつ計画的に展開することができた。</li> </ul>	○ 今後とも、ひとり親家庭等の生活の安定と向上のために、職員の資質向上を図りながら、専門機関との連携のあり方を検討するとともに、子育て・生活支援や就業支援等の支援メニューを組み合わせた自立支援プログラムを策定し、支援及びアフターケアを行います。	子供家庭支援課	
	275	養育費の確保に関する支援の推進		⇒ 整理番号177 参照				子供家庭支援課
	276	健診後のフォローの充実		⇒ 整理番号090 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	277	区役所等における発達相談の機能強化		⇒ 整理番号147 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
2(4)②	278	児童扶養手当支給		⇒ 整理番号188 参照			子供保健福祉課, 各区保育給付課, 各総合支所保健福祉課
	279	母子・父子家庭医療費助成		⇒ 整理番号189 参照			子供保健福祉課, 各区保育給付課, 各総合支所保健福祉課
	280	特定妊婦と疑われる者に対する産科受診等支援		⇒ 整理番号152 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	281	外国につながる子ども支援事業		⇒ 整理番号033 参照			交流企画課
	282	院内学級学習環境整備		⇒ 整理番号039 参照			特別支援教育課
2(4)③障害のある子どもなどへの支援の充実							
2(4)③	283	障害者家族支援等推進事業	障害者（児）の家族に代わり、一時的な介護サービスを提供することにより、障害者（児）と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域生活支援を行う	○拠点施設8箇所（令和2年4～9月）、実施施設1箇所、その他1箇所にて実施した。 日中介護 14,190時間 宿泊介護 703泊 外出介護 17時間	○  【成果等】 ○財源を確保し、拠点施設で実施していた支援は令和2年10月から給付費事業である短期入所、日中一時支援へ移行した。従前の支援体制を維持できるよう調整し、移行に伴う大きなトラブルもなくサービスを提供することが出来た。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用控え等があったなか、感染症対策を講じたうえで可能な限りの受け入れを実施した。	○事業を継続する拠点施設以外のその他施設1箇所については、住み慣れた地域での生活が維持されるよう、引き続き安定的なサービス提供に取り組んでいきます。	障害者支援課
	284	放課後等デイサービス事業	障害のある児童・生徒に、放課後や夏休み等、長期休暇中の活動の場を提供するとともに、ボランティアや仲間との交流、遊びや生活経験の機会を作り、自立に向けた支援を行う また、主に重症心身障害児が身近な場所で放課後支援を受けられるように、放課後等デイサービス事業所の整備を促進する	○市内135事業所において、放課後等デイサービス事業を実施した。 ・利用者延べ人数：277,993人（135施設） 【253,172人（127施設）】 （令和元年度）	○  【成果等】 ○市内事業所が8施設増加し、108人分の受け入れ枠拡大が図られたことに伴い、より多くの利用を希望する児童に対して、必要なサービスを提供することができた。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○前年度と比較し、利用者数・事業所数が増加しており、ニーズが高まっている。	○今後は、前年度に引き続き、利用ニーズと受け入れ枠のバランスを考慮しながら利用回数の取扱い等について検討していくとともに、療育の質のさらなる向上や、重症心身障害児受入事業所のさらなる拡充にも取り組んでまいります。	障害者支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
2(4)③	285	在宅障害児福祉サービス推進	障害児（者）の自立した地域生活の支援と社会参加の促進のため、ホームヘルプサービス、短期入所、相談支援などの、在宅障害児（者）に対する各種事業を実施する	○令和3年3月に支給決定を受けている障害児の数 ・ホームヘルプサービス：167人 ・障害児短期入所：422人	○ 【成果等】 ○区や相談支援事業所の窓口相談等における障害児のサービスについての説明を通して、サービスを必要とする多くの方に利用していただき、障害児者及びその家族が安心して生活を送れるよう取り組んでいる。	○引き続き、重度の障害児への支援についても重点的に取り組んでいきます。	障害者支援課	
	286	児童発達支援センター運営	発達に遅れのある幼児に対して、障害特性に応じた療育を行い、子ども一人ひとりの発達を促す	○発達の状態や特性に応じた障害児支援と家族支援 ・利用実人数：334名（11施設） [R元年度実績358名（11施設）]	○ 【成果等】 ○就学前の児童が、適切な環境の中で集団療育を受けることができるよう、特性や生活状況に応じた療育を行っている。	○療育支援に加えて、地域支援、家族支援の充実を図ります	障害者支援課、各発達相談支援センター	
	287	難病サポートセンター事業		⇒ 整理番号265 参照				障害者総合支援センター
	288	障害児補装具費支給事業	日常生活を送る上で、その障害を補うのに必要な補装具を交付・修理することによって、障害のある子どもの福祉を増進する	○支給件数 601件【601件】 ・内訳 購入 426件【419件】 修理 175件【182件】 借受け 0件【0件】 ※【】内はR元年度実績	○ 【成果等】 ○例年と比し件数はほぼ横這いであり、申請された種目について、速やかに補装具費の支給を行うことができた。	○補装具を必要とする障害児に対して、引き続き適正かつ迅速に製作費用を支給できるよう努めます。	障害者総合支援センター	
	289	障害児日常生活用具費支給事業	障害児が必要とする日常生活用具の購入または修理の費用を支給することにより、障害のある子どもが日常生活をより快適に送ることができるようにする	○給付件数 2,329件【令和元年度：2,387件】	○ 【成果等】 ○申請された種目について、速やかに日常生活用具購入等の費用の支給を行うことができた。	○日常生活用具を必要とする障害児にに対し、引き続き適正かつ迅速に給付できるよう努めます。	障害者総合支援センター	
	290	難聴児補聴器購入等助成事業	身体障害者手帳の対象とならない軽・中等度難聴児の補聴器購入費用の助成をすることにより、聴こえの確保と言語の発達を支援する	○助成件数 30件【13件】 内訳 補聴器本体：22件【8件】 FM補聴システム：4件【補聴器本体と同時申請3件】【3件】 イヤモード交換：7件【3件】 ※【】内はR元年度実績	○ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症による申請件数の減少等は見られず、例年通りかつ予測どおりの申請件数となっている。	○例年通りの周知を実施し、適切かつ迅速な助成の決定を行います。	障害者総合支援センター	
	291	発達相談支援センター運営		⇒ 整理番号266 参照				各発達相談支援センター
	292	健診後のフォローの充実		⇒ 整理番号090 参照				子供保健福祉課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	2(4)③ 293	先天性代謝異常検査事業		⇒ 整理番号142 参照			子供保健福祉課
	2(4)③ 294	特別児童扶養手当支給		⇒ 整理番号181 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
	2(4)③ 295	未熟児養育医療給付		⇒ 整理番号182 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
	2(4)③ 296	自立支援医療費（育成医療）支給		⇒ 整理番号183 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
	2(4)③ 297	小児慢性特定疾病対策事業		⇒ 整理番号184 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
	2(4)③ 298	小児慢性特定疾病児童とその家族への支援	小児慢性特定疾病児童の家族に対する療育相談会を行うとともに、関係職員に対する研修会等を実施し、相談体制の強化を図る また、自立支援員を配置し、患者の自立に向けた支援を行う	○小児慢性特定疾病講演会・相談会 年間3回開催 延べ59名参加 【年間4回開催 延べ187名参加】 ○自立支援員相談件数 延べ825件【延べ161件】 ※【】内はR元年度実績	○  【成果等】 ○講演会・相談会の開催や自立支援相談員による相談の実施により、多くの方に相談・支援の機会を提供することができた。	○慢性疾病を抱える児とその家族の不安や悩みに対する相談を受ける機会として、講演会や相談会を継続していきます。 ○また、支援者が支援するために必要な知識等を習得することを目的に、研修会を継続していきます。	子供保健福祉課
	2(4)③ 299	児童館特別支援コーディネーター養成事業		⇒ 整理番号066 参照			児童クラブ事業推進課
	2(4)③ 300	児童館等要支援児受け入れ事業		⇒ 整理番号073 参照			児童クラブ事業推進課
	2(4)③ 301	障害児等保育の充実		⇒ 整理番号231 参照			運営支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
	2(4)③ 302	保育専門技術向上支援事業（スーパーバイズ事業）		⇒ 整理番号240 参照			運営支援課
	2(4)③ 303	特別（保育）支援コーディネーター養成事業		⇒ 整理番号241 参照			運営支援課
	2(4)③ 304	就学支援推進事業	障害のある子どもの就学支援や教育相談の充実を図り、特別支援学級等の配置、教育環境の整備など、児童生徒一人ひとりの個性を生かした教育を推進する	○障害のある子どもの就学の推進 仙台市就学支援委員会審議件数:延べ999件 ○特別支援学級等の適正設置,教育環境備 学級設置校:小学校118校,中学校63校 ○特別支援学級指導支援員配置 71人	○ 【成果等】 ○仙台市就学支援委員会で延べ999件の審議を行うことにより、児童生徒一人一人のニーズに合った適切な教育の場を検討することができた。 ○在籍人数が多く、指導が困難になっている特別支援学級に対して支援員71人を配置し、学級担任を支援したことにより、児童生徒一人一人の障害の状態や特性等に応じたきめ細かい指導につなげることができた。	○児童生徒の実態に応じた適切な教育の場を検討し、必要に応じて特別支援学級の設置を行うなど、一人一人にきめ細かな指導をできる体制づくりを通して、特別支援教育の推進を図ります。 ○例年、支援員の人員が不足する状況もあることから、ハローワーク等を活用することにより人材確保に努めます。 ○今後も継続して支援員配置事業を行い、特別支援学級における教育の充実を図ります。	特別支援教育課
	2(4)③ 305	発達障害児等教育推進	学習や対人関係などに困難さがあり、LD、ADHD等発達障害のある児童生徒に対する各小中学校の取組支援のための施策を展開し、子どもたちが円滑に学習でき、楽しい学校生活を送りながら明るく育つようにする	○発達障害児教育検討専門家チーム ケース検討会:9回 ○通常の学級への指導補助員配置 補助員配置校数:114校 対象児童生徒数:313人 補助員数:212人 ○学校生活支援巡回相談 訪問学校数:63校 対象児童生徒数:135人	○ 【成果等】 ○発達障害児教育検討専門家チーム 指導困難事例がある4校でケース検討会を実施したことにより、実施校での指導の改善が図られた。 ○通常の学級への指導補助員配置 通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒313人に対して補助員を配置し、学級担任の指導を支援したことによって、配置対象の児童生徒の状態の改善を図ることができた。併せて、配置対象学級の指導を充実させることができた。 ○学校生活巡回相談 各市立学校が、発達障害などがあり特別な配慮を要する児童生徒について、専門家からの具体的な助言を受け、適切な対応につなげることができた。	○発達障害児教育検討専門家チーム 今後も継続して事業を行い、各校での取り組みを支援し、発達障害などがあり特別な配慮を要する児童生徒に対する教育を充実させます。 ○通常の学級への指導補助員配置 例年、補助員の人員が不足する状況もあることから、市政だより、市HPへの掲載およびハローワーク等の活用により人材確保に努めます。 ○学校生活巡回相談 今後も事業を継続して行い、各校での取り組みを支援し、発達障害などがあり特別な配慮を要する児童生徒に対する教育を充実させます。	特別支援教育課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
<b>3.地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり</b>							
<b>(1) 身近な地域の子育て支援機能の充実</b>							
<b>3(1)①多様な担い手による子育て支援ネットワークの強化</b>							
3(1)①	306	小地域福祉ネットワーク等推進事業	地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動の中で、子育て家庭等が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、民生委員児童委員やボランティア団体等との連携による子育てサロン等の活動を推進する	○コロナ禍で子育てサロンの開催は、上半期については概ね見合わせている地区が多かった。下半期は感染症対策をとりながら開催をしている地区があった。	▲  【成果等】 ○感染症対策をとりながら子育てサロンの開催を推進した。	○感染症対策をとりながらサロンを開催していく方法を模索し、引き続き検討していきます。	社会課
3(1)①	307	仙台すくすくサポート事業		⇒ 整理番号160 参照			子供未来局総務課
3(1)①	308	のびすくにおける専門の相談員の配置		⇒ 整理番号195 参照			子供未来局総務課
3(1)①	309	全市的な子育て支援ネットワークの構築	のびすく（子育てふれあいプラザ等）を中心とした地域の子育て支援者等の相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図る	■ 子供未来局総務課 ○子育て支援者が集まり、互いの活動内容等に触れながら、直接顔を見て話し合える「交流会」を開催した。 参加者数：51名 [R元年度：60名] ○仙台市内の子育て情報を提供するインターネット上のポータルサイト「せんだい杜の子育てナビ」の運用を継続して行った。（「せんだいのびすくナビ」の開設に伴い、令和2年度末をもって運用終了）	○  【成果等】 ○「交流会」では、意見交換会を実施し、子育て支援者同士がお互いの活動の理解を深めるとともに、支援者のモチベーションアップにつながった。 ○「せんだい杜の子育てナビ」では、母親目線でのブログ形式の情報提供により、身近な子育て情報を提供した。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○「交流会」は、毎年様々なテーマを設けて支援者同士の情報交換を行っており、参加者から高い評価を受けている。また、参加者アンケートでは、「コロナ禍で支援者同士が集まる場も無かったので、情報交換もできて参考になった」等の声をいただいたほか、97.7%の方から交流会について、とてもよかった又はよかったとの回答をいただいた。	■ 子供未来局総務課 ○さらなるネットワークの強化を図るため、継続して交流会など支援者支援の取り組みを実施していきます。	子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 宮城総支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
3(1)①	310	地域の子育て支援団体への支援	育児サークルや子育てサロンなどの子育て支援団体を対象とした研修や交流会の開催、広報等の支援により、地域における子育て支援活動の活性化を図る	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により活動継続が困難となった団体があるなど、登録団体数は、減少傾向にある。</p> <p>○子育て支援活動団体登録数 ・132団体〔令和2年度末現在〕〔R元年度末：144団体〕</p>	○	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>【成果等】</p> <p>○育児サークル及び子育てサロン、託児ボランティア、さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。</p>	<p>■ 子供未来局総務課</p> <p>○引き続き、本市のホームページなどで本制度について広報し、登録団体数の増加に努めます。</p>	子供未来局総務課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
	310			<p>■ 青葉区</p> <p>○育児支援関係機関連絡会議 ・5地区8回実施、延べ51団体参加</p> <p>○育児支援情報提供 ・青葉区育児サークルや子育てサロン登録名簿の窓口配布やホームページの掲載。</p> <p>○子育てサロン等での健康教育・育児相談の実施 ・8か所 12回 延べ129人参加</p>	▲	<p>■ 青葉区</p> <p>【成果等】</p> <p>○育児支援関係機関会議 参加機関同士で事業共同開催の誘い等、地域の育児支援機関が連携して育児支援となるきっかけになっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら工夫をして活動していることを共有し、各活動に活かすことができている。一方で感染症の影響で中止となっている地域イベントもある。</p> <p>○子育てサロン等での健康教育・育児相談 地域の母子を取り巻く環境や情報の共有や連携の一助となっている。中止が続いている団体もある。</p>	<p>■ 青葉区</p> <p>○今後も親子の子育て環境を整えることを目指し、地域で育児支援を行っている機関・人材を把握、子育て支援を共に考えられる関係を構築してまいります。</p> <p>○地域サロン等の開催が難しい状況もありますが、地域の育児支援者等と随時連絡を取りながら、子育て支援をしてまいります。</p>	子供未来局総務課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課
				<p>■ 宮城総合支所</p> <p>○市民協働による子育て支援活動 －「チームai子」による活動 企画打合せ：7回 10月よりイベント再開となり、4回実施〔R元年度：企画打合せ11回、イベント11回〕 －「こみゆ〜んひろば」による活動 事務局会2回 9月より定例会を再開し3回実施〔R元年度：事務局会5回、定例会6回〕</p> <p>○宮城地区子育て支援ネットワーク会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一堂に会することが困難であることから、令和2年度は対象機関を56機関とし、紙面開催とした。〔R元年度：2回開催 参加者89名〕</p> <p>○子育て支援機関・団体等の情報発信のため、おさんぽマップを更新し、窓口等で配布</p> <p>○児童館や子育て支援センター等における健康教育・健康相談の実施</p>	▲	<p>■ 宮城総合支所</p> <p>【成果等】</p> <p>○市民協働による子育て支援活動のうち、「チームai子」による活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら10月より再開。「宮城地区子育て応援団こみゆ〜んひろば」は、9月より再開し、新型コロナウイルスの影響下における各団体、個人の方の活動状況を共有した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、地域に出向いて健康教育・健康相談を実施した。</p>	<p>■ 宮城総合支所</p> <p>○「チームai子」、「宮城地区子育て応援団こみゆ〜んひろば」とともに、地域における子育て支援力の向上に向け、市民の意見を尊重しながら、市民協働による活動を継続していきます。</p> <p>○宮城地区子育て支援ネットワーク会議には「子育てに関する情報を共有する場」としての役割を期待されていることから、地域の実情に合わせた運営を検討していきます。</p> <p>○子育て支援機関・団体等の情報発信は、各機関・団体と連携を図りながら、今後も継続して行います。</p> <p>○健康教育・健康相談は、今後も依頼元の機関・団体と課題の共有等、連携を図りながら実施していきます。</p>	子供未来局総務課、各区家庭健康課、各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(1)①	310	地域の子育て支援団体への支援	育児サークルや子育てサロンなどの子育て支援団体を対象とした研修や交流会の開催、広報等の支援により、地域における子育て支援活動の活性化を図る	<p>■宮城野区</p> <p>○宮城野区児童虐待防止ネットワーク会議（6ブロック） 9月より実施</p>	<p>○</p> <p>■宮城野区 【成果等】 ○「児童虐待防止ネットワーク会議」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回あたりの参加者を減らし、その分開催回数を4回から6回に増やして実施し、子育て支援機関と虐待防止に関する情報の共有と意見交換を行った。</p>	<p>■宮城野区</p> <p>○児童虐待の予防・早期発見・迅速な対応に向け、会議等を通し関係機関の取り組みを支援してまいります。</p>	<p>子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課</p>
				<p>■若林区</p> <p>○育児サークル交流会 計1回（全3回予定） ○輪っ！かばやし子育て応援団 役員事務局会議開催 計2回 臨時活動委員会開催 計1回</p>	<p>▲</p> <p>■若林区 【成果等】 ○育児サークル交流会 新型コロナウイルス感染症防止の観点より、区役所での交流会は令和2年度は中止。保健師の地区活動の一環としても、サークル活動の場に担当が外向く形で、サークル訪問の形態をとっている。 ○輪っ！かばやし子育て応援団 ・サロン活動：令和2年度中は中止。これを機に、実情に即した活動を目指し、関係者とともに再編を検討した。 ・役員事務局会議にて、応援団活動の目的と役割を再確認。今後の目指すべき子育て支援ネットワークのあり方及び、応援団の位置付けについて検討・合意形成を行った。当該名称を使用していた活動は終了とし、新たな位置づけでの活動を計画する準備委員会を設置した。  【事業に対する客観的意見・評価】 ○育児サークル交流会 実際に活動している場に出向くことで、区での交流会では見えなかった活動上の困り間や参加者の反応などが分かるようになった。コロナ禍ではこの形態のほうが母らにニーズに合っている。 ○輪っ！かばやし子育て応援団 当該名称を使用していた活動を終了を受けて、今後は時代や地域の実状に即した有機的で効果的なネットワークの構築及び連携の強化を行っていく必要がある。 ・サロン活動：より地域に根差した住民主体の居場所とするべく、地区保健活動と連動させ、自主的な運営体制に再編する必要がある。</p>	<p>■若林区</p> <p>○育児サークル交流会 新型コロナウイルス感染症への感染予防の観点から、サークル活動の場に訪問する形態を継続することとします。事業担当だけでなく、地区担当保健師と育児サークル参加者とのつながりや関係性の構築を図っていきます。 ○新子育て支援推進ネットワーク事業 ・「子育てするなら若林」を目指して、区民・子育て支援関係機関・行政が協働し、時代や地域の実状に即した有機的で効果的なネットワークを新たに構築し、従来以上の関係の強化を図っていきます。 ・サロン活動：関係機関等との協議を丁寧に重ねながら、住民にとって身近なサービスの充実に向けて取り組みを行います。</p>	<p>子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課</p>

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
3(1)①	310	地域の子育て支援団体への支援	育児サークルや子育てサロンなどの子育て支援団体を対象とした研修や交流会の開催、広報等の支援により、地域における子育て支援活動の活性化を図る	<b>■ 太白区</b> ○太白区育児サークル応援隊「たい子さん」定例会8回〔R元年度：12回〕 ○リーダーズカフェ 3回 7団体〔R元年度2回〕 ○たい子主催のウェルカムパーティー 1回 1組 2人〔R元年度：ネットワーク主催ウェルカムパーティー 2回 28組 64人〕 ○子育て支援ネットワーク会議 1回 26団体(延べ47人)〔R元年度：6回 20団体 延98人〕 ○子育て支援ネットワーク研修 0回〔R元年度：1回 25人〕 ○子育て井戸端会議 2回 延べ64人〔R元年度：3回 延109人〕 ○たいはく☆元気っこ応援隊・全体研修会 中止〔R元年度：1回 105人〕	▲	<b>■ 太白区</b> <b>【成果等】</b> ○「たい子さん」と協働でリーダーズカフェを開催し、育児サークル代表者の不安解消に努めた。 ○「たい子さん」とともに、育児サークルマップの複製・幼児健診会場への掲示や、転入者向けのウェルカムパーティーを実施した。 ○子育て支援ネットワーク会議を開催し、地域の子育て支援施設が活動上の悩みや対応状況を共有した。 ○子育て井戸端会議では、地域の子育てに関する現状や課題を共有し、子育て情報誌（マップ）を作成した。 ○たいはく☆元気っこ応援隊・全体研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	<b>■ 太白区</b> ○今後も「たい子さん」とともに、区内の育児サークル・子育てサロンの活性化に努めます。 ○子育て支援ネットワーク会議を定期的で開催するとともに、研修を実施し、支援者のスキルアップに努めます。 ○「太白区子育て支援ネットワーク会議」や「子育て井戸端会議」により、地域の関係機関との連携を密にし、地域の子育て力の向上を図ります。	子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 秋保総合支所</b> ○児童館と共催での親子講座は2回実施（新型コロナウイルス感染症の影響により、3回のうち1回中止）。	▲	<b>■ 秋保総合支所</b> <b>【成果等】</b> ○児童館とは情報共有を密に行い、事業の再開に向け準備を進めることができています。	<b>■ 秋保総合支所</b> ○新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、地域の親子の孤立化や虐待予防の一助となるように活動を実施します。	子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課
				<b>■ 泉区</b> ○地域子育て交流会（いずみん） ▲全体会：参加団体全員による会議⇒11月10日開催13名参加 ▲地域子育て交流会：参加団体間の交流⇒中止 ▲いずみおやこフェスティバル：区民の親子対象のイベント⇒中止 ◎三役会議：28団体からFAXで意見を頂き(4回)会議を開催(3回：6月、7月、9月) 三役4名。 ○子育て支援関係機関連絡会 ▲9月18日開催。81名の参加あり。 気になる親への関わり方をテーマに講習会を実施。 ○育児グループ育成支援 ・年度初めに登録団体の継続更新を確認、市政だよりや市のホームページなどで団体の活動を紹介した。	▲	<b>■ 泉区</b> <b>【成果等】</b> ○地域子育て交流会（いずみん） 密になる環境を防ぎながら、少人数かつ全体から意見をもらいながら、今後の会のあり方について話し合いを進められている。 ○子育て支援関係機関連絡会 例年、参加者の交流を目的に講話の他にグループワークを行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講話のみ実施した。 ○育児グループ育成支援 ・市政だよりや市のホームページなどで団体の活動を紹介した。	<b>■ 泉区</b> ○地域子育て交流会（いずみん） 今後も28団体から意見をもらいながら、三役中心に意見交換をしていきます。 ○子育て支援関係機関連絡会 地域の子育て支援に関わっている団体の交流の場は今後も必要であり、令和3年度以降状況を見ながら開催継続します。 ○育児グループ育成支援 ・団体の活動状況を定期的に把握します。また令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていますが、子育て交流会などの情報提供を行い連携した関わりをしていきます。	子供未来局総務課、 各区家庭健康課、 各総合支所保健福祉課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(1)①	311	地域での子育て支援の活動支援と資質向上における担い手の確保	児童館での乳幼児親子への子育て支援など、地域での子育て支援において、育児経験等の豊かな地域の人材を活用し、支援者を確保するとともに、その資質向上に取り組む	○児童クラブ受入れ時間帯の3密状態を避けるため、受け入れを休止していたが、令和2年6月から乳幼児親子の受け入れを再開した。また令和2年10月から子育て支援室がある10館において先行して土曜日の受け入れも再開した。 各種行事についても、感染防止に配慮しながら、徐々に再開した。	▲ 【成果等】 ○感染防止の観点から、例年と比較して地域人材を活用した行事開催が少なくなっている。	○ガイドラインを踏まえ、感染防止に配慮しながら地域人材を活用した行事の開催を徐々に増やしていきます。	児童クラブ事業推進課
	312	子ども家庭応援センター		⇒ 整理番号080 参照			子供未来局総務課, 子供家庭支援課, 子供保健福祉課, 認定給付課, 各区家庭健康課, 各区保育給付課, 宮城総合支所保健福祉課
	313	子どもの居場所づくり支援事業		⇒ 整理番号065 参照			子供家庭支援課
	314	児童館地域子育て支援事業		⇒ 整理番号068 参照			児童クラブ事業推進課
	315	児童館事業の充実		⇒ 整理番号055 参照			児童クラブ事業推進課
	316	区役所等における利用者支援事業		⇒ 整理番号215 参照			認定給付課
	317	公立保育所の地域拠点保育所としての機能の充実		⇒ 整理番号237 参照			運営支援課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
3(1)①	318	幼稚園PTA 家庭学級開設補助	幼稚園児を持つ親等が、望ましい家庭教育のあり方等について学習する機会を設け、子どもの健全育成を図るため、幼稚園のPTAが行う家庭学級の開設及び運営に要する経費を助成する	○実施団体 :37園 ○補助金交付額:3,156,394円	▲ 【成果等】 ○保護者が望ましい家庭教育のあり方等について学習する機会を幅広く設けることができ、子どもの健全育成に資する一助となった。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を実施した団体が減少した。	○より一層の参加が図られるよう令和元年度に補助内容の見直しを行いましたので、今後も制度の詳しい周知に努めるとともに、補助制度の柔軟化により、コロナ禍にあっても、保護者等の学習の機会が確保されるよう努めてまいります。	認定給付課	
	319	外国につながる子ども支援事業		⇒ 整理番号033 参照			交流企画課	
	320	市立学校評議員制	地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員から学校運営に関して幅広く意見を求め、その協力を得ながら学校運営の改善を行う	○小学校402名、中学校227名、幼稚園6名、特別支援学校5名、中等教育学校4名、高校18名、合計662名の学校評議員を委嘱し、学校運営について多面的・多角的な意見をいただいた。	○ 【成果等】 ○協働型学校評価を実施している本市において、学校評議員からの意見は、「地域とともに歩む学校づくり」を推進するうえで、貴重なものとなった。 ○各学校とも、学校の実情に応じた学校評議員を選出し、学校運営に関して幅広い意見を求めることができた。	○各学校は、学校評議員の人選に当たり、学校教育に対する見識や、地域の実情に詳しい方を人選し、より多面的・多角的な視点で学校教育に対する意見を伺えるよう働き掛けてまいります。 ○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）導入校には、原則として学校評議員を置かず、学校運営協議会委員として児童生徒の豊かな学びの環境づくりに参画していただきます。	教育指導課	
	321	学校支援地域本部事業	家庭・地域の教育力を、学校を拠点として再編成し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備するとともに、地域住民や保護者、学生等からなる学校を支援するボランティアを募り、子どもたちに安心と豊かな体験を実現する体制づくりを推進し、より豊かな「学び」を創出していく	○学校支援地域本部設置校は、174校（本部校85校・支部校35校・連携校54校）でカバー率は95.1% ○スーパーバイザー数238名 ○新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、第1回学校支援地域本部連絡協議会(6/2)は中止	▲ 【成果等】 ○支部校・連携校とともに、地域事情に応じて学校支援地域本部の効果が反映する体制づくりをすすめるというスタンスで、本部設置校を核とした中学校区内の学校間での連携体制を図りながら、令和2年度は7校の「支部」を設置した。	○スーパーバイザーのスキルアップを目指した研修会を2回（全体1回・区毎1回）開催し、コロナ禍での支援活動の在り方などの情報交換を行います。 ○今後は、中学校区内の連携体制づくりを進め、地域の学校支援ネットワークの共有・充実を図り、全小中学校でその効果が反映され、地域ぐるみで子どもの学びと育ちを支える体制づくりを目指します。	学びの連携推進室	
	322	土曜日の教育支援体制等構築事業		⇒ 整理番号049 参照				生涯学習課
	323	学校図書室等開放事業		⇒ 整理番号050 参照				生涯学習課
	324	放課後子ども教室推進事業		⇒ 整理番号077 参照				生涯学習課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(1)①	325	マイスクール プラン21推 進事業	市立学校の余裕教室等諸施設を学習活動 ルーム「マイスクール」として地域に開放し、地域 の社会教育団体やボランティア団体・サークル等 が自立して社会活動を行うことができる拠点を 身近な場所に確保するとともに、学校に地域社 会の学習資源を取り入れることで、児童に地域 社会の重要性を認識する機会を提供する	○小学校8校で実施中【R元年度:小学校8校】 ・年間利用者数 7,243人【R元年度:27,222人】	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点か ら、年度当初は全ての活動を休止していた。6月以 降、学校の再開に併せ再開可能とした。地域の高 齢者利用が多いことから利用者数は減少したが、 学校の余裕教室を利用して、地域住民に学ぶ場を 提供することができた。 ○感染防止のためコーディネーター交流会は実施で きなかったが、活動事例や工夫等を集めた紙面によ る共有がなされ、コーディネーターの意識が高まっ た。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○コーディネーターの調整により、マイスクールの活動 が、児童との交流や授業での人材活用等、学校 教育にも貢献している面も見られるようになった。	○各教室での活動において、活動場所での新型コロ ナウイルス感染症対策の徹底や、三密回避の観点 から活動内容の検討を進めながら、地域住民の豊か な学びの場の確保の支援に努めていきます。 ○コーディネーター向けの交流会を開き、情報共有 等を通して、コーディネーター間のネットワーク作りを 図っていく予定です。	生涯学習課
	326	青少年健全 育成事業		⇒ 整理番号052 参照			生涯学習支援セン ター
	327	ジュニアリー ダー育成支 援		⇒ 整理番号053 参照			生涯学習支援セン ター
	328	学びのコミュ ニティづくり 推進事業	子どものすこやかな成長を支援するための地域 ネットワークづくりを目的に、地域のさまざまな団 体が連携し、児童、保護者、住民等を対象 とし、地域の実情に合わせて子どもと大人の交 流や自然体験等の事業を実施する	○令和2年度は2団体に委託。 ○委託期間終了後においても、事業実施を模索・実 施している団体あり。	○ 【成果等】 ○事業を実施した団体は、新型コロナウイルス感染 症の影響により大きな制約があるなかでも工夫を重 ね、地域の子どもたちに体験活動の場を提供するこ とができた。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつ つ、今後も、各団体が継続して事業を実施できるよ う活動を支援していきます。	生涯学習支援セン ター
	329	家庭教育推 進事業・民 間指導者育 成事業（託 児付講座）	市民センターでは子育てに関する講座も多く実 施していることから、子育て中の市民が市民セ ンターの講座や学習会等に参加できるよう、主 に市民託児ボランティアの運営による託児付講 座を実施する また、託児ボランティアの養成講座や研修会を 実施し、担い手の確保や資質の向上を図る	○各市民センターにおいて、託児付講座を開催。 ○託児ボランティア養成講座を開催（全5回）。	○ 【成果等】 ○託児付講座や託児ボランティア養成講座の実施 により、子育て中の市民にも学習の機会を提供す ることができるよう、環境づくりに努めた。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつ つ、今後も、各市民センターにおいて継続して託児 付講座を実施するとともに、担い手の確保や資質 の向上を図っていきます。	生涯学習支援セン ター

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(1)②地域における児童虐待防止対策の充実 (児童虐待防止対策の充実の一部再掲)							
3(1)②	330	子ども家庭 応援セン ター		⇒ 整理番号080 参照			子供未来局総務課, 子供家庭支援課, 子供保健福祉課, 認定給付課, 各区家庭健康課, 各区保育給付課, 宮城総合支所保健福祉課
3(1)②	331	要保護児童 対策地域協 議会		⇒ 整理番号083 参照			子供家庭支援課, 各区家庭健康課, 宮城総合支所保健福祉課
3(1)②	332	児童虐待に 係る医療 ネットワーク 事業		⇒ 整理番号084 参照			子供家庭支援課
3(1)③子どもの育ちと子育て家庭を支える人材の育成							
3(1)③	333	地域の子育 て支援団体 への支援		⇒ 整理番号310 参照			子供未来局総務課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
3(1)③	334	地域での子 育て支援の 活動支援と 資質向上に おける担い 手の確保		⇒ 整理番号311 参照			児童クラブ事業推進課
3(1)③	335	保健師等母 子保健従事 者の職員研 修の充実		⇒ 整理番号095 参照			子供保健福祉課, 各区家庭健康課, 各総合支所保健福祉課
3(1)③	336	放課後児童 支援員等の 人材確保・ 処遇改善		⇒ 整理番号067 参照			児童クラブ事業推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
3(1)③	337	児童館等の職員研修の充実	子どもの健全育成及び保護者に対し適切な支援が行われるよう、研修の充実に努め、職員一人ひとりの資質向上を図る	○新型コロナウイルス感染症の影響で職員を集めた研修の実施を見合わせた。 ○本市で開催した、「児童福祉施設における感染症対策について」および「児童福祉施設におけるメンタルヘルスについて」の研修の様子を撮影したDVDを活用し、各館ごとにDVD視聴による研修を実施した。	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、例年通りの研修実施を見合わせた。コロナ禍における実施方法・内容を考慮した形としてDVDを用いた研修とすることで、より多くの職員に対して実施することができた。	○今後の研修の実施について、感染症対策という観点から実施の方法等を見直したうえで、研修の機会を確保します。	児童クラブ事業推進課	
	338	青少年健全育成団体等活動支援	青少年健全育成活動の実施団体に事業・運営の助言や支援を行う また、実施団体がまとまり、主体的に健全育成に携わっていけるよう働きかけ、次世代を担う青少年の健全育成について、社会全体で取り組む機運の醸成を図る	○仙台市青少年健全育成団体事業補助金交付要綱及び、仙台市地域子育て支援クラブ等補助金交付要綱に基づき100団体にに対し総額13,728,260円の補助金を交付している。	○ 【成果等】 ○青少年の健全育成・非行防止・子育て支援活動に対し財政的な支援を行うことで、継続的な運営に寄与することができた。	○各団体は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、活動内容の変更、規模縮小を行い、活動を再開しており、令和4年度に繋がるよう継続的な支援を行います。	子供相談支援センター	
	339	幼稚園教員研修支援		⇒ 整理番号002 参照				運営支援課
	340	保育士等の職員研修の充実		⇒ 整理番号239 参照				運営支援課
	341	保育士人材確保対策		⇒ 整理番号243 参照				運営支援課
	342	保育教諭確保のための保育士資格取得支援事業		⇒ 整理番号244 参照				運営支援課
	343	栄養士雇用助成		⇒ 整理番号245 参照				認定給付課
	344	増員保育士等助成		⇒ 整理番号246 参照				認定給付課
	345	増員調理員助成		⇒ 整理番号247 参照				認定給付課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
3(1)③	346	産休等代替職員雇用助成		⇒ 整理番号248 参照			認定給付課	
	347	保育士等の処遇改善		⇒ 整理番号249 参照			認定給付課	
	348	適応指導ボランティア養成・活用事業	学生，一般市民のボランティアを育成し，ボランティアが適応指導教室「杜のひろば」の適応指導の補助を行い，通級児童生徒の活動の充実を図る	○例年6月と9月に学生，一般市民向けのボランティア養成講座を行っていたが，新型コロナウイルス感染症の影響により，6月の講座実施を見送り，10月に実施。(令和2年度ボランティア養成講座受講者37名 ボランティア活動人数4名 活動回数44回)	▲	【成果等】 ○2回目のボランティア養成講座は実施。「杜のひろば」におけるボランティア活動は通級児童生徒にとっても，他の人との交流する貴重な体験の場である。この活動は子供たちの自立の手助けとなっている。	○ボランティア養成講座を開催し，不登校に関する知識や対応の技能を広めます。また，実際に各ひろばにてボランティア活動を実施し，児童生徒と接することで支援の充実を図ります。	教育相談課
	349	家庭教育推進事業・民間指導者育成事業（託児付講座）		⇒ 整理番号329 参照				生涯学習支援センター
3(1)④ 身近な地域の子育て支援施設等の充実								
3(1)④	350	のびすく運営		⇒ 整理番号161 参照			子供未来局総務課	
	351	児童館地域子育て支援事業		⇒ 整理番号068 参照			児童クラブ事業推進課	
	352	放課後児童健全育成事業の推進		⇒ 整理番号069 参照			児童クラブ事業推進課	
	353	放課後子ども総合プラン推進事業		⇒ 整理番号070 参照			児童クラブ事業推進課	
	354	児童館事業の充実		⇒ 整理番号055 参照			児童クラブ事業推進課	

## 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(1)④	355	児童館整備 事業		⇒ 整理番号072 参照			児童クラブ事業推進 課
3(1)④	356	保育所等 地域子育て 支援事業		⇒ 整理番号172 参照			運営支援課
3(1)④	357	幼稚園地 域子育て 支援事業		⇒ 整理番号173 参照			認定給付課
3(1)④	358	学校図書 室等開放 事業		⇒ 整理番号050 参照			生涯学習課
3(1)④	359	校庭・体 育館の自 由活動開 放事業		⇒ 整理番号063 参照			生涯学習課
3(1)④	360	放課後子 ども教室 推進事業		⇒ 整理番号077 参照			生涯学習課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3.地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり							
(2) 仕事と子育ての両立支援の促進							
3(2)①仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた家庭・企業等における取り組みの推進							
3(2)①	361	男性の家事・育児への参画の促進	(公財)せんだい男女共同参画財団において、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた各種講座を実施するとともに、男女がともに家事・育児の責任を分担することを促進するため、様々な機会を捉え効果的な啓発を進める	○ワーク・ライフ・バランス推進出前講座 1件・9名参加【R元年度：4件152名】	○ 【成果等】 ○企業への出前講座を通じて、コロナ禍で仕事と生活の調和を実現するこれからの働き方についてなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた啓発を進めることができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定だった出前講座が延期や中止となり、前年度より実施件数が減少した。	○今後も、仕事と子育てや生活の両立等ワーク・ライフ・バランスの推進に係る出前講座を実施します。	男女共同参画課
3(2)①	362	制度利用の啓発	女性の就業継続、再就職の普及・啓発による子育てと仕事の両立支援のため、育児休業、介護休業制度や勤務時間短縮措置など、男女が仕事と家庭を両立するための環境づくりについての普及・啓発を行う	○就労支援や、子育て支援などの勤労者に関する各種制度、再就職に役立つ仕事探し情報を取りまとめたガイドブックを作成した。 ・冊子：働きみなさんのためのガイドブック：3,000部【3,000部】 (配布先：各のびすく、マザーズハローワーク青葉など)	○ 【成果等】 ○左記の冊子を、令和3年3月下旬に3,000部発行し、各関係機関へ送付した。	○今後も引き続き、各種制度の啓発を行い、ガイドブックの内容について適宜改善していきます。	市民生活課
3(2)①	363	企業等に対する仕事と家庭の両立支援促進	仕事と子育ての両立が可能なワーク・ライフ・バランスの実現を図るため、子育て支援等に取り組む企業等の社会的信用を後押しする取り組みや、セミナーの開催等により企業等への普及・啓発を行う	■子供未来局総務課 ○リーフレット「働くプレパパ・プレママガイド」を作成し、配布した（12,000部）。新たに「職場における妊娠中の女性労働者等への配慮について～新型コロナウイルス感染症対策～」という項目を追加し、コロナ禍に必要な内容へ更新を図った。【R元年度：12,000部】 ○企業向けのワーク・ライフ・バランスセミナー開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の実施を見送ることとなった。【R元年度：95名参加】	▲ 【成果等】 ○リーフレットは予定どおり作成し、令和2年7月末より配布を開始している。一方で、ワーク・ライフ・バランスセミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を見送ることとなった。 【事業に対する客観的意見・評価】 ○例年セミナーのアンケート結果では、働き方の改善について各社で取り組めそうなアイデアを得る機会となった等、ワーク・ライフ・バランスの広がりが期待される意見が寄せられている。 ○経済団体や家庭相談支援の団体等からリーフレットの提供依頼があるなど、様々な場で活用されている。	■子供未来局総務課 ○令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、オンラインセミナーに開催方式を変更し、ワークライフバランスの普及啓発に向けたセミナーを実施する予定です。 ○令和3年度には、市内企業等で働く若手従業員向けに、自身のライフデザインを考える機会を提供するラフプランセミナーを開催し、仕事と家庭の両立等に向けた意識醸成を図ります。 ○リーフレットの作成部数を5,000部増加し、経済団体の他、配布先を市内中小企業等にも拡大し、取組の普及啓発に努める予定です。	子供未来局総務課、 経済企画課
3(2)①				■経済局経済企画課 ○「四方よし」宣言企業を随時募集し、現在延べ11社が登録中。また、歴代受賞企業・宣言企業及びその取り組みを市ホームページや新聞広告等で発信した。制度の更なる認知度向上を目的として、9/24に普及啓発イベントをオンラインで開催した。	○ ■経済局経済企画課 【成果等】 ○登録企業のPRやオンラインによる普及啓発イベントなど、制度の認知度向上へ向けた取り組みを実施したことで今まで応募がなかった企業からの申請もあり、制度の広がりが見えてきています。	■経済局経済企画課 ○市内中小企業の四方よしな取り組みの見える化及びすそ野の拡大を図るため、引き続き「四方よし」宣言企業へのエントリーを受け付けます。宣言事業の募集にあたっては、歴代受賞企業・宣言企業の取り組み発信に加え、新たに伊達武将隊をアンバサダーに起用し、周知・広報を強化していきます。	子供未来局総務課、 経済企画課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(2)②女性の就労継続・再就職の支援促進							
	364	女性の就業 や就業の継 続支援	女性の就業継続、再就職の支援・促進のため の講座の開催等の取組を進めるとともに、企業 に対し、女性の活躍推進や多様かつ柔軟な働 き方の実現を促すなど、企業にとって男女共同 参画推進の取組の動機づけとなるような施策を 実施する	○就業自立相談事業 相談件数延べ108件 相談者実人数35名 ○企業における女性活躍推進に係る事業 ・企業の未来プロジェクト：30社参加 「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」 マネージャーコース：全9日間・40時間／20名参加 エグゼクティブコース：全6日間：24時間／12名参加  ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施を 中止した事業 ・働く女性対象交流会 ・企業対象女性活躍推進セミナー ・仙台市ワーク・ライフ・バランスセミナー（子供未来局共 催）	○  【成果等】 〔就業自立相談事業〕 ○働きづらさや生きづらさ、家族関係等、複合的 な悩みを抱えた女性に対し個々人に応じたキャリアカ ウンセリングを丁寧実施することにより、女性の自 立支援、就業、就業継続、及び再就職への支 援を進めることができた。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため4月 16日～5月31日まで面接相談を中止したことや、 感染への不安から面接相談を回避する方がいたた め、令和元年度より相談件数は72件減、前年度 比4割減となった。  〔企業における女性活躍推進に係る事業〕 ○管理職に加え、役員を育成するプログラムを実 施し、企業の女性活躍推進の取り組みを支援し た。また、オンラインで受講できる環境を整え実施し た。	○令和3年度も、女性の就業継続や再就職支援、 及び企業における女性活躍の推進に係る事業を実 施します。 ・企業の未来プロジェクト2021 ・働く女性対象交流会 ・企業対象女性活躍推進セミナー ・経営者対象女性活躍啓発ツール作成 ・仙台市ワーク・ライフ・バランスセミナー（子供未来局 共催）	男女共同参画課
	365	放課後児童 健全育成事 業の推進		⇒ 整理番号069 参照			児童クラブ事業推進 課
	366	放課後子ど も総合プラン 推進事業		⇒ 整理番号070 参照			児童クラブ事業推進 課
	367	産休明け保 育の充実		⇒ 整理番号232 参照			運営支援課 環境整備課
3(2)③男女がともに担う子育ての推進							
	368	男性の家 事・育児へ の参画の促 進		⇒ 整理番号361 参照			男女共同参画課
	369	女性の就業 や就業の継 続支援		⇒ 整理番号364 参照			男女共同参画課
	370	のびすくにお ける父親の 子育て力向 上支援		⇒ 整理番号194 参照			子供未来局総務課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3.地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり							
(3) 地域をあげて子ども・子育てを応援していく機運の醸成							
3(3)①子育てを応援していく全市的な機運の醸成							
3(3)①	371	子どもの権利に関する意識啓発	新中学生の保護者への啓発パンフレットの配布等を通じ、子どもの権利侵害の防止及び健全育成に関する啓発を行う	○パンフレットの作成・配布 「子どもを見つめて」12,000部配布 [R元年度：12,000部]	○ 【成果等】 ○新中学1年生の保護者に対し、中学校を通じてパンフレットを配布することにより、子どもの健全育成や権利侵害の防止に寄与した。	○社会問題の変化等に合わせ、適時記載内容の見直しを行いながら、引き続き保護者に対する啓発を図っていきます。	子供未来局総務課
3(3)①	372	子ども・子育てを応援していく枠組みの構築と各種プロジェクトの展開	子育て支援団体や地域団体、企業などの多様な主体間の連携のもと、子育てしやすいまちづくりを進めていく枠組みを構築し、地域社会全体で子ども・子育てを応援していく機運の醸成を図るとともに、各種プロジェクトの企画・実施など、具体的な取り組みを展開していく	○新型コロナウイルス感染症の影響下における多様な主体間の連携のスキームや各種プロジェクトの在り方について、検討を進めた。	▲ 【成果等】 ○新型コロナウイルス感染症の影響下における多様な主体間の連携のスキームや各種プロジェクトの在り方について、検討を進めた。	○子育て応援に取り組む民間施設等が参画できる新たな枠組みを立ち上げ、「せんだいのびすくナビ」と連動した情報発信事業を通じて、地域社会全体で子ども・子育てを応援していく機運の醸成を図ります。	子供未来局総務課 (子育て応援プロジェクト推進担当)
3(3)①	373	多様な性のあり方についての理解促進等	ホームページへの情報掲載や啓発リーフレットの配布、居場所づくり事業等により、多様な性のあり方が尊重される環境づくりに取り組む	○ホームページにおいて多様な性のあり方に関する情報を提供した。 ○啓発リーフレットを民生委員児童委員や連合町内会長に配付した(約1,700部)。 ○居場所づくり事業を8月から2月まで毎月1回のペースで開始した(のべ参加者数73人)。 ○市職員を対象にした「多様な性のあり方について理解するための研修」を実施した。	○ 【成果等】 ○啓発リーフレットの配付については予定通り実施できた。 ○ホームページについては、多様な性のあり方に関する情報提供のほか、居場所づくり事業の広報ツールとしても活用した。 ○居場所づくり事業については、3月の開催は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としたが、概ね予定通り実施できた。  【事業に関する客観的意見・評価】 ○研修のアンケートでは「理解が深まった」「身近な問題として初めて認識した」などの意見が寄せられた。 ○居場所づくり事業のアンケートでは、「本やWEBだけでは分からない生の声が聞けた」「いろいろな方と楽しくお話しできた」などの意見が寄せられた。	○リーフレット配布により、地域で活動する方々に多様な性のあり方に関する基礎知識等を提供することができました。今後も、引き続き啓発を図っていきます。 ○居場所づくり事業においては、性的マイノリティの方等が安心して過ごせる居場所を提供することができました。今後は、本事業の中でセクシュアリティに関する相談を受け付ける体制の強化を検討していきます。 ○研修については、市職員が性的マイノリティの方を身近な存在として捉え適切にコミュニケーションが取れるよう、継続して実施していきます。	男女共同参画課
3(3)②子育てを応援していく各種プロジェクトの展開							
3(3)②	374	子育てに関する情報発信の充実		⇒ 整理番号197 参照			子供未来局総務課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課	
	3(3)①	375	子ども・子育てを応援していく枠組みの構築と各種プロジェクトの展開	⇒ 整理番号372 参照			子供未来局総務課	
	3(3)②	376	子どもの遊びの環境に関する調査・研究	⇒ 整理番号054 参照			子供未来局総務課	
	3(3)②	377	区民協働まちづくり事業	<p>地域における市民と行政との協働によるまちづくりの推進及び地域からの行政需要への的確かつ柔軟な対応を図る</p> <p>■青葉区 ○西公園キャンドルライトファンタジー 12月第2土曜日に西公園を会場に区内の幼稚園、小・中学校、青葉区民まつり来場者、実行委員等が制作した手作りのキャンドルを灯すとともに、小・中学校の合唱団等によるステージ発表等を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ○仙台伝統ものづくり塾事業 仙台のものづくりをテーマに、歴史のなかに息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと魅力を実感し、地域で語り継ぐことを目的にものづくりを体験できる講座を開催。令和2年度は小学生家族を対象に、兜のお面づくり講座を開催した。小学生親子4組9名が参加し、仙台の歴史を学びながらお面づくりを行った。</p>	▲	<p>■青葉区 ○西公園キャンドルライトファンタジー 【成果等】 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ○仙台伝統ものづくり塾 【成果等】 親子10組の募集に対して、4組9名の参加となった。 【事業に対する客観的意見・評価】 募集人数に対して参加者は少なかったが、通常より広い会場、スペースを確保し感染対策を徹底して開催したことで、参加者アンケートでの満足度は非常に高かった。</p>	○令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、手法や内容を工夫し事業を推進していきます。	各区まちづくり推進課
	3(3)②			<p>■宮城野区 ○地域はっぴい子育て支援事業 ・5月～6月にかけてママらいふ手帳に工作キッドを付けて子育て支援部会メンバー近隣の開所している保育所等に配布した(19ヶ所・約320部)。 ・令和2年度に地域はっぴいママ講座を開催希望していた施設職員を対象にワークショップ体験を実施した(10/8：栢江児童館)。 ・宮城野高校美術科に協力をいただき、令和3年度版ママらいふ手帳の表紙デザインをリニューアルした。 ・乳幼児を持つ母親が子どもと一緒に成長し、子育ての楽しさを実感できる機会の提供と地域でのつながりを深めることを目的とした「ママらいふ手帳活用講座」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。【R元年度：9回実施、参加親子62組。託児付】</p>	▲	<p>■宮城野区 ○地域はっぴい子育て支援事業 【成果等】 ・ママらいふ手帳の新生児訪問時等の配布及び更新作成は例年どおり実施した。一方で、「ママらいふ手帳活用講座」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ることとなった。 ・ママらいふ手帳の有効活用方策として、手帳内で紹介されている「手遊び」の動画を作成した。 【事業に対する客観的意見・評価】 ・地域はっぴいママ講座は平成30年度参加者115名(講座6回実施)に対し、令和元年度は135名(講座9回実施)と開催回数・参加人数も増えており、アンケートからも参加者の満足度が高いことから、ニーズが高いと思われる。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。)</p>	<p>■宮城野区 ○地域はっぴい子育て支援事業 ・現行講座以外の手帳活用方法を模索するとともに、施設職員や子育て支援関係者向けにワークショップ体験を通して本事業への理解とスキルを身に付ける機会を積極的に創出し、人材の育成につなげていけるよう努めます。 ・ワークショップの所要時間の短縮、参加人数の制限をはじめコロナ禍での実施運営面の課題検討を行い、参加機会の創出に努めます。</p>	各区まちづくり推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(3)②	377	区民協働まちづくり事業	地域における市民と行政との協働によるまちづくりの推進及び地域からの行政需要への的確かつ柔軟な対応を図る	<p>■若林区</p> <p>○子育て推進ネットワーク事業 役員事務局会議開催 計2回 臨時活動委員会開催 計1回 ・サロン活動：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の実施を中止することとした。</p>	<p>▲</p> <p>■若林区 【成果等】 ○子育て推進ネットワーク事業 ・役員事務局会議にて、応援団活動の目的と役割を再確認。今後の目指すべき子育て支援ネットワークのあり方及び、応援団の位置付けについて検討・合意形成を行った。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ・サロン活動：より地域に根差した住民主体の居場所とするべく、地区保健活動と連動させ、自主的な運営体制に再編する必要がある。 ・時代や地域の実状に即した有機的で効果的なネットワークの構築及び関係の強化を行っていく必要がある。</p>	<p>■若林区 ○「子育てするなら若林」を目指して、区民・子育て支援関係機関・行政が協働し、時代や地域の実状に即した有機的で効果的なネットワークを新たに構築し、従来以上の関係の強化を図っていきます。 ○サロン活動：関係機関等との協議を丁寧を重ねながら、住民にとって身近なサービスの充実に向けて取り組みを行います。</p>	各区まちづくり推進課
				<p>■太白区</p> <p>○「たいはくっこらぶ」 区内の小学5・6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら区内の自然・歴史・文化等について学習する「まちづくり塾」を実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により回数と定員を減らして実施した。 回数3回（R元年度5回） 定員20名（R元年度50名） 延べ参加人数65名（R元年度172名）</p>	<p>○</p> <p>■太白区 【成果等】 ○20名程度の募集に対し23名の応募があり、第1回のまちづくり塾を9/26に、第2回を11/1に、第3回を2/21に実施した。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ○第1回「水生生物観察・トートバック作り」 子供たちが広瀬川の生き物について理解を深めることができた。 ○第2回「野菜収穫体験」 子供たちが収穫体験を通じて収穫の喜びを感じることができた。 ○第3回「放送局見学」 子供たちが放送の現場を見学し、放送の仕組みを学ぶことができた。</p>	<p>■太白区 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、回数と定員を減らして実施します。 回数3回 定員20名</p>	各区まちづくり推進課

# 「仙台市すこやか子育てプラン2020」 令和2年度実績・評価

基本 施策	番号	事業名	事業概要	令和2年度 実績	令和2年度 成果等/事業に対する客観的意見・評価	令和3年度の予定	担当課
3(3)②	377	区民協働まちづくり事業	地域における市民と行政との協働によるまちづくりの推進及び地域からの行政需要への的確かつ柔軟な対応を図る	<p>■泉区</p> <p>○「七北田川自然観察会」 七北田川クリーン運動の事業の一環として、小学生とその保護者を対象に、泉区のシンボルである七北田川に対する関心や知識の向上を通して、環境美化への意識やふるさと意識の醸成を図ることを目的に、七北田川の水の透明度や汚れ具合の調査、水生生物の観察、いかだ下り体験（小学生のみ対象）を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p>	<p>▲</p> <p>■泉区</p> <p>【成果等】 ○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>【事業に対する客観的意見・評価】 ○例年、定員を超過するほど参加の応募をいただいでおり、市民にとって楽しみな企画となっている。参加者は、七北田川の上流と下流の水質検査や、生息する水生生物の違いを学び、人々の生活が河川に与える影響について考える機会となっているほか、普段とは異なる視点から河川を観察することで、泉区の中心を流れる七北田川への関心を高めることができている。</p>	<p>■泉区</p> <p>○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら、必要に応じて実施方法等も工夫しつつ事業を推進していきます。</p>	各区まちづくり推進課
	378	ひとにやさしいまちづくり	公益的施設等において、段差解消等のバリアフリー化を推進し、また、ベビーチェア、ベビーベッドを設けたトイレ、授乳及びおむつ替えの場所の設置等、妊産婦、乳児連れの方等すべての人にとって利用しやすい施設等の整備を推進する	<p>○「仙台市ひとにやさしいまちづくり条例」で定める「整備基準」に基づき、整備を行うよう事業者等へ要請し、助言や指導を行った。</p> <p>・ベビーベッド・ベビーチェアを設けたひろびろトイレを設置した建築物 3件 ・授乳及びおむつ替えスペース等を設置した建築物 0件</p> <p>※ 令和2年度に完了検査を受けたものが対象</p>	<p>○</p> <p>【成果等】 ○ベビーベッド・ベビーチェアを設けたひろびろトイレが設置されたことにより、子育て中の方の公益的施設の利用の円滑化が図られた。</p>	○今後も啓発活動等を通じて事業者の意識付けを図り、さらなる推進につなげていきます。	社会課
	379	バリアフリー推進事業	仙台市バリアフリー基本構想の全体構想および地区別構想に基づき、妊産婦、乳幼児連れの方等にとっても安心して外出できるよう、道路や公共交通などのバリアフリー化を推進する	○仙台市バリアフリー推進協議会を開催し、バリアフリー化を進める特定事業の進捗状況の確認や、仙台市バリアフリー基本構想（全体構想）及び仙台市バリアフリー基本構想（地区別構想「都心地区」）の改定を行った。	<p>○</p> <p>【成果等】 ○今後も道路や公共交通などのバリアフリー化を推進していくために必要な、仙台市バリアフリー基本構想（全体構想）及び仙台市バリアフリー基本構想（地区別構想「都心地区」）の改定を計画どおり実施した。</p>	○仙台市バリアフリー推進協議会を継続的に開催し、地区別構想（長町地区・泉中央地区）の見直しの方向性を整理するとともに、各地区別構想においてバリアフリー化を進める特定事業の調整及び管理を行い、道路や公共交通などのバリアフリー化を推進してまいります。	交通政策課
380	交通バリアフリー特定事業	「仙台市交通局バリアフリー特定事業計画」に基づき、妊産婦やベビーカー使用の方が安心してバス・地下鉄を利用できるよう、バス・地下鉄車両内優先席へのマタニティマークの掲示、同車両内へのベビーカーマークの掲示、ポスターの活用により、当該利用者への配慮と理解を求め、より利用しやすい環境づくりを進める また、心のバリアフリー化事業として、職員の接遇向上や介助法研修等による職員教育の充実を図る	<p>○バス・地下鉄車両内の優先席へマタニティマークの掲示、また駅構内と車両にベビーカーマーク及びそのポスターの掲示を行った。</p> <p>○職員に対する接遇研修等を随時実施した。</p> <p>○心のバリアフリー化事業の一環として、車内での席の譲り合いに関するマナーポスターを車内に掲示した。</p>	<p>○</p> <p>【成果等】 ○駅施設や車両に、ベビーカーマークポスター等を掲示することで、お客様へ当該利用者への配慮を促した。 ○職員の接遇向上等についても、随時、研修等による教育を実施することで職員教育の充実を図った。 ○各種バリアフリー関連のマナーポスターを掲示することで、利用者に対するマナー啓発を行った。</p>	○子育て中のお客様に対するバリアフリーの推進に向け、各種啓発活動及び施設の維持管理が適切になされていること、また、職員への接遇研修等も継続的に実施していることから、現在の取り組みは有効と考えており、今後も継続して実施していく予定です。	安全推進課	